

# 真剣に心をこめて会社



タブーを破る常識を多むる  
情熱と狂気の罪深き会社

仕事は人生の大道楽

福山克義

経営は完全自動運転

レベル5

楽しもうとする人の廻りには

楽しい人が集まり

楽しい事が起きる

そこには真実の情報が集まりビジネスは益々楽しくなる。

幸せな会社が、成功し、儲かる。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

ビジネスの教科書は全て破り捨て、私達反乱軍は世界で革命を起こす！

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

タブーを破り、常識を揺さぶり、頭のネジを吹っ飛ばして、想像もつかないようなことをしてやろう！  
そのために真剣にあふれるほどの情熱を伝えよう！

人と違っていい。好きなようにすればいい。一点の曇りもなく、常に正直でいよう。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

興奮で鳥肌がたつくらいのミッションこそが会社の存在意義である。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

能楽の世阿弥の「狂いの美」は「真剣にふざける」ことに近似している。

狂おしいばかりに我を忘れて舞い踊る姿に、世阿弥は美を感じ、花を感じ、神を見いだしている。

古代ローマのパンテオンの中での飲み食い踊り、古事記の「天の岩戸開き」神気に包まれて我を忘れるとき、心のとぼりを打ち破って自らの心魂が躍り出る。観念や知性の影に隠れている天照大御神なのである。

※ ※ ※ ※ ※

納期のない仕事は存在しません。心の納期を決めることは全ての仕事に必須です。

「この仕事いつまでやればいいですか?」「いつでもいいです。できたときでいいですよ。」この仕事本当にあるの?大丈夫?と違ってしまいます。

心の納期は「アフターバーナー」になり、ぶっ飛びの仕事ができるということをデキルビジネスマンは知っているからです。猛スピードでお尻に火を付けるための、最初の合言葉は、「心の納期」。

興奮してますか？ 興奮する瞬間は何ですか？

興奮するために生きぬきましょう！

※ ※ ※ ※ ※

スピード・スピード・スピード。 15年も前に楽天の経営方針のなかに見つけた言葉ですが、そのままガドナーの経営方針に入れ込んでいます。「重要なのは他社が一年かかることを一カ月でやり遂げるスピード」という説明です。常に全ての事業は競争しています。スピードの速さは、熱量と比例しています。熱量こそがこの世で生き延びるためのエネルギーです。今一番スピードのある国は中国です。アメリカも日本も圧倒的にスピードがないという事実に早く気づきましょう。

ちなみに、Godspeed。もともと旅に出る旅人にかける言葉で、「成功を祈る」「幸運を祈る」という意味です。

スピード(speed)とは、「目的達成」「成功」「繁栄」などの意味を持ちます。

スピード・スピード・スピード とは 成功・成功・成功という意味なのです。

普通のサラリーマンは、せっかく自分の有給休暇を自分の病気や子供の不調、冠婚葬祭に使ったりしています。本当にもつたないです。とつてもネガティブな休みの取り方です。

ガードナーは有給休暇ではなく、遊休休暇と書きます。

遊ぶための休みは、価値の高い休みとなります。

スタッフには、遊びたいから休みをとりたいと常に言って欲しいです。

※ ※ ※ ※ ※

私達の会社は、Sin Black Company

タブーを破り、常識を揺さぶり、情熱と狂気の罪深き会社

新ブラック 真ブラック 深ブラック 進ブラック

※ ※ ※ ※ ※

カッコ良さとは、イケメンや美女や身体の美しさ、頭の良さのことではありません。

カッコ良さとは、ギャップがあることを言います。

え？あの人があんなことをしている。      カッコイイです。

え？あんな服を着ている人がこんなことをしている。      カッコイイです。

え？あんな身分の人が、ゴミ拾いをしている。      カッコイイです。

え？弱々しいあの男が、実は強かった。      カッコイイです。

え？あの汚い服でトレーニングしていた人が、スーツを決めて出てきた。      カッコイイです。

カッコ良さとは、ギャップなのです。

※ ※ ※ ※ ※



「つらいなあ」

人生の中で、そんなときがある。でも、それはいつも朗報なのです。

「つらいなあ」というのは、大きな運をつかむ予兆なのです。

つらければ、つらいほど、大きな運がやってくるのです。

本当に不思議です。

日はまた昇るとは、よく言ったものです。

大きな運を信じれば、もっと確実に早く運がやってきます。

❧  
❧  
❧  
❧  
❧

スタッフには、本気で勉強して欲しいです。勉強は、座学の勉強ではありません。

仕事にも人生にも、その実践に使うための勉強方法が重要です。そのための勉強方法とは

① 読書 ② 旅 この二つです。

「馬鹿につける薬はある。本を読め。」と若い頃先輩から言われていました。

読書は、特に歴史（伝記など）です。これは、過去に開発されたものを使って、より良いものを作るという、頭脳回路と同じであることです。生き方を素直に学ぶという姿勢は、今ある技術を素直に受け止める考え方なのです。ですので、読書の読み方も常に素直でないといけません。読みながら「批判」する人がいますが、完全にNOです。何も学ぶものはありません。ですので、読書は、製品開発にも役に立ちます。

そして、旅です。旅は、色々な出会いがあります。老いも若きも男も女も、相手はすべて人間です。

出会い方は、「ナンパ」です。毎回何度も何度も声を掛けます。声を掛けないと出会いは0です。

出会いは、人以外にも、モノや技術、地域、料理、仕事、気候、環境、そして前向きな言葉です。

人生を豊かにするのは、旅と本を読むことです。

いつも仕事は、当たっても連打、外れても連打。

連打できる楽しさ、連打できる喜び、連打できる幸せ、連打できることに感謝しながらやっばり連打。  
連打して見えてくるものに大きな価値があります。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

困ったことは起こらない全ては良くなる。幸せな人間が成功する。

心はいつも楽しみたがっている。

と、毎朝自己暗示すると、そんな人生になります。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

売れる商品売るだけでは何かもの足りない。

自分が好きでない商品が売れても全然面白くない。

もっとビジネスは、人生は、格調高いもの。

自分とチーム、そして顧客の共感があつて、それが売れば最高です。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

優秀な人材が望むのは、お金ではない。

その仕事に全力で打ち込めて、成長でき、挑戦でき、その上でキチンと報われる仕事なのです。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

仕事は人生の大道楽      その道楽は世界にスケールできるか

グローバルニッチナンバーワン。      ガードナーは世界一を目指します。

ガードナーはそれだけを考えています。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

仕事とは何？      これはビジネスマン共通の定義。

自分の価値を見だし、自他ともに物心両面においてプラスにすること。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

社員は、コントロール（管理）できないのではない。

社員には、コンテキスト（条件）を与えるだけで十分です。

だから会社にはルールは無用なのです。規則は必要ないのです。  
経営者は、その条件に対して夢と愛をもって伝えるのです。

※ ※ ※ ※ ※

失敗。とっても重要です。

度重なる失敗こそ、成長の証です。

その失敗はその人の武器になっているはずです。

※ ※ ※ ※ ※

笑顔は運命の女神であり開運剤です。

朝起きたときから意味もなく笑いましょう。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

笑えば笑うほど人生はうまくいく。

笑えば笑うほど根拠のない自信がつく。

姿勢良く笑おう。小さな花を見て笑おう。

笑おう笑おうと思っていると心の底から大笑いできる瞬間がドンドン増えていく。

その瞬間笑えば人生は勝ち。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

人を喜ばせ、自分も一緒に喜ぶのが一番尊い。

※ ※ ※ ※ ※

人生は前半戦、後半戦が分かれているのでサッカーのようなもの。

人生はこれからが本番。

全ての経験を生かされるし、遅すぎることはない。

「心の思考は人生を創る。」という言葉ほど宇宙の仕組みを言い得ているものはない。

たのしい〜〜！！！！

※ ※ ※ ※ ※



志は天職を自覚したところから生まれる。

自分の仕事に没頭し、それが天職と思えるところまで高めたとき、世の中にはなくてはならない存在になる。どんな仕事であろうと、一隅を照らす思いで誠心誠意で動くとき無言の光を発することになる。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

積極的な心であれば、万物創造の力ある神韻縹渺たる気と、計りしれない幽玄微妙な働きを持つ靈智が量多く人間の生命の中に送り込まれてくる。

No problem ! 積極的であれば、心をコントロールできる。 気にしない。気にならない。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

泣いちゃダメ

悲しんでもダメ

怒っちゃダメ

恐れてもダメ

寂しがってもダメ

怒ってもダメ

悩んでもダメ

それをしなければ人生はうまくいく。

それが大自然、宇宙の法則。

進化と成長を繰り返す大宇宙と同じ、美しき流れ。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

調子に乗ろう！

※  
※  
※  
※  
※

縁尋奇妙 (えんじんきみよう)

良い縁は次から次へと良い縁を結んでくれる。

縁とは本当に不思議なもの、天の配慮は人智を超えたものがある。  
ことあることにいつも感謝しています。

※  
※  
※  
※  
※

苦を楽しむ境涯に生きる生き方をする。 . . . 中村天風から私への宿題。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

人の失敗は蜜の味

だったら、負けた話、失敗した話をたくさんしよう。

「勝った話はないんですか？」と言われるくらいが丁度良いです。  
相手は絶対に喜びます。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

マーケットがしたり顔で言う、「プロダクトアウトではなくマーケットインではないとダメだ！」これは間違っている。私達はだまされない。

私達の使命に求められるのは、唯一無二の魅力的だと自分達が感じることだ。売れるから売るのではない。そんなブレブレの商いでは納得いかない。

世の中の臭いを感じながら、徹底したプロダクトアウト。そうしないと革命は起こせない。

※ ※ ※ ※ ※

事業計画などくそくらえだ！ 長中期計画と言っている奴は、決まってスピードがない。

今、全力を尽くすこと。今行動すること。走りながら考える。

そこには計り知れない価値がある。

実践し決断していくことで戦略を形にしていこう。

※ ※ ※ ※ ※

営業力、売り込み・・・私が30年もやってきた古くさい営業は不要な時代になってしまいました。  
最高の商品をつくれれば、結果はついてくる。(ステイブ・ジョブス)  
自分の得意技を研ぎ澄ませながら、本気で創ろう。ガチで創ろう。気合いで創ろう。

※ ※ ※ ※ ※

### ブランドの第一歩

ぶれないこと、魅力的であること、オープンであること、誠実であること。

※ ※ ※ ※ ※

いつも人をニヤリとさせるチャンスを狙っている。

笑いは愛を勝ち取るための最大の武器だ。

人がニヤリと笑えば、私も一人静かにニヤリと笑う。最高の享樂です。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

信頼は自分で積み重ねていくもので、明るく、素直に、心を開き、誠実に、隠し事をせずにいると積み重なっていきます。お客さんは、自分が信頼する会社に手を貸したいと思っています。

なにか買うなら、自分が信頼する会社から買いたいと思うのが人間です。

だから、信頼Ⅱブランド なのです。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

アルベルト・アインシュタインが言った言葉です。

「想像力は知識よりも重要だ。知識には限界があるが、想像力には世界を包み込む」

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

歴史に名を残す偉人達は、誰一人例外なく妄想の達人だった

過去の経験や常識の延長線上で思い描いても変化は得られない

自分へのご褒美タイムとしてニヤニヤしながら妄想を楽しもう

∞ ∞ ∞ ∞ ∞



人間は自由が幸せの原点である。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

楽しくなくては仕事ではない。

楽しい仕事は、そこに熱い情熱があるからです。

エキサイティングだからです。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

この宇宙の大法則、それは引き寄せの法則

気分が良ければ良いことが起きる。だから何でも喜ぶ 何でも感謝する。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

太古から人間だけが、妄想することが現実化してきている。人間にだけこの不思議な力が与えられている。  
だったら妄想しよう。

妄想した者が良い人生を歩むのは自然の摂理である。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

成功するには二つしかない。

「いいこと」をするか、「好きなこと」をするか。

※ ※ ※ ※ ※

同じものを二つもったときから、道楽は始まる。

好きで好きで仕方ない。道楽は実用ではなく、好き、ただそれだけ。

愛があれば同じものを二つでも三つでも手に入れる。

その人はそのモノに対して強烈に敏感になる。それが間違いなくキャリアになる。

明日のために同じものを二つ手に入れよう。

※ ※ ※ ※ ※

神韻縹渺（しんいんひょうびょう）たるこの大宇宙には、私達人間の生命エネルギーを力づける活力なるものがくまなく、遍満（へんまん）存在している。

そのエネルギーを目の前の空気から思う存分吸収しよう。

中村天風・・・活力吸収法の誦句から

それを、わかりやすく簡単に言いました。

※ ※ ※ ※ ※

おもしろきこともなき世をおもしろく

すみなすものは心なりけり

高杉晋作

この考え方が「道楽」である。道楽とはどんなことでも、自ら楽しむ生き方。面白くない人生を、面白く生きる才能。

※ ※ ※ ※ ※

君子医者に近寄らず

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

この世は苦しいものでも悩ましいものでもない。

この世は本質的に、楽しい、嬉しいそして調和された美しい世界である。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

ゴミ拾い

アホみたいアイデアがわいてきます。ゴミ拾いは瞑想と同じ。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

上を向いて歩くと幸せを感じる。

ガードナーベルトはそれが簡単にできて、人生が変わる。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

毎日笑うと根拠のない自信がつく

※  
※  
※  
※  
※

前祝い (予祝)

いますぐやっちゃえ。 いますぐいっちゃえ。

※  
※  
※  
※  
※

小さな花を見て・・・笑う

トイレの水が流れる・・・笑う

空が青い・・・笑う

風が気持ちいい・・・笑う

いつもの机に・・・笑う

おのずと感謝してしまう。そうすると宇宙霊の偉大な力と努力しなくても繋がってしまう。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

価格競争ではなく価値の競争

感動を創造するチーム

∞ ∞ ∞ ∞ ∞



神様は楽しいことが好き。

八百万の神々が大笑いすることで天照大御神がでてくるという。

日本神話の「天岩戸開き」

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

起こること全てに悪いことは起こらない。

世界は自分が思うよりずっと大きくて、広くて、深くて、豊かでそれも無限。

あなたも私ももっともっとと自由になれる。だから頑張らなくていい。終始一貫、笑顔で通すことだ。不運な人は、なおさら笑いに努力することだ。

笑うにつれて、人生の幸福と幸運がどんどん開けてくる。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞ ∞

一笑百福

一回笑えば百良いことが起きる。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

笑えば気持ちはノビノビと朗らかになる。

おかしくなくても、アハハと笑う。

笑いは想像を絶するパワーが備わっている。

これだけで人生が変わる。

Webミーティングだからこそ・・・笑顔で出席しましょう。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

今年はたくさんの事とたくさんのお会いの年でした。

起こること、すべてに意味がある。出会う人、すべてに縁がある。

神から包まれ導かれているのだと。

起こること、出会いに正対し、ただ「ありがとうございます」と祈る。

無条件に感謝する。

それが出来たなら不思議なほどに、力が湧き上がる。

「ありがとうございます」

これこそが強い生命力を引き出す最高の方法。

※ ※ ※ ※ ※

私は人間の魔力を知っている。

想像という心の作用。

それをピンボケにしなれば黙っていても信念の力は強固になり、あらゆる全てを現実化する。

つまり潜在意識の力を活用し、絶え間なく心に映像を描き続ける。

これは本当に凄い魔力だ。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

祈り

知恵を授かり世の中の人達が喜びますように。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

睡眠欲 食欲 性欲 安全欲 物質欲

生きたいという欲

認められたい欲

行動欲

歳をとってくると全ての欲が弱くなる。

だから欲って本当に大事。

あそこに行きたい。

あれしたい。

あれ買いたい。

あの人に会いたい。

一緒に呑みたい。

あの仕事がしたい。

したいことだらけ。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

人間だけが笑える

いったい何のために

人間だけが笑えるようにできているのか

ということを、厳粛に考えなげや。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

宇宙法則で最強な力は、引き寄せの法則。

自分の悪いところを治そうと努力しても絶対に治らない。悪いところに焦点をあてている限り、悪いところがドンドン近づいてくる。引き寄せの法則はそれくらい正確で力がある。

ほとんどの人は欲しくないものの事ばかり考えている。この自然の法則を利用しない手はない。

今、私はダイヤモンドヘッドの海側にある20億円の高級住宅を想像している。

パソコンのデスクトップにコルベットZ06とこの家のベランダの景色の写真を貼った。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

笑う人には福きたる

普通は「笑う門には福きたる」で、

門とは家や家族の意味らしい。

それよりも「人」にした方がわかりやすい。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

遊びも仕事も一生懸命にやったほうがいい。

遊びは一生懸命にやれば仕事になる。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

私達の生き方には二通りしかない

奇跡などまったくおこらないかのように生きるか

すべてが奇跡であるかのように生きるか

アルベルト・アインシュタイン

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

人間は自然物の一つなので自然の法則に従って生きるべきである

自然界には、自然の法則に背反しているものは絶対に存在しない

自分の生活を顧みたとき自然に逆らっていないだろうか？ 自然の力は計り知れないほど強い

だから、何をおいても自然法則に従い生活することが鉄則

∞ ∞ ∞ ∞ ∞



二度とない人生じゃないですか。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

この決断をするのは、今でなかったら、いつがベストか？

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

知っているかどうかではない

問題は実践しているかどうかである

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

調子に乗ろう!!

という言葉が大好き。

勢いにのって、調子こいて、のぼせあがって、これは宇宙の進化と成長に本当に合致している。明るく楽しく元気よく

常に積極的（せきぎよくてき）に生きる。

私は今、靈智の力とともにいる。

宇宙靈は人間の正しい心、勇氣ある心、明るいい心、朗らかな心

という積極的な心持ちで思考した事柄にのみ、その建設的なる全能の力を注ぎかける。この天理を自覚した私は何という恵まれた人間であろう。

※ ※ ※ ※ ※

インドヨーガ哲学では「心の思考は人生をつくる」という。

厳格に考えれば、人生とは思考そのものだ。

これをもっとわかりやすく言えば、思考の量と質を合わせたものが人生なのである。  
およそ思考ほど人としてこれ以上重大なものはない。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

人の生命は、常に宇宙霊の力に包まれている。

従って宇宙霊のもつ万能の力もまた、我が生命のなかに当然存在してる。

だから、人間のエネルギーは無限である。限界を決めるのは自分自身。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

宇宙の無限の力が凝りこって、真の大和のみ世がなりなつた

うちゅうのむげんのちからがこりこって、まことのだいわのみよがなりなつた

宇宙の創造主の力全てが集まって、世の中が全てが本当に素晴らしく幸せな世の中になつた。  
という意味です。

塩谷信男の誦句ですが、これを私は毎日何度も唱えています。

あらゆる誦句のなかで一番強烈な言葉です。

朝の時間、シャワーを浴びる時間、寝る前・・・。

因果応報。 因果律。 善因善果悪因悪果。

ようは宇宙エネルギーで一番強烈な引き寄せの法則です。

世の中の平和を願うこと・・・これこそが人生で一番の道だと

毎日唱えて そう感じました。結果、最高の人生を感じています。



やりたいことをやるのが出世

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

諸行無常　しよぎょうむじょう

すべての現象は変化し続ける。

変わりたくなくても変わってしまうのが世の中。

だから自分自身も進化と成長をしながら変えていく。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

ゼロ戦は世界の名機と言われている。私もそう思う。

だが、1000余馬力のエンジンを積んだゼロ戦は、2000馬力の強力エンジンを積んだアメリカの戦闘機と健気にも戦ったことを想像すると、愛しいと思う。

体重60kgの日本人が浴衣の着流しに日本刀を脇差しに刺しているというのが零戦。

体重120kgのアメリカ人が鎧兜をかぶって剣を構えているというのがアメリカの戦闘機。

ゼロ戦にあこがれた心がある一方、現実にゼロ戦を見ると「これで、多くの人が戦い、そして散っていった」その史実を思い浮かべると心が痛む。私は思わず手を合わせた。

彼等のおかげで今の平和がある。感謝せずにはいられない。

仕事でも「好奇心」のない人は、成長が止まった老人。

知らないものを見たとき「何だろう??」、

違う意見に出会ったとき「どうして??」、

難解な問題、正解のない問題に「面白そう」と興味を持てる人が何かを得る。

合理性で判断すると時間の無駄になることが多いが、その合理性は既成の判断基準である事が多いので、そこから新しいものが生まれない。

※ ※ ※ ※ ※

どん底とはもう自分の力ではどうにもならないことである。

そこですっかり絶望し、その事実とキチンと向き合った人間には「自分の力で」という思い上がりが消える。理屈ではなく、心の底から「自分だけでは生きられない」とひしひしと感じられる。

普通ではなかなか持てない「感謝」という凄いパワーがわき出てくる。

どん底に落ちると必ず助けってくれる人が現れる。

その人達の存在にいかにか支えられてきたかということに今さらのように気づくのである。

感謝すると、不満がなくなって素直になれる。

同時に喜びがあり、情熱が生まれて行動力が強固になる。

そこに立っているのは一皮むけた自分自身。

※ ※ ※ ※ ※



出会いが少ないという人は人と会いすぎです。

どうでもいい人と会うと感謝や熱意が薄くなります。

何故旅がいいか？ 一人旅にでると人恋しいからです。

寂しいからちよっとの挨拶でも出会いに感謝するのです。

遠くに行けば行くほど寂しくなります。それがいいのです。

言葉を通じなければもっと人恋しくなります。だからそこに出会いがあるのです。

私は合コンは好きですが、ダメな出会いです。

気乗りしないけどひょっとしたらチャンスがあるかもしれないというのは、チャンスは薄いのです。

どうしても会いたい人同士だと出会いはトントン拍子です。

※ ※ ※ ※ ※

旅をしているといろんなことが分かってくる。

恋愛は旅と同じ、恋が出来ない人は旅もできない

悪天候のために空港に戻ってきたからといってスタッフにぶちぎれて文句を言っている人がいる。  
恋愛でぶちぎれて長続きしない人、ちよつとしたことでキレる人は旅をしたことの無い人です。

旅をすると、特に遠くに行くと、いつもいろんな不具合が生じます。

それが実に楽しいのです。

想定外の事に出会えて、初めて旅は楽しいのです。

数年たつともっと笑える。く

※ ※ ※ ※ ※

騙され上手がハッピーになれる人。

だまされるという言葉はネガティブだけど、だまされても楽しめる人。それがエンターテイメント。映画も同じ、所詮CGだから、作り話だから、SFだからといって人は物語を楽しめない。騙され上手は想像力のある人だ。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

お返しの手は倍返しです。

仲の良い仲間同士は倍返しをやっていきます。

日頃の生活のなかで倍返しは誰からでも信用を得ます。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

脳というのは“気持ちがいいこと”が大好き。

人は常に気持ちがよくなることを探している。

何か目標をつくり行動しようと思っても中々行動できない。

そんな時、ほとんどは脳に対する心の栄養不足。

つまり脳が気持ちよくなっていない。

人は夢や目標だけでは行動できない。

その心の栄養が脳にセットされれば目標への行動は意志とは関係なく自動できる。

その気持ちいいことがセットされれば意志なんて関係ない。

つまり、がんばらなくていい。

※ ※ ※ ※ ※

売れない。安すぎると言うのは自分の会社の作っているモノが世の中の価値のないものになっている。そしてその価値のないものはいかなる努力をしてもやがて消え去っていく。

努力をすべきは「価値づくり」であり顧客から大切にされ価格決定権もあり収益も大きい。

この世の全ての事業活動は全て一般生活者に利用されるために存在している。

取引先や納入先のことよりも生活者のことをいつも考える。

これが自然の掟だ。

※ ※ ※ ※ ※

万人に安くたくさん売るといふ過ち。

より多くの人を相手にするのは、本当につまらない。退屈である。

この発想は生活必需品が充足していない市場の過去の時代の発想である。

現在はどこも飽和状態でモノやサービスは溢れている。

必需品の市場など存在しない。

だから、皆が良いという商品は存在しないのである。

それがわかっていない人があまりにも多い。

世の中全ての人に愛されることや商品は存在しない。

※ ※ ※ ※ ※

本当のカッコ良さとは、ギャップと共感である。

カッコ良さとはクールのことではない。クールであってはならない。

ギャップとは

え？ あの人そんなこともできるの？

え？ 借りた膝掛けをあそこまで綺麗に畳んで返すんだ。

え？ 大事なときは、いつもと全く違う服装なんだ。

え？ また、ゴミ拾いしてる。

え？ 一週間くらいかかると思ったらたった一日でできたの？

などという、期待を超えた行為のことを言います。だから、イケメンや美女はギャップが作りにくいのです。

共感とは

あの会社で働きたい。あんな仕事がしたい。あんな人になりたい。歴史上の人物であっても。

あの人と仕事したい。時代を超えても、その共感は自分の憧れに繋がる。

※ ※ ※ ※ ※

人間に年齢はない。年齢を考えるから年齢があるように思うが。

60、70歳になろうと、自分が17、18歳時代と考えてみて、違っているのは体だけ。

そして、もう一つ違っているのは、心のなかの知識だけで、心そのものはちっとも変わっていない。

だから、40や50はもちろん、70、80になっても情熱を燃やさなきゃ。

明日死を迎えるとしても、今日から幸福になって遅くはない。

※ ※ ※ ※ ※

人生の幸福は安易な世界には存在しない。

例えばお金がたくさんあって、平穩無事そのものを幸福の目標にしてもそれはありえないのだ。

本当の幸福は、多くの人が嫌う苦悩というものの中にある。だから、その苦悩をたのしみに振り替えるところにあるのである。いろんな事がある人生の中で苦しみを乗り越えていく強さを心に持たせることだ。

※ ※ ※ ※ ※



販売価格とはメーカーが決めるものである。しかし個性のないありきたりの商品は最安値にされてしまう。顧客がそれを価値として認めないからである。

これを勘違いして「価格は顧客が決める」などと考えないことだ。1本500円でも売れないネクタイが多いなかで、1本1万円のネクタイが売れる。価値を作りあげる努力、そして価値を売る努力をするべきだ。

※ ※ ※ ※ ※

昭和、平成は競争が少なかった。だから「万人ウケ」というやり方が正解だった。

しかし、今求められる戦略は「とんがりを作る」ことにある。そのとんがりに関心のあるお客が集まる。

Web戦略で、今までにない新しい商品だと、1000人に一人の客でいい。

それでも、日本国内だけで、10万個売れる。

※ ※ ※ ※ ※

新撰組 土方歳三

「男の一生というものは、美しさを作るためのものだ」  
美しさとは節義である。

歴史は流転するが、いつの世も変わらないのが節義である。赤誠である。新撰組は節義でいこう。たとえ旗本八万騎が徳川家に背を向けても新撰組は裏切らない。最後の一人になっても裏切らない。

※ ※ ※ ※ ※

心が、積極か、あるいは消極かで、人生に対する考え方が両極端に違ってしまふ。

心が積極的であれば、人生はどんな場合も明朗、颯爽、澆刺、勢いがあるが、反対に消極的だと、人生のすべてがずっと勢いをなくしてしまう。人生がたった一回かぎりである以上、たった今からでき得るかぎり明るく楽しい状態でありたいもの。この当たり前のことが、できてない人がやたら多い。

※ ※ ※ ※ ※

楽しくて仕方なかった。

日曜日の夜、昔は嫌いだった。

今は月曜日の前夜が楽しい。

闇夜でも寂しくなかったし、口角がニヤリとあがった。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

職場とは働く場所ではなく

人が感動し、人が幸せになる場所。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

We make difference !

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

サラリーマンの時代は終わった。  
一人ひとりが経営者の時代。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

その人は愚痴を言う

「あの会社はブラック企業だ」と

だから、その人は仕事が嫌いである。

だから、その人は仕事ができない。

だから、その人は収入が少なく貧乏だ。

だから、その人は愛する家族を救えない。

だから、その人は社会のためにならない。

だから、その人はまた他の愚痴を言う。

だから、ブラックでいいじゃん。

※ ※ ※ ※ ※

## Pearl Harbor から学ぶこと

戦争は絶対にやってはいけない行為です。ただし戦争から学ぶべきことは確かにあります。

ハワイにいたときにアルバイトで観光案内をやっていました。キャデラックに乗った現地案内人です。「この木なんの木気になる木」のモアナルアガーデンからパイナップル畑の地平線を走り、サーフィン世界選手権で有名なノースショアなどを廻るのですが、パールハーバーだけは日本人の私は特殊な場所でした。

戦艦アリゾナが今でも沈んでいて上から見えます。60年前の油がまだ流出していて、爆弾が誘爆するので船を動かせないためにたくさんの人骨はいまだに船内に入ったままです。アリゾナメモリアルの上は、いつもしーんとしています。あのアメリカ人が妙に静かになります。ここでは日本人は年輩のアメリカ人の目を見ることもできません。

さて、この戦争で唯一勝った奇襲攻撃だと言われていますが、私はこの奇襲攻撃は本当は勝っていないのではないかと思います。真珠湾攻撃は大失敗の攻撃だったのです。

真珠湾攻撃は、日本軍にとっては本当に運の良い攻撃でした（ルーズベルトが事前に知っていたという説は今や常識です）。日本軍は6隻の空母で大艦隊なのになぜか米軍の哨戒機に見つからず、尚かつレーダーに見つかっても、見方だと誤認されてしまいました。日本軍はオアフ島北部方面から進撃するだろうという米国の予測までありました。

日本のお役所の送別会で二日酔いの担当者が宣戦布告を2時間も遅らせ、結果的に卑怯な奇襲となってしまう真珠湾攻撃です。

奇襲でしたが、大失敗の攻撃でもあったのです。当時真珠湾には一番重要なターゲットの空母がいませんでした。急降下爆撃機の第一波攻撃隊長が打電したトラトラトラは実は半分嘘の報告でした。

水平爆撃機は空母を探し求めました。空母がないので、第二の目的である水深の浅い真珠湾に戦艦を沈めることによって湾を封鎖するという目的だけに攻撃は絞られたのです。結果的に空母がいなかったことが、日本にとって大きく不利な戦争に結びつく結果となり大きな失敗となったのです。

真珠湾攻撃のあと日本軍は戦略の上で、学ぶことのスピードが極端に遅くなりました。何故失敗したかを真っ正面から反省せずにいたこと、国民も提灯行列をしてイケイケドントンという姿勢になったことです。国民も制限された情報のなかで学んでなかったのです。

戦闘機どうしの空中戦を「ドッグファイト」といい、映画の「パールハーバー」でご覧になった方は、ご存じだと思いますが、飛び立ったアメリカP-40戦闘機が次から次から零戦にやられてしまっています。開戦当時の零戦の強さは世界ではNO.1だったのです。航続距離と旋回能力は飛び抜けていました。まして飛行時間1000時間を超すベテランパイロットの零戦軍団には、平均飛行時間300時間のアメリカ戦闘機は勝てません。そこでその後、アメリカは徹底してドッグファイトを禁止しました。日本のドッグファイトの挑発にはのってはいけないという方法で、もつと上空からヒットエンドランという戦法にでたのです。それも零戦1機に対して2〜4機の戦闘機の量で戦ったのです。

零戦はいつまでたってもドッグファイトを挑もうとするのですが、戦う前に破れてしまいます。ここはまさしくランチェスター強者の戦略です。ビジネスでは営業マンの質よりも人数とその訪問件数です。

そうしているうちにアメリカはパワーアップした航空母艦専用のコルセアを作りました。このネイビーブルーの大きな機体を一度見ましたが、これが戦闘機の大きさか？とど肝を抜かれます。ど迫力のパワーをもった戦闘機で重機関砲をそなえています。

ビジネスではまさしく商品力です。この商品力に対して飛行時間が少ないパイロットしかいなくなった零戦はやられてしまいます。米国の開発の速さはもの凄いものがあつたといえます。日本の建造の早さはアメリカの5倍もかかっていたそうです。技術はあつても全くスピード感のない日本の製造スピードだったのです。

アメリカが戦略として海を制するには空からだ、と悟つたのは日本の真珠湾攻撃だそうです。日本はヒントをあげてしまったようです。この真珠湾攻撃が原因で戦争の主役は空母に移りました。アメリカは戦艦ミズーリと戦艦ウイスクンシンを造った後、戦艦造りをやめてしまいます。

ちなみに、今、ミサイルを積んで走り回ってる船は巡洋艦などで、戦艦ではありません。戦艦というのは、船同士で戦うことを目的に造られた船で、ミサイルではなく主砲で勝負します。砲弾を打ち合ってもしょうがないわけです。

ただし日本は戦艦から空母への転換が遅れ、戦艦大和などを建造しているから戦争に負けたというのは間違いです。日本がワシントン条約破棄後に建造した戦艦は大和・武蔵のたった2隻だけなのです。とにかく建造スピードが遅いのです。私が思うに、日本軍は真珠湾攻撃で成功したことは何かを検証しなかったこと、そして



真珠湾攻撃で失敗したことは何なのかを反省しなかったことにあると思います。このことはビジネスでも一緒です。運が良かったことを認識し、どこが失敗したのかを検証することが大切です。

戦争と違ってビジネスでは人は死なないので失敗に対して大胆に取り組めます。PDCA（プラン、ドゥー、チェック、アクション）がやりやすい世界です。

チェックまでやれているのに最後のアクションがなかなかやれない人が多いとよく言われます。10を知って何もしないより、1を知って1を行動するのが戦略が最も生きる方法です。

知っているかどうかではなく、問題は実践しているかどうかです。

そしてその決断をするのは今でなかったらいつがベストかを決断する。

米国の戦略変更の俊敏さと兵器開発の早さに学ぶことは大きいです。

「拙速は巧遅に勝る。」いまこそ日本人がパールハーバーから学ぶことは多いはずだ。

Remember Pearl Harbor !

& & & &

考える人は行動しない。それを私は知っている。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

好きな自分と四六時中いっしょにいる人は、自然と笑顔が多くなる。  
言葉も表情も柔らかくなる。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

仕事は人生の大道楽

この大道楽とは、どんなに面白くない人生も、面白く生きる才能のことである。決してナマケモノではなく、好きなことに対して心血を注ぐ者の行為である。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

神社は私達に「愛」と「貢献したい」という意欲を与えてくれる。  
祈り

「知恵を授かり、たくさんの方が喜びますように。」

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

速いⅡうまくいく 遅いⅡうまくいかない

人生そのものがスピード

※ ※ ※ ※ ※

自分の欲望のみでもって、しようとするとう成功しない。自分が欲望から離れて、考えたことを実行したときに成功する。起業家でも、欲の固まりでやる者と、「この仕事で、世の中の人のために役立つものを提供しよう」という気持ちでやるのでは、その結果が全然違う。

ひたむきに人の世のために役立つこれらを完成させよう。

※ ※ ※ ※ ※

仕事は遊び心がないとダメだ。

人生楽しくやらなくちゃ。

前向きな気持ちから色々な発想が生まれてくるんだから。

失敗するしないの前にやってみなければ結果は出ない。

悩む前に、良いと思ったことは挑戦する。

SONYの全盛期を作り上げた盛田昭夫に私はいつも誘発された。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

人に会うことが自分を変える

人と会うことでドラマが始まる

人に会うことで豊かになる

出会い系 大好き

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

過去にもうダメかもしれないと思ったことがある。

しかし、不可能は自分自身が作っていた幻想だとあるとき気がついた。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

松葉ガニは13回も脱皮するのだそうだ。

自分自身は人生で何回脱皮しただろうか？

齡63歳 まだまだ脱皮しよう。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

### Muddle through

雨の夜、泥沼をもがいてもがいて苦しいことばかり。

しかし、あるときそこを這い上がりブレイクスルーする。

もがいた分だけ成長するし、感動がある。歓喜がある。感謝がある。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

不得手なことに時間を注ぐな  
なぜならば人生の時間は短い

吉田松陰

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

良い環境に自分を置くと、良い考え良い行動をする。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞



使命

自分の目の前の問題に対して良心に従って行動すること。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

「ゴキブリのように遅しく生きてくれ!!!」

みやおか家 家訓

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

考えないで行動する。やばいと思ったらすぐに決断して撤退する。怪我は小さい。

たくさん行動しているので、体験や知識の量が半端なく大きい。

じっくり考えてから、大きな行動をすると、大怪我してしまう。

体験量が少なく、スピードがないので失敗する確率が高い。

つまり、撤退ばかりしている人や会社は実力的に強い。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

カーネル・サンダースは55歳でケンタッキーフライドチキンを起業した。  
だから私は55歳で起業する。

このチキンが旨いと信じ込み飛び込み訪問で1010件を断られ、最後に受注しこの会社を作った。

### Muddle through

人生ってこうなっているんだ。

この世に生まれてきて良かった。

& & & &

心の豊かな生活が一番尊い。

物質の豊かなことが高い人生だというのは大間違い。

どんなに金があったって、どんなに贅沢のできる境涯にいたって、しよっちゅう悩みがあつて、苦しみがあつたら、

けっして程度の高い生活をしているとは言えない。

その生活を豊かにしようには、理想を気高くしなきゃ。

たくさんの人達が喜ぶことを、我が喜びとする。

これが人の世のためになることである。

そして、もっと金を稼いでもっとたくさんの人達に喜んでもらう。

※ ※ ※ ※ ※

なぜ良いことを考えると良いことが起こるのか。

自己評価の高い人ほど成功する。なぜか？ 自己評価が高いとやる気がでるからだ。

自分自身にブレーキをかけない。

自分自身を許し、認めてやる。自分を価値ある人間だと感じる。

私もなかなかやるやん。 って。

※ ※ ※ ※ ※

消費者の心の中をしっかりと考えよう。

私達の唯一の目標は消費者の満足であり、他は全て「影」にすぎない。  
だから、お客様に欲しいものを聞いてはいけない。

※ ※ ※ ※ ※

怒られたとき、断られたとき、運をもらっている。

ビールの泡をスマイルと言う。スマイルは必要。

※ ※ ※ ※ ※

辛いこと 不満 悲しみ 怒り 心配 が多いのは、感謝を知らないからだ。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

才能とは

1. 断られても平気な才能
2. 失敗できる才能
3. 逃げない才能

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

頼まれたわけでもないのに走り回る人を「志士」という。  
幕末の志士はそんな人たち。  
ガードナーには志士がいる。

※  
※  
※  
※  
※

自分の口から、不平や不満がでたら、ただちに、それを恥ずかしいことだと思いうことにしている。

※  
※  
※  
※  
※



日々、有頂天。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

朝の起きがけに必ず口に出して笑いながら言う言葉。 >

やった！やった！イエー！

いいぞ！いいぞ！イエー！

Very good! Very good! Yeah---

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

愛情とは尊敬し合うこと

人の生命の消息を静かにみて生命の神秘を感じたなら  
尊敬し合う気持ちが自然とわかる。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

価値の競争をトコトンやろう！

私達はそのために生まれてきた！

そう考えるとビジネスはむっちゃ楽しい。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

誰かのために何かができる

それは他の動物にはない私たち人間だけの特権

誰かを生かし、誰かに生かされている

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

楽しくて仕方ない。

これこそ本当の豊かさ。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

晴耕雨読 とは言うけれど

晴れては仕事で楽しみ

雨が降っては本を読んで楽しむ  
ということなのだろう。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

努力は苦しいという間違った時代感覚は、今では心の貧しい証拠。

長所を殺し画一的な規格品の会社人間の時代は、とうの昔に終わっている。

サラリーマンからビジネスマンへの移行。

最近までサラリーマンは、僅かな俸禄で大名に召し抱えられていた武士と変わりなかった。

武士が主君に仕えたように、会社に忠誠心をもって仕える退屈な労使関係。

脱藩し浪人になって生きることが重要になったこの時代。

これをプロ化と言う。

※ ※ ※ ※ ※

今日が人生最後の日だとしたら、あなたがやっていることは本当にやりたいことか？

ステイブ・ジョブズ

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

すぐやる。必ずやる。できるまでやる。

モーターで世界一の日本電産

太陽よりも熱い男 永守重信

「スピード」は人間関係を作り、会社に信頼をもたらし、結果的に利益をもたらす。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

狂気と情熱が日本を変える

吉田松陰

No Crazy , No Success .

& & & & &

Global Niche Manufacture No.1

ニッチな製造で世界一。

& & & & &

ゆっくりでも、止まらなければ、結構進む。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

頭が良い人とは

「人が喜ぶことを考えて実行できる人」

なぜか、学校の成績が良かった人は、逃げてしまい消えてしまう。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞



自分達の「いいもの」は本当にお客様が欲しがっているものを常に検証しなくてはならない。  
モノづくりの独りよがりでは、まったく感動がないのだ。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

自分の場所に誇りをもつ人間が大好き！

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

私の人生は、失敗し放題。>

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

できると信じても

できないと信じても

現実には信じた通りになる。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

朝起きると、まず、第一に、ニッコリと笑う。  
眼が覚めニッコリと笑う。  
ひとりでに笑う。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

ふたたび来ない今日の日は、ただほがらかに、ただたのしい。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

人生は決して思い通りにはならない。  
しかし、結果は思い通り以上になる。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

「行動する」 Ⅱ 人のやらない事をする事。  
人のやることを自分がするのは行動ではない。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

オーラがある人。魅力がある人。

これは、人を喜ばせた数が多い人のことである。  
それがたまって溢れ出す輝きを言う。

※ ※ ※ ※ ※

Businessman 商売人とは

先に人を喜ばせる人のことをいう。

その種まきをどのくらいやったか。

種もまかないで収穫しようという人が多すぎる。

※ ※ ※ ※ ※

戦国時代の一番の武器商人は鉄砲を扱った「千利休」。  
この意外性のある商売がカツコイイ。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

戦略とは、シナリオを描くことである。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

ブランドとは、信用と評判である。  
それはお客様との約束をすること。

※ ※ ※ ※ ※

返事は早撃ち。

ハイッ!

わかつとるんかい?

ハイッ!

わかつとらんのやろ?

ハイッ!

バカかオマエは。

ハイッ!

うるさい!

ハイッ!

とにかくやっておれ。

ハイッ!

正直言います。私の青春時代はこの程度です。

※ ※ ※ ※ ※

間違っ<sup>て</sup>いても好きな方を選<sup>ぶ</sup>

好きな方を選<sup>ぶ</sup>のは、それが正しくなるように工夫するからである。

CRASY 儲<sup>け</sup>からなくても、やりたいことをやってゴキゲン。

ブレ<sup>る</sup>人は感謝<sup>され</sup>ようとする。

ブレ<sup>ない</sup>人は自分<sup>が</sup>感謝<sup>する</sup>。

ブレ<sup>る</sup>人は貯金<sup>する</sup>。ブレ<sup>ない</sup>人は勉強<sup>する</sup>。

貯金<sup>と</sup>勉強<sup>は</sup>反対<sup>語</sup>。

ブレ<sup>ない</sup>人はどこ<sup>か</sup>いい加減<sup>さ</sup>を持<sup>っ</sup>ている。

植木<sup>等</sup>・・古<sup>い</sup>

「そのうち<sup>なん</sup>とかな<sup>る</sup>だろーおー。」

とゆ<sup>っ</sup>たり考<sup>え</sup>る人はアイ<sup>デア</sup>がで<sup>て</sup>くる。 成功<sup>に</sup>近<sup>づ</sup>く。

※ ※ ※ ※ ※



昨日、龍馬が来ました。

坂本龍馬が言った言葉で一番好きな言葉

「みな善をするなら、おのれ一人が悪をしる。逆もまたしかり、英雄とは自分だけの道を歩くやつのことだ。」  
今の世の中、コロナや戦争に対して、皆まじめなことばかり言っている。

私達は「トコトンふざけよう!」と思う。

つまり、「戦争反対」ではない「平和賛成」なのだ。

※ ※ ※ ※ ※

「真剣にふざける」というのは「本当にふざける」ということ。

※ ※ ※ ※ ※

間違っているとしても平気。100%正しい決断は誰もが不可能。

結果を受け入れられる人は自信を生む。

これこそが成功に近づく。

失敗して悔やんでいる人の姿は誰も見たくない。

※ ※ ※ ※ ※

結果は欲しい。でも結果より欲しいものがある。

その道の過程で力を抜いたら満足感はなくなる。

一番欲しいのは満足感。「おお。こんなに没頭できた。圧倒的な没頭。1000人に一人の突き抜けた没頭。

今日はやったな！と思える毎日。結果は勝手についてくる。

※ ※ ※ ※ ※

⇒ シャツ1枚にジーンズ

姿勢が良ければカツコイイ!

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

品がない人が多いと思うのは自分の品がないから。  
品がある人が多いと思うのは自分に品があるから。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

品のいい人は食事中にスマホは出さない。  
品のある人は、今、ここ、あなた。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

飛行機で、

椅子を倒していいですか？  
の一言で旅は楽しくなる。

この一言で旅はエコノミーからファーストクラスに変わる。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

至誠にして動かざるは、未だこれ有らざるなり

吉田松陰

誠意（真心）を尽くして事にあたれば、どのようなものでも動かすことができる。  
逆に不誠実な態度で事にあたれば何もかも動かすことができない。

※ ※ ※ ※ ※

人生は心であり、どう思うかである。これこそが、自分の人生を天国にもし、地獄にもする唯一のもの。

「極楽だ、地獄だ」と感じているのは、自分の心。

自分の心が地獄だと感じれば地獄になる。嬉しいなと感じれば天国になる。  
だから「ああ、たのしいな」「ああ、うれしいな」って思うようにする。

真剣に喜ぶ。

※ ※ ※ ※ ※

スピードとは

「知る」と「する」の間の時間が短いことである。

早い人は知るとすぐにやる。

「すぐにやる」ではなく「今やる」

見る前に跳べ！

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

やる気とはスピードだ。スピードがある人にはやる気を感じる。

やる気はレスポンスのスピード感にでてくる。企画書や、手土産、あいさつだけの訪問にはやる気を感じない。スピードを速くすると集中力がつき、集中力があがるとスピードがつく。

という正のスパイラルになる。

集中力が下がるとスピードが遅くなりモタモタし、集中力がもつと下がる。

集中力は好きなことでアップする。

好きなことをしたらダラけませんか？という人は、好きなこと⇨ダラける。

好きなことは根気もいるし苦勞も多い。好きなことで鍛えた集中力を仕事にいかせばよい。

車、バイク、銃、トレーニング、釣り、旅、映画、モノづくり……。これが私のドラッグ。

麻薬をする人は、好きなことがない人。

※ ※ ※ ※ ※

アイデアはスピードの中から生まれる。時間的余裕のあるときは、アイデアは出てこない。仕事を減らすとスピードは遅くなり、生産性が低くなり、クリエイティビティがなくなる。

「忙しいから勉強するヒマがない」というのは間違っている。

それをやっていると永遠に時間ができない。なぜならば仕事はドンドン増えるから。

勉強すると時間が生まれる。勉強しないと時間は奪われていく。

忙しいときほど勉強して時間を増やせばいい。

勉強とは、読書と旅である。

※ ※ ※ ※ ※



一流ほど会食開始の時間が早い

一流の人は「17時から食べている

二流の人は「18時から、理由は仕事が終わらないから、もしくは終わることが出来ない立場だから。

三流の人は「19時。

セッティングで「17時からいいですか？」という人は、

「この人分かっていな」と思われる。これは一流同士の感情。

特に遠くから来たお客様に対しては、そのくらいするのがあたりまえ。

だから、18時に開始する店は二流。

19時からの会食は超一流。

※ ※ ※ ※

教育の目的は「モテモテになって、お金を稼げる人間に育てる事。」

それを子供に話してあげればいいと思います。

やり方はカンタンです。

その見本に自分自身がなることです。今すぐ貴方自身がモテモテになってください。

これが最高の教育です。

子供がカッコイイと思う親になることです。

本質的に尊敬されることです。本質的に。絶対的に。

お金を稼ぐことがあまり良くないと言われていた昭和の教育や倫理観とは今は違うのです。

古来の日本人は大好きですが、ここだけは世代を超えた共感はありません。

※ ※ ※ ※ ※

晴耕雨読（せいこううどく）

晴れた日には外に出て田畑を耕し、雨の日には家にこもって読書をする。悠々自適の境遇をいう。

辞書は、なんだか退屈な解説。

ちやうちやう。晴耕雨読とは、晴れたら外で汗して楽しみ、雨が降ったら家で読書を楽しむ。

つまり Everyday Holiday.

※ ※ ※ ※ ※

母親が子供と話す量で、その子の将来が決まる。危険なのは母親がスマホをやっていること。スマホが悪いわけではなく、子供と話す量が少なくなることです。くだらない話でもいい、ムダ話を通してアイデアがサービスが生まれるんです。ムダな話で友だちができることもたくさんある。

デートのときに、高級料理食べたあとに、いきなりセックスする？という会話は成り立たないし、こんな人はモテません。仕事のときも、ムダな世間話はとても重要なのです。

※ ※ ※ ※ ※

常に良い言葉、人を元気にする言葉、人に喜びを与える言葉のみを使っている人が増えれば増えるほど、この世の中っていうものは、グングン光を増してくるのだ。

そういう人が増えない限りは、どんなに国が社会改善を行おうと、国家改革を行っただってダメ。社会だ、国家だって言ったって、結局、人間の集まり。

コロナだ、戦争だと、話題に振り回されて人間自体が、暗く、だらけた、弱音ばかり吐いていたら、世の中は良くなるらない。

さあ。姿勢良く笑おう。小さな花を見て笑おう。

※ ※ ※ ※ ※

「働き方改革」とは生産性を上げることである。

今いるスタッフだけで、半分の時間で売上を倍にすると1.5倍の生産性になる。

そのためにはスタッフ全員で考えて、スタッフ全員で実行するしかない。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

一緒にやれる仲間とは、モラル（価値観）とスキル（能力）を見る。

モラルが高くてスキルが高いと最高

モラルもスキルも低いと最悪

モラルが低くてスキルが高いのはZの たった一人のせいでは会社全体が悪くなる。

モラルが高くてスキルが低いのはOは スキルは後からアップできる。

チームの中で共有するモラルがあれば事業は伸びる。

つまり、モラル（価値観）が高い人とは、ガードナイズムに共感する人である。

※ ※ ※ ※ ※

10年後にしたいことを今しよう！  
今を楽しむ人が一番強い。

※ ※ ※ ※ ※

敬語を話せるというのはとても重要なこと。敬語を使うのは相手に対するリスペクトではない。

自分のバックグラウンドのアピールです。敬語で話していると日本語のポキヤブラリーが圧倒的に増えます。料理が出てきたら「スツゲエ」と覚えた子供は、京都の高級割烹に行っても「スツゲエ」と言います。一口食べると「ヤツベエ」と言います。

親は敬語の美しさを教えなければならない。

※ ※ ※ ※ ※

「こんなのを作ってください」とお客様が作って下さいという商品は作りません。なにもお高くとまっているからではありません。

私達がお客様よりすでに遅いのです。

顕在化しています。

つまり誰もが気づいているものは、実はあまり欲しくないモノなのです。

ですから、お客様は喜ばないし、売れないのです。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘



人は欲しいものを引き寄せようとしているわけではない。  
自分と同じものを引き寄せようとしているだけだ。

これは宇宙の大法則。 引き寄せの法則である。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

心の納期・・・人生にも納期があります。

あなたの人生があと一年で終わる・・・としたら、あなたはこの一年をどうして過ごしますか？

旅に出たいですか？ 家族と楽しく過ごしたいですか？ 趣味をトコトンやりたいですか？

美味しいものを食べて廻りますか？ 会いたかった人に会いますか？

今の仕事をもっとやりたいですか？ 欲しかったものを買いますか？

一度しかない人生。

それもあと一年で終わりとなれば、やらずに後悔するより、当然やって後悔した方がいいと思いますよね。

そうです。行動あるのみです。自分のそんなワガママは絶対にやるべきなのです。

人生の意味を探すだけで、人は幸せになれます。

もう一度言います。二度とない人生ですよ。この一年どうします？

やりたいことをやって下さい。それは今です。

Just Do it! Now!

& & & &

ワクワクする夢なら必ず叶う。

「こんなに自由に生きていいんだ」と自分に許可を出しましょう。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

「あんたは好きなことをしていいわね」と以前は言われてた。でも今は言われなくなった。WANTを超えてクレイジーまでいくと、奥さんは文句を言わなくなりませう。

クレイジーとは合理性を超えてしまうということです。あきらめに近いところでもあります。「自分が好き勝手なことをやると家族が崩壊してしまう」という思い込みは間違いです。

クレイジーまでいくと、家族が逆にまとまる。クレイジーとは見返りを求めないことです。見返りを求めるのが合理性です。人間は見返りがないうちに最も幸せを感じます。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

伊能忠敬は51歳から17年かけて全国を測量して日本地図を作った。  
「よし！」と決断することで全てが可能になる。

※ ※ ※ ※ ※

ほめられた人より、ほめた人がテンションが上がる。

若いときにほめてくれた人は忘れない。

ほめる能力は人間力だ。ほめることができる人は成功する。

人はほめられた通りの人になる。

「社長って優しい人ですね」って言う社長は優しい人になる。(笑)

※ ※ ※ ※ ※

お金持ちになったり、有名になったり、自分ひとりが幸せになる「一人称の幸せ」には限界がある。

一人称の幸せは、多くの人と分かち合うことができないし、お金でも名誉でも地位でも何かを手に入れば必ず失う恐怖がついてくる。

一人称の幸せは、他者と奪い合いをしたり、競争で誰かと比較ばかりしては、心の平和が訪れることがない。

自分がいることによって、誰かが喜んでくれたときに、本当の幸せがあるのだと思う。

他人の幸せを望むことができれば、心の穏やかさを得ることができる。

そのために稼ぐのだ。

※  
※  
※  
※  
※

Inner voice 自分の心の声が聞こえる。

どんなときでも、自分の気持ちに誠実に正直に生きる。

自分が本当に自分らしくいられることが、自分の尊厳を守ることになる。

これが「信念」である。

毎晩の寝がけに鏡で自分の顔を見て言う「お前の信念強くなる！」

※ ※ ※ ※ ※

演技で怒ったり、叱るタイミングが大事などというテクニックを使う人がいるが、私にはとてもそんな余裕はない。演技は見抜かれる。怒ったとしても相手を憎むことなく、ぶつかった方が結局は心が通じ合い、信頼も生まれる。いつの時代も「才子、才に倒れる。」のは真理である。

※ ※ ※ ※ ※

ヤリの名人は突くより引くときのスピードが速い。突いたときの気持ちに酔って抜くチャンスを逃すと、抜けなくなって我が身を滅ぼすことになりかねないからだ。  
会社経営も同じ。

ヤバイなど感じたら、見栄も外聞も捨てて傷が深くないうちにサツと引き上げるべきだ。

※ ※ ※ ※ ※

会社のためではなく

自分が幸福になるために働け！

赤裸々に自分の人間性を出して、感動しながら仕事をするのが大事！

個人の幸せの上に会社と国家の繁栄があるのだ！その逆は真ならず。

※ ※ ※ ※ ※

一人一人が個人事業主。

これこそが本当の

働き方改革。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

うちでは、オレみたいなええかげんなヤツが、社長をやっている。  
だから、みんなには、よほどしっかりやってもらいたい。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞



何より嫌いなことは人間に階級をつけることだ。

大企業や中小企業では、なぜ皆階級を付けたがるのか。

皆、社員は皆、社長にすればいい。

部長、課長、社長も、包丁、盲腸、船長も同じである。

人間の価値とは全く関係ない。

このあたりまえのことが、分かってない会社が多すぎる。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

1500円の本は3日分のお昼ご飯代。高いと感じ買わない。

稼げない人は時給、月給と比べてしまう。稼ぐ人は生涯所得と比較して考える。

本を読んでやってみようという人は稼げない人。

本を読んでやってみたという人は稼げる人。

「なかなかうまくいかないんですよ」何がうまくいかないんですか？

「きつとうまくいかないんですよ」という答え。

「うまくいかない」と「うまくいかなかった」は全く違う。

うまくいかなかったという人は必ず稼げるようになる。

※ ※ ※ ※ ※

飲みに行こうね。といって時間がたってしまう人。

飲みに行こうね。といって今から行こうという人。

飲み会だからといっていつでも良いと考えてしまう人。

飲み会だからといって、大事に考える人。

ここには、人間力や仕事力に雲泥の差がある。

飲み会を軽んじる人にエキサイティングな人は少ないのが私の一次情報。

※  
※  
※  
※  
※

宇宙を創造した根源である気が常に人の心の中に入ってそれが思考となる。  
その思考が、行動になり、言葉になる。

これは人間のみが与えられた恩恵であり、他の動物にはない。

言葉というものは、思考を表現するためのものである。

言葉には人生を良くも悪くもする力がある。

だから言葉は、人生を左右する哲学であり科学であるということがいえる。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

昭和の時代、「傘」の需要はとても高かったが、あらゆる会社が生産に乗りだし、たちまち供給過剰になりメーカーは倒産に追い込まれた。

しかし、そこで「折り畳み傘」が考案されると需要のなくなったはずの傘は再び売れ始めた。食品だって、これから革新的な発見があればどんな凄い伸びを見せるか分からない。

要は需要を作り出すのはアイデアだということであり、それは市場開拓の本質を言い当てた言葉なのである。モノづくりというより、需要を創ることなのだろう。

ガードナースパイス、ガードナーバッグ、などなど。。。小さな発見は大きな需要を作り出す。

人生は、「報償の法則」(Law of Compensation)というもので完全に支配されている。

瓜(うり)の種子をまいて茄子(なす)はならないのと同様に、この法則はあくまで公平で厳粛である。

因果応報、いわゆる善因善果、悪因悪果は人為的にはどうすることもできないのである。

※ ※ ※ ※ ※

商売とは相手の財布にお金を入れるゲーム。サッカーと同じ。自分のゴールに入れたらオウンゴールで負けてしまう。

WinWinという言葉があるが、商売していて仲良くなるのはWinWinよりもGiveGiveが良い。

まず、自分が相手の為に何かをすることが重要。

これは人生でも同じ。そして会社という組織の中でも同じ。

※ ※ ※ ※ ※

私を含み〇人で銀行強盗をしました。私がボスです。

全員で念入りに下調べして、その銀行強盗は大成功！ 9000万円の収穫。 やった！

その日の夜。地下にあるアジトに〇人が集まって、どう分けようかと考えましたが、公平に一人1000万円づつ〇人に分けました。そしてビールで乾杯です。お疲れ様！かんぱうい！

とそのとき、地下への階段を一人の別の男が降りてきました。

「あの現場のセキュリティシステムを調査して、それをシステムを破ったのはオレだ。オレの取り分は？」  
流石に皆にもう一度分配し直しとは言えず、私の1000万円を彼にあげました。

まあ、次回のヤマを期待しようと再度「かんぱうい！」 そうすると、また別の男が地下への階段を降りてきました。「もともと、この銀行に大金があるという情報を掴んだのはオレだ。オレの取り分は？」

「ごめん。もう分配してしまって、オレの分もないんだ。」 「なにいく？この野郎く！」

「いや、ちょっと待ってくれ」と私は言って、銀行に1000万円の借金をしてもらいその男に支払った。

私はマイナス1000万円の成果。ボスって、そんなもの。 だけど、そのボスは10人の子分から絶大な信頼を受けて立ち上がり、このホームチームは最強となり、次の50億円のヤマを狙っている。

※ ※ ※ ※ ※

基礎研究なら大学や学者に任せよう。

場所も田舎で遠隔であってもいい。

しかし、商品の研究なら刺激のある都会に近いところでなくてはならない。

牛や魚が買ってくれるのではない。

人間が買ってくれるのだから、人間の研究をするのが当然である。

ガードナーはいつも人間を研究している会社である。

※ ※ ※ ※ ※



昔のことわざには、退屈で間違っているものがある。

「石橋をたたいて渡る」たたくヒマがあるなら先に渡ってしまえばいいものを。なんともスピード感のない。つまらない。

「出る杭は打たれる」これも、つまらない。たいくつ。

「出過ぎた杭は磨かれる」こっちの方がいい。

「能ある鷹は爪を隠す」

これも暗い。陰湿。時代錯誤。

できるヤツは失敗を恐れずに爪を出してチャレンジすればいい。

※ ※ ※ ※ ※

新製品を作り出すための、市場調査の効力は無に等しい。

消費者は評論家である。

企業は作家である。

その作家が評論家にアイデアを聞いたら、その志は極めて低いものになる。

マーケットターが言う「マーケットイン」という言葉があるが、そんな低い志で仕事はしたくないし、絶対にできない。不可能である。

ただし、人間そのものに対する見方、感じ方は研ぎ澄まされねばならない。

その上でプロダクトアウトをするのだ！

※ ※ ※ ※ ※

私が心酔している中村天風が言うことを簡単にまとめると。

自分の心の奥底にある真我が宇宙と連携とれるようになれば、天が支援してくれるようになる。

天が支援してくれるような事業を手がけ、天の助けが借りられるような人間性を高めていけば、どんな難しい問題も必ず解決できる。

美しい心を持った人は、その人自身の力だけでなく、宇宙を味方にして、すべてものがうまくいくようになっていく。それがこの自然界の法則なのだ。

という内容を中村天風は語る。

うまくいっていないことがあるとしたらそれは宇宙が応援されるようなことをしていないことが原因なのだろう。

だから、天が支援してくれる事業は宇宙霊のもつ万能の力を借りることができて大成功できるのだ。

私はこの真理と事実を絶対に信じ常に高潔なる理想を心に抱くことに努めよう。

※ ※ ※ ※ ※

将来の希望を選んだ人は勉強する。すなわち旅と読書をする。

将来の絶望を選んだ人は貯金する。それ以外、何もしない退屈な人生。

※ ※ ※ ※ ※ ※

自分の人生を変えないことにはお金は使わない。「これを買うか買わないか」と迷ったとき、

そのときの判断基準はそのものを買ったことよって、自分が生まれ変わるかどうかです。

私はその基準で、コルベットやハーレーダビッドソンを買いました。結果、予想通りに自分が大きく生まれ変わりました。安いからという理由で買っても、自分は生まれ変わりません。

逆に一般的に高級品だとか、ブランド品だとか、カッコイイだとかいうモノであっても

自分の人生が変わらないものに、私はお金は使いません。理由は安くても、高級品であっても、退屈だからです。フェラーリやランボルギーニは私にとっては退屈な車です。人生が何も変わらないからです。

※ ※ ※ ※ ※ ※

デザインの才能というのは一種の流行である。

個性が強すぎることなく、消費者にこびることなく、その時代、時代の人間の心をつかむことができる人である。

だから、言葉にしくとも、人間を観察する力が必要になってくる。

いつも、それをよくとらえることばかり考えている人である。

※ ※ ※ ※ ※

世界進出 いよいよ天佑なり

できるかどうかわからないが

オレはやりてえ。

※ ※ ※ ※ ※

頭で考えただけの理屈と

身体を使って実践することの間には

深くて巨大な溝が存在する。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

人生は「得手に帆をあげて」生きるのが最上だ。  
と本田宗一郎と吉田松陰は言い残した。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

笑えることを言うと相手は安心する。

案外いいやつかもしれないと相手は直感してくれる。

声を出して笑うと、相手を受け入れる寛容な心のスペースが生まれてくる。

だから、やっぱり笑ったほうがいいね。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

自分は間違っていた。相対するものは、真実であり、正しいとした場合。

自分が不利になったとしても、それを認め、それに賛成するのが勇気である。

人間は所詮、私利私欲もあり、好き嫌いもある弱い存在である。

だからこそ、そういった理想を持って生きたい。勇気とは、そういうことを言う。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

笑顔は学習しないとできない。

女優は笑顔を徹底的に研究している人達。

本当の笑顔は男も女も学習する必要がある。

勉強と同じ。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

人の知恵は「見る」「聞く」「試す」が集まったものである。

そのなかで「試す」が一番重要。

「試す」と失敗というリスクがついてくる。だがそれを恐れているは何も新しいものは生まれてこない。慢心や油断ではなく、未知の領域に踏み込もうとして生じた失敗については私は大いに評価する。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞



仕事は恋愛と同じ。

苦しいと思えば苦しい。

楽しいと思えばこれほど楽しいことはない。

と嫁さんに言うと、

「またどこかで苦労してるん？」と言われるのがオチ。

※ ※ ※ ※ ※

オレがソイツを怒鳴ったら、その日の夜はソイツと焼鳥屋で一杯飲みに行く。

オレに謝るといふ勇気があればそんなことはしないのに。

※ ※ ※ ※ ※

遊びたいから遊ぶ。・・・これでいいと思う。

自分をよく見せようと思わず、本音で自然体で生きる。

自分をさらけだした方が、ラクチンだよ。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

誰しも、たのしい、面白い、うれしい、と思ったときほど、人生に生きがいを感じることはない。

そして、それがどんなに健康にも運命にも大きな影響を与えるかわからない。

そう考えると、よりいっそうの貴い価値を感じる。この価値をも作った創造主（大自然）の万能の力に、無限の感謝をもって、この真理の中に安住するのみである。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

日露戦争での日本海大海戦で東郷平八郎率いる連合艦隊は、ロシアのバルチック艦隊に圧勝し「奇跡の勝利」と言われた。しかし、本当は奇跡でもなんでもなく、日本とロシアの艦船のスピードの差にあった。速い方が勝って当たり前。H字戦法は戦艦の速さがあったからこそできた戦術である。

陸軍大将、大山巖が率いる陸軍も奉天でロシアのクロパトキン率いるコサツク騎兵と勝ってしまった。ロシアが絶対的に有利だったのに。

政府や学者やマスコミは国民をあおって、「奇跡の勝利」「神風」「軍神」といった軍国精神で伝えてしまった。キチンと国民に伝えておけば、後に国民を悲劇の戦争に引きずりこむ空虚な精神主義は生まれなかった。

旅順を狙った、2003高地で5万人も死傷者を出した乃木希典も軍神とあがめてしまったマスコミの罪は計り知れない。

歴史から学ぶことは本当に大きい。自分が負けた理由は誰でも簡単にわかるが、なんで勝ったのか。ビジネスやスポーツに勝った理由をしっかりと認識しなければならない。

私は常々、誰にでも歴史書を読んだほうがいいと勧めている。

そこには世代を超えた共感が大いにある。

古今における人の「いきさま」がある。人のこと。人そのもの。

今、これこそが重要な時代になったのは間違いないと思う。

IQよりEQがとっても重要な時代。

人生の中で、こんなに手本になることはやっぱりない

織田信長、宮本武蔵、土方歳三、坂本龍馬、勝海舟、乃木希典、山本五十六・・・

たくさんの「いきさま」がある。先人の知恵と志を知ることが私にとってはかけがえのない財産。

これらの書籍を拝読すると、私は日本人に生まれてきて良かったとしみじみ思う。

無限の感謝をもってこの真理の中に日本人としての誇りを思う。

本気の日本人としてのアイデンティティ。これこそが本物のグローバルなのだと思う。

※ ※ ※ ※ ※

製品開発は楽しい。

だけど、開発は失敗が99%

新しいことをやれば必ずしくじる。

がっかりする。泣きたくなる。

だから寝る時間を惜しんでも何度でもやる。

死ぬまでやる。

やっぱり

たのしい！

※  
※  
※  
※  
※

不幸に直面したら、その不幸に対して、真正面から向き合い、  
現実に生きていられることを感謝することに心を振り向ける。  
するとそうした心がけが、確実に幸福を招くことになる。

※ ※ ※ ※ ※

紺綬褒章を賜りこの幸せをありがたく感じます。以下は明治期の日露戦争でバルチック艦隊を打ち破った連合艦隊解散の辞で参謀の秋山真之が起草したものです。

おもふに武人の一生は連綿不断の戦争にして、時の平戦に由り其の責務に軽重あるの理無し。事有れば武力を發揮し、事無ければ之を修養し、終始一貫其の本分を尽さんのみ。神明は唯平素の鍛練に力め、戦はずして既に勝てる者に勝利の栄冠を授けると同時に、一勝に満足して治平に安ずる者より直に之を奪う。  
古人曰く勝て兜の緒を締めよと。

明治38年12月21日 連合艦隊司令長官 東郷平八郎

※ ※ ※ ※ ※

悪いことの次は必ず良いことがやってくる。

自分の人生は何も良いことがなかった、つらいことばかりだったと嘆く人は多い。

しかし、それは絶対に間違っている。誰しも人生は良いことと悪いことが50対50なのである。

どんな人でも調べたら、必ずそうなっているはずである。

だからこれまでの人生を振り返って、いいことよりも悪いことが多かったと思うのなら、喜ぶべきである。なぜなら、これから必ずや素晴らしい人生が待っているからだ。

ルームシャンプーの3年間は本当に辛かった。でもこれは必要な時間だったのだ。

※ ※ ※ ※ ※

とにかく一日の人生のなかで、お互いの気持ちに勇気をつける言葉、喜びを分かち合う言葉、聞いても何となくうれしい言葉をいいあおう。人間の気持ちは本当に凄い。

自分が元気で積極的態度的ときには、健康も運命も良くなってしまうものである。創造主はここまで素晴らしいものを創ってくれた。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘



人間は、この世に病気をするために生まれてきたのでもなければ、

また悩んだりや苦勞をするために生まれてきたのでもない。

もっと重大な使命を遂行するために生まれてきたのである。

その使命とは何かというと、宇宙の進化と向上と同じ流れであり、それを現実化することに生きることである。

よって、人間はこのような使命を遂行するためにこの世界に生まれてきた。

病氣や悩みや苦勞はその流れに反しているので、それを心で思うことそのものが使命から反している。

もちろん、その人の人生は価値のないものになってしまう。

自分にとって美しき流れとは何なのかをしっかりと考えよう。



人生はどんな状況にあっても「好きなこと」を追求しなければならない。

なぜなら自分の才能や魅力を磨く源泉はその「好きなこと」の中にあるからだ。

「好きなこと」でそのなかにある辛いことも乗り越えられる。

そして人生を面白く生きる秘訣もその「好きなこと」の中にある。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

昭和は、花金を楽しんだ。

だから、日曜日のサザエさんは辛い番組だった。

令和は、花月を楽しむ時代である。

だから、曜日の感覚がなくなってしまった。

ホント、今は、むっちゃ良い時代だ。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

頭のいい人とは？

勉強ができて、学歴が高い、頭の回転が速い、論理的思考能力が高いということではない。

「良いことを考えてそれを実行できること」

良いこととは、人が喜ぶこと。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

決断。今でなかったらいつする？

チャンス。それはいつ来る？

決断は辛いことではなく明るく楽しいこと。

そして、心はラクチン。

なおかつ、心がエキサイティングなこと。

「エキサイティング」の反対は「退屈」。

私は「退屈」な人生は苦手。面白くない。

今、たった今、目の前の仲間相手にたくさん楽しみたい。

今、ここ、あなた。

明日になっても、明日は永遠に來ない。

今が大事。もちろん、それは頭では分かっているんだけど。。。

ね。

※ ※ ※ ※ ※

作って見たら「あちゃ。失敗」というのがたくさんある。  
でも

作って見たら「こりや。いいね。」というのもでてくる。  
ガードナーの開発は、ただただ作るといふ行動にしかない。  
当たっても連打。外れても連打。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

イノベーションはアイデアではなく行動力。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

社訓である Guardnerizm を書き換えました。

ー 真剣にぶぎける会社 ー The Seriously Crazy Ship

タブーを破り常識を揺さぶり、情熱と狂気の罪深き会社。 Sin Black Company

好き勝手に動くこのチームは革命をたくらむ。

Fuck ! Corporate governance, Compliance, SDGs, and CSR ! We need ぶぎける。

大義 モノづくりにより世の中の一隅を照らす

チームでやる

1. スピード、スピード、スピード 2. 良い労働条件と給与体系

3. 世界にスケールし世界一になる Global niche No.1 4. 祈 知恵を授かりたくさんの人が喜びますように

みんながやる

1. 笑う 明るく楽しく元気よく 2. 楽しむ 仕事は人生の大道楽

3. 出る杭求む 仕事も遊びも見る前に跳べ 4. 天真爛漫 何でも喜び、何でも感謝

⌘ ⌘ ⌘ ⌘

夢は大きければ大きいほど実現する。

小さな夢・・・面白くないので人が寄ってこない

大きな夢・・・この夢、気になるという人が集まる

だから、夢を語る。夢を叫ぶ。夢のオオボラを吹く。

吹いて吹いて吹きまくる。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

忙しい人ほど、本を読む

ヒマな人は、本を読まない、これは間違いなく真実である

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

「ガードナーは、常に消費者視点の会社になる」

どんな会社の事情も、どんなに素晴らしい善意も、消費者価値に繋がらなければ一切意味がない。

※ ※ ※ ※ ※

アメリカで90歳以上のご老人に聞いたアンケート結果です。

「90年の人生を振り返って唯一後悔していることは何ですか？」

これに対して、なんと90%の人が同じ答えでした。

それは、「もっと冒険しておけばよかった」

人生とは・・・ここに大きなヒントがあります。

※ ※ ※ ※ ※



知識は知恵にならないと全く役に立たない。

学校の勉強は暗記だけの知識であるが、未だに日本の教育者はこのことが分かっていない。

だから、知恵は社会に出てから磨かねばならない。

そのときに必要なのは自分自身の「夢」である。子供の時から熱中できる道楽は「夢」につながる。

だから、子供には夢中になるくらい、好きなことをさせるのが一番良い。

大道楽は間違いなく知恵につながる。

※ ※ ※ ※ ※

スピードこそ最大の経営資源　スピード、ヒト、カネ、モノ　の順。

いかに早く市場のニーズを掴むか、いかに早くニーズにあう商品を作るか、いかに早く市場シェアを獲得するか。そのスピードは2倍の質で、2倍働く。

※ ※ ※ ※ ※

働くことは生きること。  
生きることは働くこと。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

中学生から

「貴社は社会貢献、社会事業をされていますか？」  
と聞かれたらハッキリ答えられますか？

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

仕事は遊び 遊びは仕事

まわりの皆と真剣に遊びたい

真剣に遊ぶのが仕事

経営とは変化であり、社会の変化に対応することだ。

※ ※ ※ ※ ※

明日という言葉は、明るい日と書く。 今日よりも明日はもっと明るい日になる。

そのためには、自分が自分の夢を信じなければならぬ。

明るい未来を描いていなければならないのだ。

※ ※ ※ ※ ※

平和で幸せな世の中を創るためのモノづくりをしていくと決めた。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

そのアイデアは世界にスケールできるか？  
最初から世界を狙おう。

∞  
∞  
∞  
∞  
∞

色気は「生きていくハリから生まれる」 他人に何かをしてあげようと思うときにハリが生まれる。  
仕事を通して全力を出していく生き方をしていくことで、自由と開放感を得られる。  
他人から何かをしてもらおうと思っていると束縛と閉塞感しか生まれない。  
これは真実である。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

魅力はタブーを破れる勇気から生まれる。

タブーを破るのは罪悪感との闘いになる。

してはいけないことを守るのは優等生である。

難しいのはしてはいけないことをすることである。

坂本竜馬は天の逆鉾を抜いた。

福澤諭吉は神社の中に何があるのかを確かめた。

アメリカではルールを破るのがヒーロー

上司の言うことを聞かないのがヒーロー

ガードナーはアメ車にバイクにエアガン。まだまだ可愛い。

※ ※ ※ ※ ※

ガードナーフィットネスベルトは世の中の人たちの姿勢を直す。

姿勢が良ければ人生が変わる。

姿勢が良ければ犯罪は減る。

姿勢が良ければ幸せな人が増える。

これは立派な社会貢献だ。

※ ※ ※ ※ ※

一流は写真を撮るのを忘れてしまうくらい感動する。

ドイツニールランドでスマホで写真を撮っている人は感動していない。

料理を食べるときも同じ「しまった。写真撮るのを忘れた。」という人は料理に感動している。

※ ※ ※ ※ ※

一人で入ったラーメン屋の赤いカウンターに座る。

新幹線の自由席で椅子に座る。

隣の席に神様が座ります。

隣の席に荷物を置く人が多い。

席を空けておくと、

仕事のパートナー、

男女の仲、

一生の親友が得られるかもしれない。

隣の席に荷物を置いている人は、せつかく神様が準備してくれたのに出会いがなくなる。

※ ※ ※ ※ ※



エレベーターの閉じるボタンは、たくさんの人が押すからすり切れています。  
しかし、私は絶対に押さない。

もしかしたら、凄い美女が乗ってくるかもしれない。

これが、出会いというものです。

少なくとも気持ちがいともそうですから、私には出会いが多い。あたりまえです。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

夢は重要です。

しかし、今の生き方を大切にするのがとっても重要です。

運のある人は夢を語るより、今の生き方を変える努力や工夫をしている。

今の生き方が未来につながり、夢に近づく。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

本当に運のある人は、運のない人よりもたくさんハズレをひいてしまいます。

どんなにハズレても、あきらめないで引き続けられるのが運のある人です。

なんでこんなに調子が悪いんだろうと思うことがあります。

でも、それも同じです。

あきらめないで向かっていくしかないのです。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

最初から世界市場を狙おう！ あらゆるスポーツでの世界チャンピオンは練習から世界一の練習をしている。

世界を目指すと製品も私達も進化する。

さあ、世界を獲りに行こう！！ 天真爛漫に。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

運のない人はじっとしています。

じっとしていて外から入ってくる情報に運はありません。

運に出会えるのは自ら動いたときだけです。

運を手に入れるのは、  
動く ↓ 気づく ↓ つかむ

簡単です。

コロナウイルスの影響で外食しなくなった人は運から見放された人たちです。

自分の周りを見渡してみてください。

だから、ガードナーは0時に乾杯するのです。

※ ※ ※ ※ ※

ハンズオンであることの重要性。

机の前ばかりにいないで、自ら現場にでる。

自分で動いて、自分で汗する。

私作る人。私売る人。私経理。

そんな昭和のやり方は終わった。

私達はメーカーだ。

作るのはいつも

*Made in Market.*

いつでも皆がハンズオンで動く。

& & & &

私達の人生の途中でインターネットがでてきた。

インターネット前とインターネット後で変わったことは「スピード」だ。

10年早く、10倍速く。

「拙速は巧遅に優る」

走りながら完成度を上げていくというスタイルは今や普通である。

& & & & &

今も昔もハードワーキングをやった方が勝つに決まっています。

ただし、昔は時間のハードワーキングでした。逆に言うと生産性が悪かったのです。生産性が悪い状態で働き方改革をすると、当然会社は潰れます。

今は、限られた時間で生産性をあげるのが重要です。

ですから肉体ハードワーキングから知的ハードワーキングに移行しなければなりません。情報収集能力や組織力で勝負していくのです。

そのために勉強が必要です。

旅と読書なのです。具体的な戦術こそが大きなパワーに繋がります。  
してますか？ 旅と読書。>

& & & &

運は引きよせられるもの

事業というのは最後は天命、すなわち運に委ねられていると思う。

ただ、単なるあみだくじの運ではない。

働いて、働いて引き寄せるものが運だと思えます。

やっぱりハードワーキング。

※  
※  
※  
※  
※

人間の能力の差は仕事にしてもスポーツにしても大差はない。

私がやってきた空手やパワーリフティングではやりこんだ人は10倍くらいしか差はない。

仕事でも能力の差は、あっても10倍程度である。

しかし、やる気、意欲、意識の差は100倍の開きがある。

つまり高い能力を持っていてもやる気や意識の低い人は使い物にならない。

多少能力は劣っていても、やる気や意識の高い人こそが大きな戦力になる。

※ ※ ※ ※ ※



工場の都合にあわせてモノづくりをしている会社はもう生きてゆけない。

同じように、工場の都合をお客様に伝えている営業マンも生きてゆけない。

すべてがお客様のマーケットやお客様の要望で進められなければ、どんなメーカーも明るい未来はない。マーケットやお客様の要求を機敏に察知してそれを工場に伝えるのが営業マンの役割。

これが、「メイド・イン・マーケット」という考え方。

※ ※ ※ ※ ※

高級旅館、高級ホテル、高級割烹、高級レストラン

共通する感動のサービスは「お客様の期待を超えること」である。それはモノづくりでも同じこと。だからお客様に聞いてもお客様の期待を超えるモノは絶対にできない。

メーカーはアンケートなどでお客様に聞いてはいけないのだ。

ガイドナーが作るのはいつも「お客様の期待を超えるモノ」である。

高級ガイドナー。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

ミッション（会社では大義、個人では志）を持った人は頑張れる。

経営者やリーダーには、ミッション、ビジョン、パッションが必要だと言われるが、最も重要なのはミッション。

素晴らしいミッションができれば、明確なビジョンができるし、強いパッションも湧き上がってくる。

私達はそれぞれ、心の中で遠い行き先を見つめています。その道しるべがミッションです。

そして、そこにどうすればたどり着けるか、どういう手段で到達するかという具体的計画がビジョンです。

どうも、最近、自分自身に情熱を感じない。という方は、ミッションがないか、あるいは忘れてしまっていないか、もう一度振り返ってみてください。

ミッションを持った人は、頑張れる。その結果、楽しめる。



ミッションとは何か？ ミッションここでは個人の「志」としておきましょう。

どうやったらミッションを見つけられるか？

それは①②の内容が重なる部分。

①情熱をもって取り組めること（好きなこと）

②世界一になれること（得意なこと）

③経済的原動力になるもの（何か人のためになること）

引退しましたが、イチロー選手はどうでしょう？ もちろん野球は好きで、大得意。

そしてお金を払ってそのプレーを見たい人がいる。その価値は大きいですね。

実は私福山克義はこの三つが重なるところにいます。

①と②は何の努力もなしです。でも③は最初からではなく、ビジネスを懸命にやっているうちに、気持ちがいってききました。この三つが揃ったとき、世界を狙いたいと感じるようになります。

皆さんで世界を獲りにいきましょー！！

※ ※ ※ ※ ※

## 宝くじテスト

「私は、スタッフが宝くじで1億円当たったあとでも働き続けたいと思う会社を作りたい。」  
その金額は一生働かなくても暮らしていけるお金。もうお金のために働く必要がないのです。  
私にとってはハードルは高いけど、究極的な会社の存在目的を示していると思う。

※ ※ ※ ※ ※

社長である私の究極の喜びは2つです。

- ①業績が絶好調で、特別賞与を払うこと
- ②人が育つということ

※ ※ ※ ※ ※

No Limit !! 自分に制限をかけない。

人と違ってたっていい。恥をかいて人に笑われてもいい。自分に素直にありのままに生きていい。全ての人と仲良くできなくていい。大好きな人に大好きって伝えていい。

自分の意見を主張していい。弱い自分を見せたっていい。

嫌なことは断っていい。人に助けを求めてもいい。

もっと豊かになってもいい。楽しいことを優先してもいい。

幸せになっていい。自分を好きになって自分を信頼してもいい。

生きたいように生きていい。

声に出して言うてみてください。

何か心に引っかかるものがあれば、その言葉は自分に何か制限をかけています。

その言葉を三週間寝る前に三回自分に優しく伝えてあげよう。

& & & &

自分が尊敬している人、憧れている人を二人あげてみる。私の場合

①稲盛和夫（京セラ創業者、KDDI第二電電再生、JAL再生）

②坂本竜馬（幕末の革命家）

実はここに自分がやりたいことの「方向性」、「ワクワクする種」が隠れている。同じ事をやりたいではなく、方向性である。

この二人に隠れている共通点は仕事を楽しくんでいることである。

「努力する者は、それを楽しくんでいる者には勝てない」

努力は無理しているのでいつか力つきます。

でも、楽しむことができたら力つきることはありません。

「楽しめる」これこそが最大の才能です。

私が死んだら墓に刻んでほしい。

Everyday Holiday

& & & &

これまでの人生で一番嬉しかったことは？ 人生で絶対に自分では起こせない奇跡がある。

それはあなたが生まれてくることです。あなたの両親が起こした奇跡です。そのお陰で、喜ぶことができます。怒ることができる。悲しむことだってできる。楽しむこともできる。これがどんだけ凄いことか！

昨夜の酒の話で若者が「そうはいつでも悩みのない世界に行きたいですよ」と言う。その悩みのない世界はあります！ それは「墓場」です。墓場の中でじっとしているのはやっぱり退屈です。

私達の人生は約80年。これは宇宙「3」億年の歴史に比較した場合は、わずか0.1秒。もともと無だった。だから、生きていくことだけで凄いことなのだ。良いことも、悪いことも、何かが起きるとそれ自体が生きる醍醐味です。心の平安は、墓場の中にあります。今は、悩み、叫び、悲しみ、笑い、歌い、踊ろう。

だから、何が起きようと、今日という日をまるごと受け止め、存分に味わうこと。そうしたら、心の扉が開き、自分の声が聞こえてくる。

しかし、今日は台風で上五島に釘付けで旅館には私一人。旅館の酒浸りのオヤジもどっかに行ってもうた。これも、しっかり楽しもうっと。



HONDAの創業者・本田宗一郎が晩年に言った言葉

「人生最高の財産は、名誉でもなく、お金でもなく、良き友だった」と  
私はこれをソックリマネして言いたい。

「一緒に夢に向かうこの仲間こそ、人生最高の財産だ」

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

幕末の革命児 坂本龍馬

「これからは、カンパニーじゃあ！」

と意気揚々、海援隊を立ち上げた龍馬。当時32歳です。

その最初の船出で、いろは丸は紀州和歌山藩の蒸気船・明光丸に衝突。

いろは丸は沈没してしまいます。

龍馬は明光丸の過失を主張。しかし、相手は徳川御三家、天下の紀州藩です。

一方、海援隊は、脱藩浪士達の集まり、事実上フリーターです。

王者・徳川御三家 VS チームフリーター

これでは勝ち目がありません。しかし、龍馬は諦めなかった。

"Sing a Song"です。

船を沈没させられた賠償金をとるために作詞作曲で立ち向かった！！

「船を沈めたそのつぐないは 金をとらずに国をとる

♪ はあ よさこい よさこい・・・」

歌を作り皆でその歌を歌ってもらい、この事件に注目を集めて紀州藩を逃げにくくしました。

さらに、龍馬は裁判を公平にするために幕府主導ではなく「万国公報」という世界のルールブックを持ち出した。

おまけに、龍馬は交渉の場で日本刀をもった仲間にいじめられている。

「龍馬、何をぐずぐずしてるんだ。アホか、お前は！紀州藩ごとき国をとればいいぜよ！」  
するとリーダーの竜馬があんなにいじめられているぞ。海援隊のやつら怒らせたらヤバイかも。  
と紀州藩のメンバーはこう思い始めました。

これも龍馬の作戦でした。海援隊のメンバーに日本刀を帯びさせ龍馬を強く責めさせたのです。  
びびった紀州藩は、結果、 $\infty$ 万両を支払いました。

現代の価格にするとい億円くらいです。なんでそんなにお金が取れたかというところ、いろいろ丸の積み荷にミニエー銃が400挺積んでいたと主張したからです。

しかし、実際はミニエー銃はいつさい積んでませんでした。

龍馬がこの裁判で談判した旅館に明日泊まります。

切羽詰まったときに、なんでこんなことができたのか？

龍馬は人生をなめていました。もう一度いいます。人生をなめていたんです。

今の価値観では人生をなめるなんて思いますが、いまでも同じなんですよ。

もう一回言います。龍馬は人生をなめていた。

自分が大ピンチになったとき「Sing a Song」です。

大ピンチな状況で歌うんです。

龍馬は人生をなめていた。良い意味で。

龍馬が勝ち取った賠償金はその後、岩崎弥太郎が引き継ぎ、そこから三菱グループが生まれ、「麒麟ビール」も誕生しました。

だから「麒麟ビール」のキャラクターデザインは、頭は「龍」で足は「馬」。つまり龍馬。

大ピンチを大チャンスに変えた「龍馬」のリスペクトを込めてのデザインだそうです。

「なんでも思い切ってやってみろよ。どっちに転んだって、人間は野辺の石ころと一緒に。最後は骨となって一生を終えるのだから。だから思い切ってやってみろよ。」

これは生前龍馬が残した言葉ですが、龍馬はどんな事態でも深刻にならずに人生を冒険として生き抜きました。そんな龍馬が私は大好きです。

今の悩みが馬鹿馬鹿しくなってきたでしょう？

では、一度きりの人生に麒麟ビールで乾杯!!!



欲しいモノには、生活のための「必需品」と、生活に必要でない「必需品」の二つがあります。

必需品にお金を使うとき、より癒やしの効果が得られます。ガードナーが作っているのは必需品です。

必需品の場合は仕方なくお金を使っています。例えばトイレットペーパーは必需品なのでないと思いますが、少しでも安いものを買いたいと思います。

一方、リラクリウムというアロマ効果があるものは、別になくても生きてゆけます。

こういうものを買おうとするときに、ちよつとでも安くとは考えません。自分の好みにあったものを買おうと考えます。

眼鏡を買うときに見えれば良いと考えると、それは生活必需品です。そのときは安いものを買おうでしょう。

ところが、よりオシャレなものを買おうとすると、それは必需品になります。同じものを二つ買おうとしたらそれも必需品になります。

これが道楽というもので、心の豊かさに繋がるものです。

必需品をどれだけ集めても、心はいつまでたっても豊かにはならないのです。



道楽とは、出会いを生み出す最大のインフラです。

ゴルフ、釣り、バイク、旅、マリンスポーツ、スキー、トレーニング、武道・・・これらは出会いを産みま  
す。

ハーレーダビッドソン一人旅、これだけで人との出会いがたくさんあります。お金を使うというのは、将来の  
自分のためのインフラを作っていること。つまり、今回の旅はそのインフラ作り。

インフラとは、道路、鉄道、輸送、通信のことをいいます。

人がいきなりやりたいことをやろうと思っても、そのインフラができていなければ何もできない。

自分のやりたいことを実現するために、お金を貯金する人はいっぱいいますが、それは自分のインフラを整え  
るのを怠っているにすぎないのです。インフラを作るためには、やっぱりお金が必要になります。

自分がやりたいことをやるには、短期間でインフラを作るのは無理です。

何十年もかけて人生のインフラを作る。

明日のために、道楽を通して、自分のインフラをしっかり整えておきましょう。



自分の好きなことを出来ない人が、金持ちが好きなことをしているのもみて不満を言っていました。道楽を否定する人は、自分がガマンしながら何かをやっている人です。

自分はガマンしながら生きているから、ガマンしないで好きなことをやっている人がいると損した気持ちになるのです。そう感じる前に、自分もやればいいのです。つまり生き方に対して心が素直ではないのです。

道楽に対して否定的な人と、肯定的な人では生き方が全く違うものになります。

道楽という言葉がネガティブにとらえる人は豊かな暮らしをしていない人です。

豊かとは私もそうしたいなという考え方であり、収入とは関係ありません。

道楽をせずにガマンして生きている。誰かの犠牲になっている。

これは「恩着せがましい生き方」です。昭和の時代にたまに居たんです。ホントに恥ずかしい。

「俺は家族の犠牲になって、働いてきたんだ」

聞きたくもないです。もし私の父親がそうであれば、無茶苦茶恥ずかしいことになります。

自腹で遊んで、初めて道楽になります。

会社のお金を使うと経費となりますが、これはお金を使っている満足感がありません。自分のお金が出ていくことによって、初めてそこから得るものがあります。

会社の経費で遊ぶと、学びがなくなります。会社のお金を使っていると、やがて自分のお金を使うのはもったいないという気持ちになります。これが、「心が貧しくなる」ということです。人間ってどうしても会社のお金だと高いモノや高いところに行こうとします。

私だってそうです。自分で自腹で行く店は安い店です。結局、好きか嫌いかではなく、高いか安いかその人の基準になってしまいます。

道楽は、高い安いは関係ありません。好きか嫌いかです。

どうせ他人が払ってくれるのだから高い方を選ぶほうと考えると、最後には好き嫌いの感覚さえなくなってしまいます。心がゾンビ状態になってしまいます。これでは道楽者になれるはずがありません。

安い焼き鳥屋・・・でも、たくさん話ができるから楽しい。これは道楽です。

道楽者は自腹で思いつきり楽しめます。

※ ※ ※ ※ ※



事業で大成功するには、心つきありません。

小成功ではなく、大成功です。

①良いことをする。

②好きなことをする。

どちらかでも良いですから、考えましょう。

人々を幸せにすること。か それとも自分が死ぬほど好きなこと。

生活の手段？ 小金です。家族の犠牲？ 小金です。儲け話？ これも小金です。

実は、好きなことをしていると、結局は世の中のためになっていきます。

過去の歴史を見ても、鉄鋼王、石油王、という大規模なものも、

松下幸之助、本田宗一郎、永守重信 ・ ・ ・音楽家、プロスポーツ、喜劇、

もちろん最初からうまく行っていません。

でも、彼等は皆、好きで好きでたまらないのです。

「得意に時を過ぎなさい。なぜならば人生の時間は短い。」 吉田松陰

※ ※ ※ ※ ※

やりたいことが見つからないという若者が多いです。

この問題解決は意外に簡単です。その人は動き方が足りないのだらうと思います。

勉強とは、旅と読書です。旅とは、出会いです。自分から一歩前に出ることです。自分から声をかけることです。旅に出ても、相手から声がかかることは、ほとんどありません。自分から声をかけないと旅ではありません。この簡単なことが、なかなか出来ていないのです。日頃の挨拶もできない人は、もちろん旅ができません。今回の旅で、私は相手が誰であろうが、老いも若きも男も女も声をかけてきました。

浅い挨拶程度に終わることもありますが、人生を語ることもあります。それには量稽古が重要です。ただ、旅をするとやっぱり沢山のモノやコトとの出会いもあります。

いろんなモノやコトを見て廻るとやっぱり旅にでて良かったと思います。やりたいこと。やらねばならないこと。やる方向性。

今回も身体で感じました。

旅は仕事です。　　仕事は旅です。

※ ※ ※ ※

勉強とは旅と読書です。その読書についての利点は多くありすぎるくらいで、読書しない人生は大損です。

その利点は、語彙力が上がる、コミュニケーション力が上がる、想像力がつく、新しい価値観が入る、思考力がつく、アイデアが得られる、生き方が学べる、知識が広まる、視野が広がる、行動力がつく、やさしくなる、などなどです。私は上記の中で「生き方が学べる」という点が一番自分の人生に影響がありました。

つまり、歴史や伝記を読むということですが、ビジネス書はかなり読みましたが、あまりお褒めしません。

歴史、つまり時代小説は、ビジネスには欠かせない書物です。歴史を知らないでビジネスはできないとさえ思います。あまりにも学ぶことが大きいのです。また、著名なビジネスマンで歴史嫌いな人は皆無です。

ビジネスでというより、人間同士での話で自分が尊敬する歴史上の人間の話になると、その人の生き方が大凡わかりますし、意外にその話での共感する場面が多いのです。

もし、そのような経験がないとすれば、そんな素晴らしいビジネスマンと出会ったとしても、自分にその知識がないのでその人の良さが見いだせなかっただけだと考えた方がいいです。

今は、書籍以外にもオーディオブックなどもありますし、是非、歴史上の時代小説など読むことをお褒めします。

※ ※ ※ ※

これからは「文化力」を身につけていく時代です。

文化力は道楽で身につきます。

どれだけ苦勞したかではなく、どれだけ楽しんだかが重要です。

本気でゴルフが好きになるのは良いが、接待ゴルフは今すぐにやめるべきです。

徹夜で仕事をして、朝イチでゴルフの練習場に行つて、そのまま職場に戻る。というくらいの覚悟こそが道楽です。遊ぶにはエネルギーが必要です。よく「遊ぶヒマのある人はいいな」と言いますが、それは間違いです。

ヒマのある人が遊んでいるわけではありません。

遊ぶ人はエネルギーがあつて、仕事ができるから、猛烈に忙しい、だからまた仕事が出てしまう。

情熱をかけて遊ぶことによって、その体力がさらに鍛えられる。

バイクは好きだけど、暑いからバイクは乗らないと言っている人に、遊ぶエネルギーも仕事のエネルギーもないのです。

文化力とは道楽をしたいというエネルギーなのだ。

※ ※ ※ ※ ※

失敗や負けたことを楽しめるか。スポーツや武道では、最初は負けてばかりです。強い先輩にかかるとコテンパンにやられます。でも、負けたから嫌になるというのは、元々好きじゃないのです。釣りも釣れなかったら、嫌だというのは釣りが好きではない証拠です。アメリカのカジノの場合、ほとんどの人が負けますが、それでもまたやってきます。勝った人だけ来るとなるとカジノは成立しません。実際は皆負けているのに、十分楽しんでるんです。そして、どんなに負けても楽しかったらまた来るのです。アメリカのカジノに面白いジョークがあります。「ラスベガスに行くときはキャデillacやリンカーンのフルサイズカーが行くんだ。でも、家に帰るときは、もっと大きな車で帰るんだ。・・・大きな車とはバスさ。」これが道楽です。

女好きの男は、女性にふられても、また次の女性のところに行きます。ふられて嫌になってやめる人は女好きではありません。たくさんプレゼントして、ご馳走して、時間を使って、何の見返りもなく逃げられます。でもやめません。好きなんです。逆に好きなスポーツでなくても、勝った試合は誰だって楽しいものです。負けた試合をどれだけ楽しめるかで、それが本当に好きかどうかわかります。最終的には、仕事を道楽にした人が幸せになれます。うまくいかなかった仕事をどれだけ楽しめるかです。楽しければ、それで十分元はとれていくんです。そして、性懲りもなく、次の仕事、次の仕事にトライしていくので本当に勝ってしまいます。

※ ※ ※ ※ ※

「真剣にふぎける」という言葉は神の計らい、天の意思、神の思召しです。仕事を徹底的にやる人と遊びを徹底的にやる人が人生の成功者になります。これからは、「こんなことが仕事になるのか」ということが成功します。第三者から見て「え？あんなことで稼げるんだ」と思える仕事です。あたかも遊んでいるように楽しんで行うのが仕事の基準になります。「仕事を遊びにする」というのは楽しみながら仕事をして利益を出すことです。「遊びを仕事にする」というのは自分自身が好きでやっつけて、それが周りの人たちに喜びを与えることです。ダラダラやれ、中途半端な気持ちでやれということではありません。「遊び半分」でやっている仕事は絶対に成功しません。全く逆で、仕事を徹底的に遊びにするから成功し、遊びを徹底的に仕事にするから成功するのです。

やる必要のないものは、やらなくていいです。学校教育は平均点主義ですから、この世の中には使いものになりません。70%の仕事と遊びをなぜ教えるのでしょうか。今の世の中には、徹底的に遊びをやっている人が極めて少ないのです。少ないということは、それだけ求められる人材であることになります。

「仕事を遊びに」「遊びを仕事に」という人が成功するのが、この世の中の美しき流れです。

言葉というものは言ってしまった後に、その音はなくなってしまっていると人は思う。

しかし、言葉の音の波動は残っている。

神韻縹渺たるこの広い宇宙の中でずっと残っている。

人にはそれが、そのときにしか聞こえなくて、顕在意識には忘れさられてしまっているだけ。

その波動が残っているということを考えてみたならば、人の幸福を中傷したり、人の喜びを損なうような言葉は冗談でも言うべきではないということがわかる。

とにかく、お互いの気持ちに勇気をつける言葉、喜びを分かち合う言葉、聞いていても何となくうれしい言葉をお互いに言い合おう。

これが、一番簡単に徳を積む方法。

言葉は昔から、言霊と言われていた。

言葉は魂から出てくる叫びなのだ。



私は10年間もサラリーマンをやってしまいました。そのなかで、サラリーマンが成功するためには「一般的なサラリーマンがやることをしない」と決めました。すると何をしなければならぬかが見えてきました。私の時代は、皆がゴルフをしたので私はゴルフはしませんでした。その時代のブームにのらなければ、本当に好きなモノに行くようになります。みんながやっていることで褒められると、本当はそれが好きでなくても、あたかも自分が好きな錯覚に陥ります。これは本当に危険です。皆の好みと自分の好みが同じだと、自分の好みを見失い、自分らしく生きることができなくなってしまう。必ずこうなります。これは危険なことです。その危機感を持つことはとても重要なことです。

また、「普通のサラリーマンよりは、俺は働いている」という感覚も危険です。比べている限りやっぱりサラリーマンなのです。今のこの時代のサラリーマンは大変です。世の中は80%がサラリーマンです。80%の人たちが苦しんでいます。もちろん反論される方は多いと思います。これで良いという錯覚に陥ってはこんな危機感は益々もてないのです。あなたはサラリーマンになりたいですか？

追記…ゴルフは素晴らしいスポーツです。ただ、私が20代後半から30代前半まで90%のサラリーマンがゴルフをしてましたので、一例として書きました。好きで好きでたまらないというゴルフはとっても良いです。付き合いゴルフはやっぱり最悪です。

※ ※ ※ ※ ※



一度、成功すると廻りに「あいつはたまたま良い商品に恵まれたんだ」「あいつ調子にのってるだけだ」「地に足がついていない。あいつの実力じゃない」と外野は言います。

でも、そういうことを言っている人は100%うまくいっていません。

「調子に乗ろう！」

これは調子に乗っている自分の勢いを楽しもう。ということです。調子に乗っているときは、自分の力は120%、150%出ます。

これを利用しない手はありません。

運が無い人は、運にのっている時、流れに乗ったときを、実力じゃないと考えてしまいます。

今、調子に乗っていることを感じながら、追い風にのっていけば足をすくわれることはありません。

スポーツでも、追い風参考記録ではあっても、追い風でどこまで出せるかにチャレンジすると、大きな自信がついてきます。

私が若い頃、まだ高度成長期は、「一生懸命に働く人」が多かった。

でも、最近はいいかげんに働いて、いいかげんに遊ぶ人が多くなった。

今、必要なのは、「一生懸命に働き、一生懸命に遊ぶ人」なのである。

働くことと遊ぶこと、このどちらかができていないのに、どちらかが成功するのはありえません。

仕事と遊びの両方が成功するか、両方が失敗するか、どちらかしかありません。

遊びには失敗したが、仕事では成功したということは現代ではありえないのです。

今まではそれが可能でした。なぜなら経済が右肩上がり、皆同じ仕事をして、一緒に同じ趣味をして、一様化していたからです。

今までは遊びはオフ、仕事がオンだという考えは、もはや意味がありません。

早くオンがオフになり、オフがオンになることを感じた人は、その瞬間成功者なのです。

今まで、合理化だ効率だと成長の時代には必要なものは仕事の中に取りました。

この塗装には、こんな塗料が最高だ。水処理にはこの方法で特許を取った。などなど仕事の中に成功するビジネスモデルがありました。

しかし、これからの時代は、快適な休みの過ごし方にかかっています。遊びが仕事になるということです。

効率を追求して右肩上がりの時代が終わったのです。だからどの会社も仕事の中にチャンスを見つけようとしているから行き詰まっています。

でも、まだ「遊び」という大きな市場にチャンスが残っているのです。つまり、一生懸命に遊んでいない人は、成功しないということです。なぜなら、発想がまるで違うからです。

仕事の中で生まれる発想と、遊びの中で生まれる発想は180度違うのです。

ルームシャンプーは仕事の中から生まれた発想です。それ以外のガードナーの製品は遊びの中から生まれませんでした。

だから、私達は遊び半分ではなく、一生懸命に遊ぶのです。



マーケティングとは何か？ コンサルタントは特にこの定義が皆さん違っていて、この言葉を使いたくなくなりません。経営学者であるピーター・ドラッカーは、「マーケティングの目的は、販売を不要にすることだ」と言いました。コトラーは「どのような価値を提供すればターゲット市場のニーズを満たせるかを探り、その価値を生みだし、顧客にとどけ、そこから利益を上げること」。つまり学者が言うには、「売り込みをしなくても自然に売れてしまう状態を作ること」らしいです。本当につまらない定義だと思えます。だから何？こんなこと勉強しても何の役にもたちません。私のマーケティングの定義は「得意技を持つこと」です。得意技とは何？ 私が空手を6年間でやってきて分かったことは、どの技も全部上手だと言う人は皆無だということです。私はマイクタイソンと具志堅用高を手本に左フックに集中して練習してました。あとは上から叩き降ろすような右ローキックです。この二つにより、全日本選手権（中量級）では二位までいけたし、ハワイでもデカイ外人と闘うことができました。つまり、得意技とは「何を切り捨てて、何に集中するか？」で出来る上がるものだと理解しています。ビジネスの市場でも、一極集中を教えてくださいました。「ランチェスターの経営戦略」です。戦略は二つに分けるな！と。二つに分けると極端に弱くなるといいます。ガードナーはたくさん製品があり、理屈が合わないじゃないか？と言われそうですが、「楽しい遊びモノ」で一極集中しているのです。今は、動画を得意技として研ぎ澄ましています。

※ ※ ※ ※ ※

世に生を得るは事を成すにあり。 坂本龍馬

この言葉が好きです。

幕末の志士たちには、自分の命に変えてこの国を守りたいという信念、使命があった。

自分が江戸に着くのが一日遅ければ、日本の夜明けが一日遅れると東海道を走りに走った。だから心打たれる。坂本龍馬は、トーマス・グラバーからの資金援助があったからあんなことが出来たんだと、最近したり顔に言うバカな学者がいる。吉田松陰も坂本龍馬も高杉晋作も出世や金儲けを考えたなら、あの大仕事は絶対にできなかった。

彼ら志士達は、エキサイティングだったけれど、素晴らしい人生だったと思って死んでいったに違いないのです。

大義、志をもった人間は、血が沸騰するくらいな気持ちで頑張れるのです。

一人で食事無しで、一泊5万円の大阪の梅田のリッツカールトンホテルに泊まりました。

普通のビジネスホテルの10倍の値段です。高級だから良いという話ではなく、実際に体験したという話です。

このホテルに三回泊まりましたが、もの凄いエピソードがありますが、その話は次回。

実際に泊まった人の話と、ネットで見た話しは全然違います。

これからの時代は「体験」が最も重要になってきます。お客様は「体験」をかうようになります。

明るさを求めるこの時代は、体験こそが最も重要な価値になるのです。だから、私達ガードナーのスタッフは、

一人で旅に出るのです。たとえば、京都へ行ったときにお寺の隣にある日本家屋の中で本場の湯豆腐を何万円も払って食べるのです。その体験をやった人とやっていない人の差が面白いほど大きいのです。

高級店でアワビやステーキやフカヒレで何万円ではなく、湯豆腐であることが重要です。

湯豆腐でお客様を満足できる体験をどれだけ提供できるか。それは全て自分の過去の体験にかかってくるのです。さあ、自腹で数万円の湯豆腐を食べに行きましょう。

貴方だけのエピソードがここで生まれます。貴方だけの出会いは「体験」という物語になります。

とにかくコミュニケーション、コミュニケーション、コミュニケーション、コミュニケーション。

コミュニケーションが多すぎることはありえない。

一人のときは妄想でいい。

そこにコミュニケーションが加わるとイノベーションになる。

奥座敷に引っ込んでないで、自ら現場に出て自分の手でやる。

ハンズオンの重要性に気がつくと、コミュニケーションが加わることは意外に簡単なのだ。

井戸端会議・・・Very good!!!!

ガードナーは、日本一コミュニケーションが多い会社。

その会社は世の中に革命を起こす。

※ ※ ※ ※ ※

昭和の時代は、料理は家事労働でした。

ところが、今や料理は労働ではなく趣味として市場が大きくなりました。一般の人は、料理職人が使っている道具を趣味の中で使いたいと思います。しかし、職人さんにとっては労働のための道具です。一般の人が浅草の合羽橋（かっぱばし）に道具を買いに行くのは道楽なのです。料理が好きになるとキッチンを整えたいと思います、合羽橋や東急ハンズに行くようになります。

今までの時代は、禁欲的に仕事をした人が勝った時代でしたが、今からは一生懸命に道楽をした人間が勝つ時代になります。水の時代、風の時代と言われてもよくわかりませんが、時代という流れは今、何百年という単位で、振り子が今までとは逆に振り始めたのです。それは自分の遊びを楽しむ時代に完全になったということです。

今の人々がやりたいことは、①国内外の旅行 ②スマホ、ゲーム ③ショッピング ④レジャー、スポーツ ⑤習い事 です。これらは全部遊びです。インターネットは仕事のためよりも遊びのため、趣味のためにたくさん使われています。遊びのマーケットは今後ももっと大きくなります。つまり、今からは、遊び半分ではなく一生懸命に道楽したものが勝つのです。

※ ※ ※ ※ ※



生活のために好きでもない仕事をする、本来自分が近づきたいと思っている目標から離れてしまいます。とにかく頑張れば良いという考えは間違いです。好きなことにどれだけ近づいているかが大事です。

仕事をしているときが前進で、遊んでいるときが後退だと思っていますのは間違いです。今までは遊んでいるとサボっている意識があったかもしれませんが。この意識は本当に間違っています。特にこれからは好きなことをしたら前へ進めます。好きなことをしなければ前には一歩も進めません。嫌なことをしたら後ろに下がります。仕事でも遊びでも好きであれば前に進めます。仕事でも遊びでも嫌なことをすれば後ろに下がります。仕事だから前に進み、遊びだから後ろに下がるわけではありません。大事なことは好きか嫌いかです。イヤイヤゴルフをしている人は最悪で、好き好きでゴルフをしている人は最高です。好きな遊びや好きな仕事をトコトン一生懸命にやりましょう。これほどリッチな人生はありません。

出合いはエモーション　恋もエモーション♪　という歌が昔あった。

実は今の時代こそがエモーションが重要なのだ。今、私達の得意技は、「エモーションナルムービー」だ。感情、感動、感激が伝わってくる動画だ。エモーションと相性が良いのは、情熱・熱意・執念・スピード・明るさ・恋・さわやか・格好良さ・だ。昔のコカコーラのCMは、それに少し近い。「スカツとさわやかコカコーラ」だけどこれは少しゆっくりしている。私達のエモーションナルムービーは、スピードが違う。スピードがあると熱がでてくる。今の世の中、スピードがない、熱がない、明るくない。だから、私達を作る動画は、動画を作るだけで社会貢献している。さて、「ガードナーフィットネスベルト」の「姿勢」という大きなテーマをどう世の中に伝えようか。「姿勢」だけでは、躰の延長を感じてしまい明るくない。姿勢が大事だとは誰もが分かっているけど、だから何？という感じもする。姿勢がもたらす素晴らしい事が、普通の人はイメージできないから良さが伝わらないのだ。だから、私達は得意技のエモーションナルムービーで伝えよう。

「モンローウォーク」マリリン・モンローが腰を左右に振って歩く、セクシーな歩き方は私も大好き。

「ミスコンテスト」で私が好きなのはあのウォーキングだ。仮に彼女と待ち合わせして、遠くからハイヒールで、姿勢良く、あのウォーキングで向かって来られると、それだけで私はメロメロになってしまいそうだ。いくら払ってもいい。得意技エモーションナルムービー　その切っ先を恐いくらいに研ぎ澄まそう。

※ ※ ※ ※ ※

頭が良い人とは「人を喜ばせる力のある人」です。しかし、自分が楽しんでいないのに、頑張って人を喜ばせようとしている人には人が集まりません。人が集まる。これは商売では第一条件であると確信しています。では、どうやったら人が集まるのでしょうか？

私は「楽しそうな人生を送っている人のまわりに、人は集まる」と思っています。「この人楽しそうだな」と思った人のところに人間は必ず近づいていきます。「この人楽しそうに生きていいな」と心の中でうらやましい気持ちがあります。やっかみみたいな気持ちもある反面、「また会いたいな」と思うのです。

相手を喜ばせようとして気をつかう人には会いたいとは思いません。

「楽しそうだな。自分もこんな人になりたいな。」と思うからその人に近づいていくのです。お客様も「楽しそうだな。何かかかわっていたいな。できれば一緒に過ごしたいな。」と感じます。会社のブランドは「信頼」ですが、それに「楽しそう」が加わると一気にグレードアップします。

アメ車、ハーレー、エアガン、ゼロ戦は、楽しそうな道具でもあるのです。でも、一番楽しんでいるのは自分達でないといけません。自分達が本気で楽しむから人は寄ってくるのです。そこに少しでもウソがあると人は引いてしまいます。単にお金があるから高級車を買ってしまうこととは、意味が全く違うのです。

※ ※ ※ ※ ※

剣道も柔道も空手道も茶道も、そして道楽も「道」です。

娯楽は「道」ではありません。その違いは「道」は自分自身で審判できるが、娯楽やスポーツは他人が審判するということです。本来、「道」というモノは審判は存在しないのです。

本来柔道には審判は存在しませんから、試合で誤審があるのは当たり前です。

黒澤明監督の映画「姿三四郎」の最後の草原での対決の場面に、審判は存在しません。なぜなら、どちらが勝ったか自分で判断できるからです。

私自身は空手道をやってきましたが、相手に勝ったか負けたか100%自分自身で分かります。

本当に道楽できているかどうか、その結果の判断はあくまで自分自身が行います。

それくらい道楽というのは、厳しいものなのです。

これからは、出会いと交流の時代になります。その出会いと交流は、趣味や道楽で生まれます。今までは、仕事の関係、地元のつきあい、血縁、学閥などで飲みに行くなどのネットワークでつきあっていました。もはやそれは終わりました。そのネットワークは、すでに幻想です。

これからの時代は、好きなモノ同士、好きなことを核とした人のネットワークになっていきます。自分の趣味のコミュニケーション・交流ができる人と付き合うことがネットワークの本質になっていきます。趣味のない人、道楽のない人は、出会いがなくなっていて、すでにそうなっています。会社の中での上司や部下や同僚とのネットワークしかなかった人は、取り残されます。「最近の若い奴は、飲みに誘ってもついてこない」当たり前です。ネットワークの形成の仕方が今と昔では違うのです。同じ趣味でないといけないということではありません。自転車が趣味の上司、釣りが趣味の部下でいいのです。「それはどういった自転車ですか？」と言って接点を持つことができます。ネットワークには、同種のつながりと異種のつながりの両方があります。ですから、そのネットワークから漏れるのは、道楽を持っていない人たちです。交流の基盤、プラットフォームは道楽なのです。自転車でも釣りでもバイクでも登山でも、そこには入門者と先輩がいます。入門者は先輩から教わるのですが、先輩も入門者から教わるのがでてくるのも出会いです。これからは、そんな交流と出会いがエキサイティングなネットワークを形成していくのです。

ビジネスは、最後は天命なのです。すなわち運にゆだねられていると思います。

事業はどこでどう転がっていくかは経営者自身も誰もわからないのです。一寸先は読めません。

ただ、できるだけ自分の考えとは違う方向へ転がらないように最善を尽くすというのは勿論です。また、運というものは、働いて、働いて、引き寄せるものであるのは間違いないようです。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

私は6年間空手をやってきました。全日本選手権で二位、8年間ハワイ大学にて空手指導員をやりました。自分自身の価値としては、自分の人生の60%を占めるものではないかと思えます。

だけれども、正直に申しますと、数々の試合に出てみて、圧倒的な強さで勝ったのは、ほんの少しだけです。実力者である鍛えたプロテニスプレイヤーと組み合ったとき、その差はあまりなかったのです。そこで気づいたのです。

人間の能力には大差は無いと。人間の総合的な能力というのは、天才は例外としても秀才を含めて、せめて10倍か100倍です。

しかし、情熱、熱意、執念という意識の差は百倍の差があることに。

つまり高い能力を持っていても、やる気がない人はやっぱり弱いのです。

能力はそれほどなくても、情熱、熱意、執念をもった人こそが、はるかに戦力になります。

ガードナーは、情熱、熱意、執念をもった集団です。

つまり、日本電産の永守重信氏の経営方針にガードナーは、深く賛同しています。



会社のサイズに拘わらず、会社はスタッフに対して給与以外に福利厚生なるものがあります。

給与の安い会社は、福利厚生で飲みに行ったり、高級ホテルに泊まったりさせて社員をごまかしているという笑い話もあります。

そのほか、社宅、保養施設、社員が乗る車、報償制度など、たしかに福利厚生は社員の豊かな人生をサポートしていくために、施設や制度は必要でガードナーも充実させていく必要があります。

しかし、本当に素晴らしい福利厚生は、「本人の能力アップ」であると思います。仮にガードナーを辞めていったとしても、どんな会社でも十分通用する能力を開発することこそが、ガードナーが求める理想の福利厚生です。



齡63になりました。これまで生きてきて反省することは本を読むことが足りなかったことです。

もっと読んでおけば良かったと、今になって安岡正篤などの本を読んでいます。

司馬遼太郎の「坂の上の雲」で松山から東京へでてきた秋山真之に対して、兄の秋山好古が「そんな新聞は読むな。もっと高潔なる志が持てる本を読め。」と言ったことがとっても重要だと思います。つまらない新聞や月々の雑誌、ジャーナリズムにもはやされるような本はやっぱり良くないと思います。

やはり、私達の信念をつくり、志を養う優れた人生観、世界観の本を読まねばなりません。本を読んでいると通俗化しません。精神的のみならず、いつまでも肉体的な若さも持つことができます。書物からいろいろの刺激を与えられ、自己を絶えずリクリエートすることができる。これは自分のビジネスに間違いなく直結します。本を読まないと、人生が非常に早く限定されてしまいます。限定されると麻痺沈滞して、やがて進歩が止まり、つまらない人間になって、社会的な定年ではなく、人格的定年に達し、人間的定年に達してしまふ。悲しいかな世の中にはそういった人が多い。それではビジネスは勿論ダメになります。ビジネスというのは、要するに人です。徳業です。経営者の人格、その思想が自然に集まって一つの社風をつくる。ですから、スタッフの精神状態のいかんによって社風がとっても立派になり、スタッフの精神状態が低下すると社風も低下します。私はもっと本を読まねば。

※ ※ ※ ※ ※

今までの時代は、仕事と遊びは別々でした。仕事は仕事、遊びは遊びに分けられてきました。いわゆるONとOFFです。

これからの時代は、遊ぶことが仕事の材料になります。真剣に遊んでいれば、必然的に仕事ができるようになるのです。

真剣に働いても「あの人は凄い」とは言われません。いくらお金をもっていても尊敬されません。

真剣に働いて、真剣に遊ぶ人が尊敬されます。真剣に遊ぶとは、ある意味お金を使うことでもあります。たくさんお金を稼いで、たくさんお金を出す。排気量が大きいアメリカンマッスルカーなのです。

ただ遊んでいてもダメです。ただのプータローに見えてはいけません。

「あの人、遊んでいるけど、仕事も凄いね」と言われることが重要です。これは立派な尊敬です。

真剣に働いても、遊べるようにはなりません。真剣に遊んでいる人はその遊びが必ず仕事に生かされる時代になったのです。

真剣にふざける会社とは、これから始まる1000年のこの価値観で仕事をする会社ということなのです。



大きな工場を持つメーカーによくありがちなことですが、工場の都合に合わせてモノづくりをしている従来の常識は、今や全く通用しなくなっています。そして、その強い工場の都合をお客様に伝えている営業はこれも腐っていると書いていくくらいに無用なものになりさがっています。

全てが世の中のお客様都合、マーケットの都合、そこから出てくる要望で進められなければ、どんなメーカーであっても潰れていくでしょう。そのような世の中の要求を敏感に察知して、これを工場に伝えるのが、営業の役割です。

営業とは売る行為だとしていた時代はONLINEによって消滅してしまいました。

世の中の色、香り、音、触感・雰囲気をどれだけ機敏に察知できるか。

居酒屋に行こうが、ジムに行こうが、買い物に行こうが、旅に出ようが、車に乗ることだって、何をしたらって、全てがその対象になります。

これが「メイド・イン・マーケット」の考え方です。

ガードナーは多岐にわたる新製品を開発している会社です。

製品開発というのは、試作の繰り返しです。チャレンジしては失敗し、何度も苦渋をなめながら、再挑戦してイマを克服してようやく感動が味わえるという地道な世界で、妙案も近道ありません。

確かに好きでやっているのは事実ですが、やる気と根気が問われます。学歴が良いとか、立派な設備を持っているとかは次元の違う問題です。

結論を言えば、アイデアが出る出ないの話はどうでもよくて、ハングリーなヤツにしか任せられない仕事です。だから、その仕事が遅かったり、段取りが悪いと私は怒ります。仕事が面白くなるからです。

瞑想をしていると、自分自身の内側にある無意識の領域を解放してやる感覚になる。真我を素直な気持ちで穏やかな心で解放してやるのです。そうすると外側にある世の中のネットワークと繋がります。そのために瞑想ではなく、普段の生活の中で最適なのが道楽です。

道楽を通して、ほかの人たちとつながる。新しく無から有を生み出すのは道楽の中から生まれます。

仕事の競争は、パイを奪い合う闘いです。道楽の闘いは、ゼロから何かを生み出す闘いです。

歴史を見てみると、名を残した人は全て無から有を生み出した人です。

道楽型のビジネスが、常に新しいモノを生み出していくのです。ですので道楽型のビジネスには世の中のニーズから生まれません。

ニーズは世の中には存在しないと考えます。ゼロから生まれるモノだからです。iPhoneもそうです。

ニーズは自分自身の内側にしか存在しません。ニーズは個人のなかに存在していて社会の中には存在しません。個人の中のニーズは、外のネットワークと繋がります。

自分の中を探ることにより「焼鳥ガードナー」ができてきます。



関家具の関文彦社長に会いました。

家具卸売業で日本一ですが、その源泉は若い力を思う存分発揮させ、常に進化している企業風土にあります。80歳になっても衰えない気力と体力に、若い力が見事に融合した素晴らしい経営です。

ビジネスは卸が中心で当初BtoBでしたが、BtoCへ進出し収益性が高くなっています。

「楽しくなければ仕事じゃない」

「やりたいことを任せる。失敗しても文句は言わない」

「責任は全て社長が取るから思いつきやりなさい」

という言葉をもメモさせていただきました。これがこの会社の想像力になっているんだと。この経験値は会社の貴重な財産になっているのです。お話しを聞いていると

「一人ひとりに天の使命があり、その天命を楽しんで生きることが処世上の第一要件である」

と渋沢栄一の名言をそのまま実行していらっしゃるような素晴らしい社長です。

私は関家具から家具を買いたいと思います。

※ ※ ※ ※

ガードナー株式会社はブラック企業です。という、「いやいや、完全なホワイト企業だよ」と言われます。いえ、やっぱり完璧なブラック企業です。仮に「あの会社はブラック企業だ」と言う人がいたとします。その人は、仕事が嫌いなはずで。ガンガン働いている人はそんなことは絶対に言いません。仕事が嫌いな人は、仕事ができるはずありません。その人は「働き方改革」という、ぬるい言葉が好きです。仕事ができない人とブラック企業は真反対の位置にいます。戦後この日本を支えてくれた諸先輩方が、昭和時代がむしゃらにハードワーキングしてくれたおかげで経済立国日本が存在しています。今の令和になっても、ハードワーキングこそが強い企業に決まっています。ハードなトレーニングをしないアスリートが強くなれないのと同じです。ただ、昭和と違うのは、肉体や時間を酷使するハードワーキングから、頭脳を酷使する「知的ハードワーキング」が重要になってきました。昭和は知的なことよりも、がむしゃらに仕事をするのがとても価値のある働き方だったのです。ですので、令和の今は「知的ハードワーキング」ができないとやっぱり世の中から取り残されてしまいます。実は「知的ハードワーキング」も時間が結構かかるのです。しかし、それは会社にいる時間だけではないということです。つまり、いつも言っている旅と読書をしなければなりません。そのうえで、ガードナーは好き勝手に動いて情報収集力や組織力で勝負していこうとしているのです。そんな働き方をしてるガードナーはブラック企業と言われて欲しいのです。そして、このチームは革命をたくらみます。

※ ※ ※ ※ ※

自分の心の考え方や思い方が、現在の自分を作っています。

だから、自分は身体が弱いと思っていたら身体が弱い。不運だと思ったら不運になってしまう。

願いが叶う叶わないというのは、自分の外にあるのではなく、自分の心の考え方や思い方の中にあるのです。

人生は厳しい、辛いというようなことを思うと厳しく辛い人生になります。

人生は甘い、楽しいと思えば、甘く楽しい人生になります。

喜びのないところに生きがいのある人生というものはないはずですよ。

人というものは喜びを感じたときに、幸せを感じるんじゃないですか。

亡くなった女優のオードリー・ヘップバーンの簡単な言葉は私の人生観となりました。

「何より大事なのは、人生を楽しむこと。幸せを感じることに。それだけです。」



自分が生きている現在の環境や世界を不快に思う人、あるいは健康に不満ばかり言っている人があるとすれば、その人くらい不幸を人生に感じている人はいないといえます。

反対に自分の住む環境や世界が、たとえ他人からみてそうたいしたものでもないと思われるものでも、自分が心の底から本当に満足して感謝して生きているとしたら、その人は終始一貫、幸せの中で恵まれて生きている人です。

私はそんな積極的な幸せの中で生きていきたい。

※ ※ ※ ※ ※

とても遠すぎる夢、かなわない欲望を心に描くと苦しくなる。

世間体を考えてカッコウつけてもダメ。そのために悩んだり苦しんだりする欲望は、欲望ではない。

本当の欲望とは「楽しい欲望」のことなのだ。

欲しがりや欲しがるほど楽しいのが本物の欲望。

だから、「楽しい欲望」を心に抱くのがいい。

そうするとその欲望を燃やしやあ燃やすほど、何ともいえない、人生が豊かなものになる。

あなたの心の中の「楽しい欲望」。それをじつと燃やしましょう。そう、楽しくないとね。

人間の身体は神経系統が他の動物と集積が格段に違うという。

つまり、消極的な興奮や考えは、生命に病気や危険を与えてしまう。

だから、人間の全神経系統を統御するためには「笑い」が一番良い。

事あるときも、事なきときも始終笑顔でいよう。

事あるときこそ、一層笑顔を崩さぬようにしたい。

恥ずかしながら、私自身はそれが出来ていないので、なおさら自分に言い聞かせている。

特に身体の弱い人はひとしお笑いに努力するのが最大の養生なのだ。

圧倒的な確率で「起業」は失敗する。「起業」は最初からとても不利である。起業しても8割が1年半以内に失敗してしまう。10社中8社が失敗するのだ。1年半生き残っても長期的に軌道にのるのは1/20である。

つまり5%。100社のうち、たった1社なのである。私達はそんな環境にいる。毎回、難題にぶつかる、想像もつかないほどのこともある、気を引き締めていても期待を裏切られることもある、否定され、アイデアも崩れさり、決断するには選ぶチョイスはどれをとっても厳しい。だけど、そんななかでもがいていると、そんな濃密な環境にいと、人智を越えたような、自分達だけの強みを発見することもある。今までのビジネスの先生、専門家、コンサルタント、堅苦しい教科書は、虚像だったと気づいた。未熟だったがゆえに、お金がなかったからだけに、自己流だけど他社にはない、全く新しいビジネスができてくるようになり、それこそ自分達の使命になってきた。

ガードナーはモノづくりの会社だが、この分野で革命を起こしたいと思えるようになってきた。今まで、もがいた分だけ、無駄ではなかった。大手企業なんて恐くない、逆に大企業はちゃんちゃんおかしいと可愛そうに感じている。アイデンティティを強烈にだして、常識に逆らうことが面白くなってきた。

今からもっともっと楽しもう。新しい時代の夜明けを迎えよう。

※ ※ ※ ※ ※

「人のふり見てわがふりなおせ」というのがあるが、

みだりに他人のことをやたら批判する人は、自分のことは全く見ないで、人のふりだけを批判するだけなので、仮にそれが本当であっても、誰の心にも響かない。

愚痴、悪口、噂話、・・・ 聞く方は、うんざりである。

批判する人は、とつてもヒマなのである。だからこちらも退屈になり、面白くない。

何よりも大切な自分自身の進化と向上には向かっていないのはやっぱり残念。

そういった意味で人種は二つに分けられる。

エキサイティングな人間か退屈な人間か。

もし、あなたが愚痴や噂話をしていたら、あなたは退屈な人間であると断定する。

エキサイティングな人間はそんなことに振り回される余裕はない。

世の中のニュースを見ると、そのテーマにおいては、貴賤上下の話ばかりになる。

心のありかたを見ていない低レベルのマスコミにそろそろ国民も飽きてくるのが世の常だと私は思う。

※ ※ ※ ※ ※

使命というものは何だろう。志や大義という言葉のほうが個人的には好きだが、使命であっても求められるものは唯一無二であり、魅力的であることには間違いない。

頑張ると言う言葉も好きではない、しかし踏ん張るにはやっぱり使命や志が必要である。

チームガードナーが厳しい環境で踏ん張るには、それがないと耐えられない、それが必要なのだ。

それが存在意義となる。商品やサービスで世の中の共感を呼び、ファンになってくれる人が現れる。

最初はたった一人のファンから。その一人がいるから、次の一人のファンが現れる。そしてまた一人。それは使命という心の思考に反応してくる。

単に良い商品や単に良いサービスを欲しがるお客様はもういない。

ガードナーの価値観に合い、そのガードナーが持っている使命や志にお客様は近づいてくる。モノではない。力強い使命や志は大きな魅力となる。

ガードナーが世の中に影響をあたえるようになりたければ、革命と言われるくらいの使命や志を持つことであり、それを会社の核とすることなのだ。それはまず私達自身が楽しく嬉しく気持ちいいものであることが条件であり、それこそがウソのない使命である。

※ ※ ※ ※ ※

北海道を旅しています。

バイクのライダーと話をしてしていると、観光ガイドをよく見ている人がたくさんいます。

私は否定はしませんが、私は一切、観光案内本は見ません。

なぜか？ 何のためにこの旅をしているのか？

生きるうえで、いつも「何のため」というのは外してはならないのです。

私の旅のルールはずっと変わっていません。

①なるべく知っている人には会わない。

②トコトン知らない人に声を掛ける。

③率先して観光をしない。現地の人や旅人に会って話すのが目的。

④お土産は基本的に買わない。目的がそれてしまいやすい。

一番重要なのは②です。

もし、自分が声を掛けなければ、何もないのである。現地の人や旅人とは全く交わりがなくなります。そんな沈黙の旅はしない方がいいです。

自分が声を掛けるか掛けないか、これが一番重要なのです。

実際に声を掛けてみると、「待ってました」と言わんばかりの明るく素晴らしい人がいます。

旅はこのたった一人との出会いで大成功になります。

逆に、相手の人が既に疲れていることを感じることがあります。特に女性です。

恋愛脳に敏感な女性は「何このオッサン？」ということになるかもしれませんが、それでもダメです。

人生がとつまらなくて退屈なものになってしまいます。とても面白い人生だとは言えないのです。

ハッキリいって、これは人生という観点からみてNのです。

私はいつも勉強（旅と読書）が重要だと言っています。

旅は仕事です。仕事は旅です。

日本人である限り、しっかり②を実行してほしいと思います。

それしか、自分の人生を変える方法はないからです。

自分が黙っているのは、相手は100%何も言ってきてきません。結果何もないのです。

そして、自分の人生も何も変わらないのです。これほど退屈な人生はありません。

※ ※ ※ ※ ※



身体が弱い人は、嫌いなものは食べず、好きなものを食べた方がいいのです。

これは、すこぶるワガママなように聞こえるが、食物は肉体を形成する重要な要素だが、人間の考える「栄養」という低レベルの知恵のみにとらわれて嫌いなものをガマンして食べるのは身体の要求に無謀な圧迫と減損だけを招いていることになり、それは血となり肉となりません。

また、現代のサプリメントについてですが、あまりにもそれに頼りすぎている人が多いのはどうかと思います。

自分の身体が変形してしまうくらい、身体を追い込んでしまうくらいの鍛え方がやっぱり重要だと思うのは、これは私に変なのかもしれません。(笑)

※ ※ ※ ※ ※

ビジネスでは超有名で世界的な権威さえ感じさせる故ピーター・ドラッカーに心酔して猛勉強している知人がいる。私も本を数冊読んで、凄いなあと思ったし、かなりのメモも取った。

その知人は、最近ドラッカーが提唱している内容の講演をし始めた。私にもそれを聞けと言っているが、私は聞かない。あらゆるビジネス書には「失敗から学べ」というルールがあるらしい。(笑) 失敗なら自分が一番やっている。(大笑)

そんな、ビジネスメソッドを勉強するより、とにかく自分を信じるための動きをすること、自分の考えを貫き通すことがどれだけ重要か。ずっと心に描いて、温めてきた。それを実行できるのは自分だけなのである。それにのめり込めるのは自分しかないのである。人の請け売りで実行してもうまくいくはずがない。コンサルタントが言うような万人に通用するビジネスはもともと存在しないのだ。

いつも言う「得意技」は、私達チームにしか見えないのだ。そう、チームでそれを確信して実行する。使命や志を共有することができる仲間しか分からないのだ。そのチームで、いい関係をつくり、深く信頼し、仕事に熱中し、本気で、しぶとく、覚悟を決め、情熱があるとそこには楽しさが沸いてくる。

そのチームで狩りをするのだ。団結すればゾウでも倒せる。自分達の武器で世界中に狩りに行けるのだ。

※ ※ ※ ※ ※

Groval niche No.1      ガードナーが目指す世界一です。

差別化、差別化とビジネスコンサルタントはうるさく言います。差別化・・・退屈な言葉です。昭和期だったからそれは重要だったかもしれませんが、今は既に時代に合っていないのです。人が作った市場で、退屈な差別化にエネルギーを使うより、自分が新しいカテゴリーの市場を作ったほうが絶対にいいです。最初はニッチでいいんです。最初は薄く狭い領域だけど、その中で最高の商品を作り上げるのです。

それができればそれにブランド（信用）を生み出し、自分が作った市場を定義していくという魅力的な仕事があります。他人の食べ残したものをねだって地べたを這い回るようなまねは、いますぐ止めましょう。

自分で市場を作れば、自分の世界で生きられます。そして、そのニッチこそ、新たな本流になっていきます。誰も気づいていない中心から大きく外れたところは最初は厳しいかもしれませんが。

私達ガードナーに必要なのは、一点集中で磨き上げた、最初は一握りの人だけが熱狂するような商品開発をすることです。今、情報は世界と繋がっている。その情報は自由に、素早く、世界中に届き、ガードナーのファンと繋がることができます。そのためには、一切の妥協なく、十分な価値のあるものを創り続けなければならぬのです。

& & & &

15年前、経営戦略の勉強会で「経営事業計画書」なるものを作りました。これができないと経営は帆が破れた船のようなものだと言われて、無い頭を絞り出して作り壁に貼りましたが、なんかスツキリこなかったのを覚えています。ある人の経営事業計画書を読ませていただくと、とっても論理的思考に優れていて、できない私は勉強会で劣等生でした。そうして今年、15年ぶりにそのときの優秀な経営者と会ったのですが、いまだに「経営事業計画書」作りに一生懸命で業績も15年前と変わっていませんでした。

ようするに、私は「経営事業計画書」なんて不要だと思っています。それは、またしても経営コンサルタンの仕事のネタだったのです。「経営事業計画書」を作れば、ゆっくりしていても事業はうまくいくと思わせてしまう凄いテクニックです。私達ガードナーに必要なのは、使命や志であり、瞬時の決断力です。「経営事業計画書」は要りません。重要なのは、今、全力を尽くすことです。もの凄く速く、世の中は動いていて、会社も個人もあつという間に歳をとってしまいます。賞味期限が切れてしまった「経営事業計画書」をいちいち確認していても、やりたい事業が実現できるわけがないんです。

今、必要なのは読書と旅をしながら、仕事で実践から学び決断していくことで、目の前の戦略を即実行していくことです。

※ ※ ※ ※ ※

私は会社勤めで営業をしていたとき、なんでこんな中途半端な商品を売らねばならないのかがとても不満でした。その会社は「売り込み」こそが重要で商品の良さは二の次三の次だったのです。売れない商品を売るのがデキル営業マンの全てであり、営業テクニクを自慢する上司は私は煙たいばかりでした。

そこで、私は営業よりも「売れる商品を作ろう」と決意し、営業活動をサボって部下（内田）と2人で会社には内緒で製品開発をし、野菜の包装機を作り上げました。この製品は、私がこの会社を去ったあとも長い間売れ続けています。

スタートアップする小さな企業が、一番先にしなくてはならないのは、売るのではなく、最高の商品を作ることです。最高の商品があり、そうした上でこれを Web でうまく伝えていけば、驚異的なスピードで世界中に広まっていきます。商品ができるまえに、営業力で数字を伸ばそうとしたら、お客にとってハズレの商品を売り込むことになります。売り込みによって魅力が生まれることは100%無いのです。

ですので、売り込みは今の時代は「悪」なのです。「私は売る人」という単なる販売会社は厳しい状態が続くでしょう。そうです！世界レベルの最高の製品作りだけに最初は力を入れなければなりません。

ブランドは信用です。

ルイビトンは、30年保証です。壊れたら直します。これを本当に実行しているルイビトンは信用を築き上げました。ブランドは、高価であることやカッコ良さ、ロゴマークなどではありません。

ですので、ブランドは自分で操作することができない感情的な反応です。ブランドとは私達の会社がすることに対してお客様が抱く感覚的な理解なのです。

21世紀のブランドは、ぶれないこと、魅力的であること、誠実であること、そして何らかの統一感があるブランド構築の第一歩を踏み出すことができます。

ではどうしたらブランドを築くことができますか？

自分自身がブランドを体现することです。人間は自分より大きなもの、格調高いもの、明るいもの、楽しいものに参加したいと思っています。

あの会社遊びに行きたい、あの会社で働きたい、あの会社の客でいたい、と思っただけかどうかです。

だから、私達の会社は、それを世界に発信し続けることが重要になるのです。

※ ※ ※ ※ ※

幸福というのは、人生がより良く生きられる状態に自分自身でやることです。自分でしないで、他からしてくれることを待つてる限り幸せなんてきません。そのために、まず現在の自分の生活に、自分の心が満足しなきゃいけません。昔からいう「足るを知る」ということですね。

そのことが生命を高くし、程度を上にした考え方なんでしょう。

つまり、自分の生きがいを感じる状態を気高いところにおかなきゃ。と私は思っています。

※ ※ ※ ※ ※

マーケティング（得意技を持つこと）で重要なのは、「感情を伝えること」です。

現代の俗語では「エモい」ですが、それはそのまま感情ですよ。

お客様は、「悪魔は細部に宿る」というくらい、細かな欠点を見つけてしまう。そしてそれは感情的なクレームとなります。逆に心は「感情」が中心となっているので、良い評価も「すごい！」「カッコイイ！」「いいね〜！」「ヤバイ！」となかば言葉になっていません。

ガードナーのマーケティング（得意技）は動画ですが、その動画には「感情」が伝わりやすい力が備わっています。動画を作る現場（撮影、編集、広告、SNSなど）は地味な苦勞の連続なのですが、そんな厳しい仕事はそれだけの価値があるのです。お客様は、既存のブランドを押しつけられるより、自分でブランドを発掘する希少品に興奮します。だから、動画によって、苦勞や地味な努力が報われたときは、利益に繋がります。つまり、大変な仕事であればあるほど価値に繋がりますが、そこにはイメージが必要です。

ガードナーのイメージは、常識にとらわれていないことと、情熱と狂気にあり、時に笑いは愛を勝ち取るためにやっばり達成感のある厳しい仕事が必要なのだと思います。

やっばり、ガードナーはブラック企業なのかなあ？

※ ※ ※ ※ ※



北海道に2日間バイクのひとり旅に出かけましたが、舞鶴発で21時間かかって小樽です。この大型フェリーに約220台のバイクの満員御礼であり、これがこの季節毎日ずっと続いています。

まず、このマーケットを見て驚嘆です。

さて、いきなり台風の影響で雨の中を小樽〜稚内に走ります。乗る前は「嫌だなあ〜」と思っていましたが、実際に走ってみるとなかなか楽しい時間です。歌いながら踊りながら、ノリノリで運転してました。

道の駅で一人の女性ライダーが、私に「最高の天気ですね〜！」って、大雨のなか彼女の言葉に私は押され気味です。(笑)

自然の風の中を走り、寒いも暑いも冷たいも、全部楽しくなってしまう。やってみて初めて分かったので。このことだけでも今回の旅は大成功でした。

私の仕事のやり方に、「信じて動いて初めて見えるものがある。」という言葉があります。

絶えず批判されたり、手厳しく拒絶されたり、プレッシャーを味わったり、どれも覚悟すれば楽しみに変わります。つまりちよっとMですね。(笑)

ブランド構築で重要なこと

顧客との対話、いえいえ顧客との距離を縮めること、いや、「ファンと一緒に楽しむこと」がとっても重要です。

ブランドは信用だと書きましたが、その信用は与えられるものではありません。自分で積み重ねて作っていくものです。

誠実に、情熱をもって、明るく、心を開いて、ファンと関わりあうことで、信頼は積み重なっていきます。

ファンと関わり合い、仲間と言えるくらいの関係になると、仲間は信頼する会社に手を貸したいとさえ思ってください。

何か買うなら自分と同じ価値観を持っている会社から買いたいと考えるものなのです。もちろん取り引き業者も、楽しくてなりません。

そして、ファンに意見を言ってもらい、その意見に耳を傾けてファンと益々仲良くなる。

企業↓消費者 ではなく、企業↑↓消費者 という双方向で力強いブランドとなっていきます。

※ ※ ※ ※ ※

新しく引越す事務所には、従来通りに壁に広くエアガンが飾られます。頭上には翼長<sup>Wing</sup>メイトルの零式艦上戦闘機がぶら下がっています。槍や刀、杖術が普通にあります。そしてハワイのイメージのインテリアとロイヤルハワイアンホテルの香りが漂っています。ビルの表玄関にはブラックの悪そうなアメ車がずらりならび、そしてハーレーダビッドソンやトライクが並んでいます。普通の会社ではありえない光景です。しかし、ガードナーのスタッフはこれが当たり前になっています。そうでないとガードナーではありません。波風を立てずに人々の関心を集めることはできません。どんな仕事をするにしても、自分の使命や志から生まれる行動でなければなりません。どんな批判を受けるにしても、その行動と自分の使命や志と会社のDNAを深いところで繋げる必要があります。一番まずいのは、他人はどう思うかを気にしてしまうことです。何を言われようが、どんな評価を受けようが構うことはありません。とにかく世の中に迷惑をかけない範囲で自分たちが楽しめるばいのです。コロナショックからそれができていない企業や個人があまりにも多すぎます。効果的にお金をかけずに目立ちたいなら、やはりクチコミが一番です。「誰かが嫌な思いをするかもしれない」などと、よくマスコミの方々が考えているような余計なことは一切考えません。会社に日の丸の国旗を掲げ、「憲法9条は日本の平和のために真剣に改憲しよう!」と謳ってもいいのです。ガードナーは、世の中の群れの中からいつも抜け出しています。会社の社訓は「真剣にふざける会社」です。

※ ※ ※ ※ ※

創造力にはインスピレーションが必要です。創造性のある人は思いもよらないところにインスピレーションを感じます。

あらゆる場所でインスピレーションを探すのですが、自分のいる業界はダメです。私で言うところと包装資材と釣具業界です。

他の連中がやっていることは無視してしまったほうが良いと常々思っています。重要なことは一切ない。集団の後ろを走るのは嫌なのです。インスピレーションもありません。

散歩したり、風呂に入ったり、素っ裸になったり、妙案を思いつくのであれば何でもやりたいです。

私は車とバイクを運転しているときに最高に湧いてきます。好きなものことだけを考え、夢中になって最高に魅力的な傑作を生み出したいのです。

落ち着いた場所や机の前に座って、良い発想が湧いてくることは、まずありえないのです。

自称マーケットというがその人の商品に「この商品は売れると思う」と言うので、「これいくらだったら買う？」と聞くと「自分は買わない。」という返事。「自分の感情や趣向なんてどうでもいい。」と言うのです。最低な野郎だと思いつながら、「なんで売れると思う？」と聞くと「きつと、とつてもクールだと思われる。」と言う。クールって、人によって違うのです。同じものを見ても「カツコイイ」と言う人と「ダサイ」と言う人がいます。

ましては、自分は欲しくないのにそれを売れると思いつ込んで売ろうとしています。最悪な過ちです。重要なのは自分自身と会社のチームが同じ共感をして、お客様からの共感が期待できる行動をとることです。自分の使命や志をしっかりと持ちながら、自分に忠実でなければなりません。他人の考えなど無視していいのです。

会社の大小に拘わらず、自信過剰の社長は、いずれ潰れてしまいます。

どんな会社も、そこで働く人間のレベルを超えることは100%ないという事実があります。

優秀な人間を集め、鍛えて、成長させ、意欲を引き出しながら、全速前進しなければなりません。

自分達の文化に沿ったチームを築くのはそう簡単ではないです。うまくいっても次は世界を狙わねばなりません。

最近、本当に優秀な人間は、全力で打ち込め、裁量があり、成長でき、挑戦でき、その結果きちんと報酬で報われる仕事に魅力を感じています。

社員やチーム自身が好きでない会社は、お客様もそもそも見向きもしてくれません。だからまず社員やチームのことを考えて、その後にお客様のことを考えれば良いのです。

ひねくれているわけでも、社員に媚を売っているわけでもありません。これは真実なのです。強い会社を作りあげるにはこれしか方法がないのです。

言葉の使い方、人生はあっさり変わります。いつもマイナスの言葉ばかりを使っていると、嫌なことが起り、いつも良い言葉ばかり使っていると、良い言葉を使いたくなるような嬉しい出来事が起ります。自分の言葉が自分自身に暗示をかけているのです。人生をハンドリングをするもの、それが言葉です。ですので、良い人生における基本は、否定禁止です。否定のない時間や空間は宝です。良い言葉を口にする習慣を身につけること。それだけで良い人生になります。最初は思っていないでもいいのです。感情を込めなくてもいいのです。ただ口にするだけでいいのです。それだけで、拍子抜けするくらいうまくいくようになります。人は誰もが自分の口にする言葉通りの人生を送っています。自分の言葉を一番聞いているのは、ほかならぬ自分自身の耳なのです。心は言葉を通して形になり、そこに感情が乗ることによって実現に向けて走り出します。だからこそ言葉の力を借りるのです。映像の記憶だけだったものが、言葉を誕生させ使いこなすことにより、人間はほかの動物に比べて飛躍的に進化してきました。私達日本人は、人から褒められたとき、それを否定する「謙遜」という文化があります。「貴女は綺麗ですね」と言われたら「いえいえ、そんなことはないですよ」と言ってしまう。でも今後は「そう言っていただけで嬉しいです。ありがとうございます。」に切り替えましょう。人生がうまくいっている人は、必要以上に謙遜はしません。

言葉の使い方、人生は大きく変わります。



情報は多ければ多いほど良いというものではありません。必要のない情報もたくさんあります。

つまらない情報があったために悩んでいる人もいます。これは本当に馬鹿らしい話なのです。

例えば、自分自身が人生のなかで調子が悪いときに、SNSで他人が楽しそうに生きている姿を見るとうらやましいを通り越して、「俺はダメだ」と自己否定に陥っていたりすることです。

自分がそんな思いをするなら、そんなSNSは見ない方が良いです。見て苦しくなるなら「フォローを外す」べきです。SNSを見なくても楽しく生きている人はたくさんいます。本来なかったものですから、本当はなくても楽しく生きていけるのです。SNSは必須ではありません。

自分の人生は、他人の人生を気にするためにはありません。自分自身が幸せに生きていくためにあるのです。

SNSが楽しいという人だけがやりましょう。SNSに振り回されている人生は本当につまらないです。

つまり何が言いたいかというと、SNSのことだけではなく、小さなことにこだわらないで、もっと澁刺（はつらつ）に、自由に、情熱と狂気を楽しみながら生き抜きましょう！ということなのです。



素晴らしい力を持つ「潜在意識」の4つの特徴

私達の行動をつかさどる場所である脳。ものを思考する、言葉を発する、決断するなど、普段私達が意識的に使う脳の3%を「顕在意識」といいます。

そしてコントロールが難しい無意識の領域を「潜在意識」といいます。

中村天風はこの潜在意識の力を「潜勢力」と言い、これこそが創造主が作った万能の力を人間に与えた生命の能力とエネルギーだと言いますが、その潜勢力は人が経験の中で明確に感じるものであり、理屈ではないと思います。

この潜在意識は4つの素晴らしい特徴があります。

①善悪の判断ができない。

潜在意識は自分の口から出る言葉に純粹に反応し無条件に従い、「かしこまりました」と常に言います。

「私は人を全面的に信じない」と言うと、その通りになり人が寄ってこない人になります。

「私には女運がない」と言うと、その通りになります。「人生は厳しい」と言うと厳しい人生になります。

「私の廻りの人はみんないい人だ」と言うといい人が集まり良い人生になります。

「これをやりたい」と言うと潜在意識は「かしこまりましたご主人様。うまくいく方法を集めてまいります」となり本当に情報が集まります。

「俺の人生なかなか良い」と言う。「かしくまりました、ご主人様。より良い人生になるような要素を集めて参ります」となります。

② 「私」と「他人」を区別できない。

潜在意識は主語を認識しないのです。「私」「あなた」「他人」という人称を区別できません。

たとえば、「あいつはダメだ」誰かの悪口を言ったとします。潜在意識は誰かと私の区別を認識できないので「ダメだ」という部分だけを認識します。

つまり、自分の潜在意識に対して「ダメだ」と言っているだけで自分がダメになってしまうのです。

人に対する批判や悪口はやめた方が良いというのはこのためです。

③ 言った言葉、思った言葉をストップできない。

Googleで「なぜできない?」と検索してみてください。3億6千件でできます。

潜在意識も同じように「なぜできない?」と言ってみるとずっと、顕在意識では考えていなくても、潜在意識は考え続けています。

人間は一日に6万回の言葉を検索しているといえます。マイナスの言葉を言っただけで一日に6万回もがき苦しんでいることになります。

逆に「私は何によってこれがちゃんとできるのか?」と自分に問えば、潜在意識は一日に6万回も検索しているのです。ですから、そのときに焦って答えをださずに、ほったらかしにしておけば良いのです。

「なぜできないの?」という言葉ではなく「どうしたらできるの?」という言葉で自分に検索をかけてみてみ

ると、ふとしたときに凄いアイデアが沸いてきます。

これは不思議なのですが是非やってほしいです。

④時間を認識できない。

現在、過去、未来、・・・潜在意識は全く分けて認識できていません。常に「今」と認識しています。

辛い過去を思い出して話していると、潜在意識は今と認識してしまいますから、また辛いことが起きやすくなります。

同じように楽しい未来の話をする、潜在意識は今起こっていると認識してワクワクした気分になります。

そして、楽しいことワクワクすることの言葉により、③の検索機能が始まります。

だから、未来に対して明るいオオボラを吹くというのは、潜在意識はもうすでにオオボラではなくなり達成していてそれを真顔で検索し続けているのです。（編集済み）

私はできる！ そう言っているだけで、できる人間になり、できる人生になります。

私はできないと言っていると、当然のようにできない人間になります。

つまり、「言ったもん勝ち」なんです。

実は、脳の中だけの話ではなく、不思議に本当にそんな事実が出てくるのです。

ガードナーベルトの制作動画を見て「ガードナーベルトは絶対に売れる」と私は言い続けてきました。

(いやいや、あんたが言ったからじゃないでしょう。) って言われそうですが、事実「これは売れる」と私の言葉を聞いたスタッフはいるはずですよ。人は何かやりたいことを見つけたら、そのときは最初に自分の口に出してこの言葉をかければ良いのです。

「俺はできる」 うまくいっている人はそれができているだけです。うまくいっていない人はそれが出来てないんです。実はそんな簡単なものなのです。口に出して言うのと本当にそう思い込みができるようになります。

ここで注意。 思っただけではダメです。

「俺はできる」口に出して言うのです。

さてさて、「フィットネスベルトは絶対に売れる！」

※ ※ ※ ※ ※

人はいつも変化している世の中に生きています。

その目まぐるしく変わっていく世の中全てに対して、いちいち関わり合いをもっていたら、いたずらに心に無駄な負荷をかけてしまうことになります。

「疲れたら休め」のとおり身体も心も休めてやる必要があります。

肉体は自分の意識で身体を休めてやるのが簡単にできますが、心を休めるには肉体と違った方法で休めます。友だちと酒を飲む、スポーツで思いっきり汗をかくでもいいでしょう。

しかし、全ての人ができる方法とは日本人が昔からやっていた「瞑想」です。瞑想とは心を休める最高の方法です。心を休めると心は元気になり、いろんなアイデアにたどり着き、良いことづくめです。

私は中村天風の天風会で教わった「安定打坐法」（あんじょうだざ）という瞑想法を毎朝短い時間で行っています。無我無念の境地、無声の境涯に心を入れることで、大宇宙の活力なるものの中に自分をおき、心を休めることになり心の旅路のオアシスに至ることができます。

瞑想は、全ての人にやってほしいと思います。

普通の経営者は、数字が良いと普通に喜んでいますが、

凄い経営者は、プロジェクトの失敗や、大きなピンチに遭遇してしまうと「面白いことが起きました」と笑って言います。

何が凄いかって、どんな状況でも機嫌がいい人には人が集まります。

ピンチになったとき、その逆境をユーモアに変えられる人は人に好かれます。

自分の機嫌は自分でとれる人に私はなりたいたい。・・・私はまだまだなっていない。

※ ※ ※ ※ ※

身体は水中で生活しています。肉体組織が必要とする貴重な体液である唾液、胃液、リンパ液などはいずれも水から作られています。水なくしては、消化作用も同化作用も、その他一切の機能が不可能になります。だから、「正常な組織の中には常に多量の水がある。従って、あらゆる組織は水中で生活している」という生理学上の見方はまさに絶対の真理です。

生命を健康に保つには水を飲むことですね。コーヒーでもなく、お茶でもなく、水ですね。

毎日の出会いのなかで、人との出会い、本との出会い、環境の出会い、チャンスとの出会い、いろんな出会いがあります。言葉との出会いも人生を大きく変えます。

良い本を読んだとき、良い話を聞いたとき、いいことを思いついたとき、メモを取る習慣はとっても重要で、それは必ず自分自身の財産になります。言葉の出会いです。

良い言葉は数時間後ではなく、必ずその瞬間にメモしてください。最近は携帯電話にメモ機能がついたのでとっても便利です。

お客様の前でいきなり携帯を扱うと失礼になりますので、「メモさせていただきます」と言えばお客様は喜びます。

携帯はお風呂以外は常に携帯しましょう。

良い言葉との出会いは必ず自分自身の人生を豊かにします。

強欲に良い言葉と出会ってください。そして瞬時に捕まえます。



3年前に発生したコロナウイルスで世界は大きく変わりました。この部分をしっかりと整理しましょう。

本当に変わってしまいました。過去の成功体験は全く役に立たなくなったのです。3年前の話はもう化石だと言っていていいでしょう。私自身25年間営業職の経験がありますが、営業メソッドは全く役に立たなくなりました。それでも、過去のビジネス体験をいまだ話している人がいますが、退屈で悲しい気持ちになってしまいます。コロナショックにより世の中が大きく変わったことを早く自覚していただきたいと思っています。

さて、何が変わったでしょうか？

- ① OFFLINE から ONLINE に変わり、不動産、保険以外の営業マンは殆ど要らなくなりました。
  - ② 遊びという面白い市場が伸びる。国内外の旅行、通信やゲーム、レジャーやスポーツ、料理、習い事。
  - ③ 情報の振り分け 一次二次情報がとても重要な時代で三次四次情報にごまかされないこと。
  - ④ 画期的な製品やサービスが生まれ、これまで想定していなかった業界と競合しなければいけなくなった。
  - ⑤ 個人のキャリアの変化「自分は何をやりたいのか」といったことを、個人がきちんと向き合って考え、常に能力開発し、個人としての世の中から見たい「市場価値」を高めていかなければならない時代になった。
- という世の中で自己肯定し、人生を楽しむことがとても価値のある時代になった。

※ ※ ※ ※ ※

SNSであるブログ、ツイッター、Facebookは常に、プラス言葉、肯定的な言葉、を自分の中でルール化しましょう。愚痴、悪口を書くと、信用をなくし、暗くなつて人が寄ってきません。

自分が元気になるコミュニティは、必ず良い言葉を使っている人の集まりであることに間違いありません。そんな人達は、運がいい人たちの集まりです。運がいい人は運がいい人たちとしか付き合いません。

SNSは、読んでくれる人が元気になることを書くのが一番です。

そうしたら、自分も元気になります。

本を読むことは人生全体を考えたときにとっても良いのは明白です。

本を読まないで人生がうまくいった人はいません。ありえないのです。皆無なのです。

ただ、最近は「オーディオブック」なるものがあり、「聞く読書」というものが出てきてとても便利になりました。ながら読書ができるのです、聴きながら、ドライブ、ウォーキング、料理、通勤途中、トレーニング、自転車、寝っ転がってベッドの上で、あらゆる場面で聞く読書が可能になりました。

少し難しいものは眠くなった従来の読書ですが、この聞く読書は眠くなりません。

また、繰り返し、何度も聞くことで、自分の言葉になっていくのが素晴らしい効果です。私は昔はカセットテープを車の中で何度も聞いていたのですが、人に話しをするときは凄い効果を確認しました。

是非お試しください。

ただ、もっと凄い方法があります。それは、自分の経験です。自分の経験は心で記憶します。そのときの自身の感情はとってもインパクトが強く、そのときの感情を思い出しながら、自分自身の言葉でしゃべれることを知ったら、行動するしかないと思うわけです。過去に行った「旅」を思い浮かべてください。あなたは、鮮明にそのことを話せるはずですよ。

※ ※ ※ ※ ※

日本で遊覧零式艦上戦闘機を作るとすると5億円かかります。これをするには社会的意義が大きくあります。何をするにしてもお金です。銭です。人生はお金ではない。と言う人がいます。その人はいつまでたってもお金が入ってきません。お金は大事だけど、必要以上には要らないという人は、その通りの年収になります。自分だけ程度の話であり他の人を幸せにはできません。

私はお金の天井を設けていません。よりたくさんの人達を幸せにするためには、やっぱりお金はたくさん必要です。お金の亡者と言われてもいいです。グリード（強欲）と言われてもいいです。

大事なことは、そのお金を何に使うかです。

私はまずは国内、そして海外にも出て行って、たくさんの人達を少しでも幸せにしたいといつも考えています。そのためには、まず10億円を本気で欲しいです。それだけのお金を誰かのためにどう使うか？ それをしっかりと考えるのです。考えただけでゾクゾクします。

遊覧零式艦上戦闘機は、いろんな賛否の意見を頂き、大きな口論や摩擦が起きると思いますが、それでいいのです。一番悪いのは「零式艦上戦闘機を忘れてしまうこと」です。

忘れなければ、志レベルでたくさんの人達を幸せにする重要なアイテムになるのです。

※ ※ ※ ※ ※

未来のシナリオを書くとは人生はより楽しくなります。そして、その通りの人生を本当に歩みます。私自身は、今までビジネスでは、アップダウンが多かったのは事実です。

しかし、10年前に書いたシナリオの中で13個の目標を書きましたが、そのうち12個が実現できました。実現出来なかったことは「世界中に9つのサテライトオフィスを作る」です。

ロスアンゼルス、ハワイ、中国に拠点はできましたが、今、オランダにとりかかりたいと企んでいます。

遊覧零式艦上戦闘機をハワイの真珠湾上空で飛ばすのは、私の新しい未来のシナリオです。

その前に、終戦間近に、ゼロ戦にパワーで勝ったアメリカのムスタングP-51を準備しなくてはなりません。

日本の10倍の生産量のアメリカがもの凄い改良をして作った戦闘機は今も人気で、映画トップガンMaverickの最後にでてきます。いろいろ考えていると、それは一番自然な未来のシナリオになります。

是非、自分の未来シナリオを書いてみてください。

人に決して見せてはダメです。人に見せるとシナリオが、現実にならなくなってしまうからです。少し恥ずかしいくらいがいいかもしれません。変態と言われそうなくらいがもっと良いです。

あなたにとって都合が良くて、気持ちよくて、ワクワクゾクゾクしてくる未来シナリオを是非書いてください。

※ ※ ※ ※ ※

未来のシナリオを気持ちよく書いたあとに、することは当然ですが行動です。行動しなければ絵に描いた餅になります。

その行動は、自分を肯定することから始まります。

今、ここ、自分の状態を、しっかり肯定してください。

「今はこれでいいんだ。」という自己肯定です。

足りないものはない。お金が足りないのは当たり前。経験が足りないのも当たり前。仲間が足りないのも当たり前。

その中で自己肯定をしっかりとってください。

良寛の「おまえはそれで丁度良い」という言葉を思い出してください。

あとは、動くだけです。

そして、未来シナリオを毎日1秒でもいいから見てください。

間違いなく人生はそのとおりに歩んでいきます。



価格の決定。これは経営者の最大の決断です。

これを適当に考えている経営者は経営がうまくいっていません。

この決定のための情報は、一次情報がとつても重要です。情報材料を決して、テレビ、新聞、インターネット、風聞などに頼るべきではありません。有力なSNSも参考にする程度です。

自分の目で見て廻り、感じることです。見て廻るのは競合他社の価格ではありません。その地域が持つ平均価格でもありません。人々の生活の変わりようを自分の目でしっかり見て廻るのです。

人々は何をしたいのか？人々は何が欲しいのか？を感じるのです。

例えば、コロナウィルス前でしたら「安くて美味しい店」が良かったのですが、今は「高くて美味しい店」が良くなってきたことを感じるのです。

安売りしても人は集まらなくなったということを実感することが重要です。

昭和期は、例えば価格10000円のを売ろうとしたときに、価格を7000円にしたら販売個数は30%以上伸びるといって考えで成り立っていました。

今は、価格10000円のを7000円にしても販売個数は伸びません。ですので売上は30%落ちてしまいます。

また、10000円のを12000円で売ったとしても販売個数は減らないどころか増える場合も大いにあります。

す。つまり売上は伸びます。

人々の生活が変わったのです。より美味しいものが食べたい。より良いものが欲しくなった。価格が高くても、本当に良いもの、本物がより欲しくなってきたのです。

最近、福岡で人気の家系ラーメンは1000円が常識でとっっても売れています。ラーメン一杯に払える値段で福岡県民は、なんと日本最安レベルのたった500円です。

私は福岡県民ですが、自分の地域だけの価格を見ていると失敗します。だから、旅をしなくちゃならないのです。

安売りしても人が来なくなった理由は、昭和期に一番多かった「中流階級」の分布形状が変わってきたことです。

従来のビジネスは、あまりにもこのおおざっぱな「中流階級」の人達ばかりに目がいていましたが、中流階級も3つくらいに分けてみるとだんだん見えてきます。

中流の下層、中流の中層、中流の上層、に分けると一番小さな市場は中流の下層で一番大きな市場は中流の上層です。

ズバリ富裕層に近い中流階級を見ましょう。

世の中は、貧困層に近い中流階級を相手にしたビジネスがあまりにも多いと感じます。これができるのはランチェスター経営で言うところの強者の経営戦略のみです。

ビジネスをやる人は、服でも食べ物でも、安売りの品だけを買っていたり、安くて早いところに並んでいた



していたら、絶対にビジネスは成功しません。

宇宙の一番強い法則である「引き寄せの法則」、類は類を呼びます。

つまり、貧困層や中流階級の下層の中に自分の会社を封じ込めて、その中でお金を回すというビジネスは絶対にうまくいきません。

今は、円安原因の価格の高騰も後押ししています。

中流階級の上層に向けて、価格の決定をしましょう。

※ ※ ※ ※ ※

ガードナーマフィアグループは「人が集まる楽しい会社」を目指します。

社訓「真剣にふぎける会社」はその手段なのです。

そのために私は「皆を楽しませる独裁者」になります。

開発も販売も人がたくさん集まれば商売はうまくいきます。

「人が来んごとなったら商売はできんよ」と志賀島の網元おばちゃんから20年前にそれを習いました。

アメ車、バイク、エアガン、ゼロ戦、これらはそのための道具です。

これからぶっとぶくらいの新しい事務所、多様な新製品、無料のレストラン、子供食堂、色々なことをして人を集めます。

マスコミも必ず近寄ってきます。

明るく、向上心をもった、質の良い人を必ずたくさん集めます。そうすると、いろんな一次情報がたくさん集まります。

人が集まるためにはスタッフが本気で楽しめないとは集まりません。

そのために皆さんの収入アップはとても重要です。その上でスタッフ全員が楽しめる・・・この環境を作るのが社長の一番重要な仕事です。

スタッフ全員が楽しく仕事ができるようにするのが私の一番重要な仕事であり、これしかないのです。

人間ですから、仕事をしたら、ぶつかるとも沢山あるでしょう。しかし、それを引きずったり、相手の人格を否定したり、コミュニケーションを避けるのは私は絶対に許さないです。

そういった意味で私は独裁者です。そんなことをしては人が集まりません。

人が集まらないとビジネスは絶対にうまくいきません。

「人が集まる楽しい会社」になるように皆さんの協力を是非宜しくお願い申し上げます。

※ ※ ※ ※ ※

古いも若きも男も女も、世の中の全ての人、社会的地位も、会社の役職も、収入も、人種も、宗教も関係なく、全ての人が求めているもの。それは自分のこの世の中における存在感です。

「自分はこの会社にいていいんだ」

「自分はこの世の中において価値があるんだ」

「家族にとっても価値がある存在なんだ」

という自己肯定感です。

全ての人が求めているにもかかわらず、全ての人がこの自己肯定感をもっているかという点、残念ながらそんなことはありません。自分自身、そして他人に対しても必要なのが、自己肯定感をもつための言葉なのです。そのため存在意義は、お互いの言葉によって成立します。

ちょっとした言葉が、大きな希望になり、自信に繋がり、お互いの自己肯定感を高め合います。

相手をリスpektしていても、言葉がないとそれは全く無力なのです。リスpektしていかないのと同じです。やっぱり言葉こそが、人生を変えます。言葉こそが、現実化するための道具なのです。

普段の何気ない言葉が自分の人生の未来を決めます。

※ ※ ※ ※ ※

年収なんて特に増えなくていい。自分らしく自由にやればそれでいい。

そう思った瞬間に、本当に何もなれない。向上しない。進化しない。成長しない。

そして廻りの人間からも尊敬されない。つまり、存在感のない価値のない人になってしまいます。

世の中のためになっっていない人なので、世の中で不要な人になってしまっています。

本当に自由な人は、既に気持ちがある中で、自由を意識しません。

その人は世の中を楽しんでいます。

バイクの BMW の大きなお店で“Free Man”と看板に書かれていましたが、とても悲しい気持ちになったのは私だけではないと思います。このお店、自由じゃないから自由と書いているんだなと。

とにかく稼いで稼いで世の中のために生きる。

それが何であれ「まあ俺、自由であれば、そこそこでいい」って思った瞬間に、何もなれないのです。

世の中よくできたもので、そこそこの欲望には、そこそこの結果しかついて来ないんです。

年収アップがなくて良いと考える人は、ガードナーには不要な人となります。

お金。ガツガツ稼ぎましょう。そして世の中のためになることをガツガツやりましょう。

※ ※ ※ ※ ※

運のない人はじっとしています。

外から入ってくる情報に運はありません。

運に出会えるのは自ら動いて出向いたときだけです。

運をつかむのはとてもシンプルなことであり、これしかないのです。

自ら動く ↓ 気づく ↓ 運をつかむ

※  
※  
※  
※  
※

今の世の中の多くの人達を見ると、難しそうな顔をしている人が多いです。なんだか不幸な人多そうに感じます。

不幸な人とは、病や事故や商売で失敗した人、人間関係がうまくいっていない人のことではありません。実は、不幸な人とは、普通に生活できていて、嬉しいことがたくさん起きているのに、それを全く気づかない人なのです。

足るを知るという日本人らしい素晴らしい言葉がありますが、自分の人生のなかで、どれだけ幸せに気づけるかが重要なのです。

それに気づくと、気分が良くなります。

宇宙で一番の大法則は、引き寄せの法則です。気分が良いと良いことが起きます。

つまり、今の自分に幸せに気づくことができたなら、現実の中で本当に良いことが起きるのです。気づいたもん勝ちです。



年齢を重ねるたびに、若い頃の体験が自分自身の収益に大きな影響を与えていることを実感しています。若い頃に出かけた旅、読んだ本、音楽、映画、芸術、スポーツ、武道などで得ることができた体験は今になって大きく助けられている。

若いときに使ったお金は、この年になってからの年収に二倍以上のものになって返ってくるのです。だから、若いときは、安い給料を貯金などせずに、バンバン使って自分の体験値を高めていった方が絶対にいい。少しだけお金はかかりますが、動けば動くほど、やっぱり体験の価値はそれ以上に上がります。



「ひたすら正しいことを言う人」は人間関係がうまくいっていません。

廻りから見ると、どうしても「ウザい」となってしまいます。

なぜかというところ、正しいことが話の根拠になり、その人そのものが何も無いからです。

「私はこんな勉強をしてきて、こうであることを学んだ。だから私は正しい。」という退屈な人です。

その人自身は強くないということが相手に伝わってしまい、弱いのに吠えている犬のスピッツに見えてしまいます。

そんな犬よりも、デツカイ体をしているが優しい目のラブラトリーが好かれます。

正しい理屈ではなく、相手を包み込むように「相手の気持ちかわかる人」の方が100倍好かれるしモテるので

す。

人間関係は正論よりも感情が大切であることは毎日感じています。



平成初期のバブル崩壊で、企業は勝ち組、負け組と大きく分かれてしまいました。そして、このコロナショックで、またまた勝ち組と負け組が分かれています。

一位と二位では、利益は10分の1という差がついてしまったのです。また、大きな売上が大きな利益にも繋がりにくくなりました。そんななかで、勝負を決するのは、ズバリこれです。

スピードが60%

ハードワークが30%

経験や能力が9.9%

学歴が0.1%

開発や製造はもちろん、販売とりかかり、トップの判断や決断、改革や変革にもスピードが求められる。

時代の変化が激しいだけに、この変化の波に乗りきれない、あるいは自ら変化をつくりだしていくということができない会社は淘汰されていくのである。

スピードの時代には、強力なリーダーシップが必要です。

そしてその会社のスタッフがそれに協力してくれることがもっと必要なのです。

※ ※ ※ ※ ※

私は小学校の年生のときの新聞配達のアルバイトで初回 $\infty$ 時間ちよつとの配達を一年かけて試行錯誤し $\infty$ 分に短縮できるようになりました。ただ、速く頑張るというのではなく、今考えても普通ではない技を繰り出していくからできた芸当なのです。

とっても楽しかった。

仕事ができる人とは、 $\infty$ 時間で人がやることを半分の4時間で終わらせてしまう人。そして余った4時間は好きなことをします。そうしながら、あと1時間好きなことをしたいと思うと、3時間で仕事を終わらせる方法を必死で考える。

これは立派な才能なのです。

8時間頑張ったことに満足してしまう人は仕事ができない人。

仕事はあくまでも人生の手段です。人生の本当の目的は楽しむことです。

最初にサラリーマンになったときの上司が優秀だったから、私はとってもラッキーでした。ペーパーで何もわからないときに習う上司が優秀でなかったら大きな回り道をしたと思います。仕事力も人間力も両方です。

上司から何を教わるかではなく、誰から教わるかがとっても大事です。

特に上司の人間力が優秀だったら自分も優秀に近づきやすいのです。

私はその上司に毎日毎日いつもいつも怒られてばかりでしたが、深く感謝しています。怒ってくれるだけで、本当にありがたいのです。

※ ※ ※ ※ ※

今、バイクで日本中を廻っています。そのうち海外までバイクを持ち出して旅を続ける予定です。

バイクは乗るのが大好きで、車では味わえないドライビングの楽しさがあります。風を感じ、大自然の中を走るのとはとっても気持ちのいいものです。

さて、バイクで旅をするのは、世の中を見るといっても重要な仕事だと考えています。

世の中の流れをつかみ、その現実に対処していくためには、世の中全体を鳥瞰図（ちようかんず）のように俯瞰し、一望のものに鳥のような見方をする眼と、虫のように地面にはりついて、どんな小さな変化も見逃さない虫の眼です。

ビジネスはどんなにうまくいってもピークアウトは必ず訪れます。このことを忘れていつまでもこれまでの事業にしがみついていたらその会社には未来はありません。世の中の全体像であり、時代の大きな流れを感じ、年先の近未来を鳥の眼で見めるのですが、毎日会社においてはそれができません。

今、何をしなくてはならないかが見えてきます。鳥の眼とは時代を先読みする眼なのです。OFFLINEがONLINE に変わって営業マンは不要になりましたが、営業マンのように足を使って外を廻るといえるのは絶対必要です。

ここでの見方の一つは、何に力を入れていくかを見極めることです。運は重要ですが、実際にチャレンジして

みると100挑戦して、成功するのは1か心に過ぎません。

残りの99か98は失敗しているのです。ましては会社の運命を変えるような大成功は1000のチャレンジで1つしかないのです。それだけ種をまかなければ実は収穫できないということです。

そのように成功するのは容易なことではないのです。世の中は成功者ばかり目につくが、その陰には数知れない失敗者の屍が横たわっています。

その成功者にしてもたくさんの失敗を繰り返し、それを乗り越えた末にようやく物事を成し遂げることができたのです。

重要なのは、成功を勝ち得るためにチャレンジした分母が桁違いに多いということを胸に刻んでほしいです。

「悪いことは、続かない。必ず良い方向に持ち直す。」

2018年 1億5千万円の借金を返す見込みがなくなって落ち込んでいた私に嫁さんが言った言葉です。

苦しみがあれば、そのあとには必ず喜びがやってくる。日はまた昇る。

空手を始めたときから、廻りよりは波瀾万丈の人生を送ってきた私は、その嫁の言葉は真実だと確信しています。自分の人生は良いことがなかった。辛いことばかりだったと嘆く人が世の中には多い。しかしそれは間違っている。

人生は良いことと悪いことが50対50である。どんな人でも調べたら必ずそうなっている。

人生とは苦楽が交互に織りなす「サインカーブ」です。多くの苦しみを経験したあと人は必ず大きな喜びがやってくる。

そして大きな苦難を乗り越えた人にこそ、より多くの幸せが待っているのだ。

だから困難や逆境のなかにいるときこそが、飛躍のチャンスなのだ。だから、廻りが逃げても自分は逃げてはならない。どんなに強い逆風であろうと、敢然と向き合いそれを乗り越えていくことです。

私自身は廻りから元気で威勢がいい人間だと思われているようだが、実際は臆病で夜眠れないこともあれば、会社は潰れ、住む家もなくなりホームレスになって倒れてしまうのではないかと恐怖におののくこともある。

経営者なら、みな同様の経験をしていることでしょう。経営とはそれだけの重責を担うものであるし、むしろ臆病さをもたなければやっていけない仕事でもあります。

さて、改めて、苦しみを経験したあとには必ず喜びがやってきます。

その前に苦しみを経験しなくてはなりません、そのためには「行動」をしなければならぬですね。

「行動」した者のみ「喜び」がやってくるのです。

このシンプルな法則は、誰もが当てはまる絶対的な「真理」なのです。

※ ※ ※ ※ ※



何かに深く没頭できているとき、人は無念一想になり潜在意識と深く繋がっている状態です。

アメリカのメデイテイションは無念一想、日本の瞑想は無念無想です。

信念がしっかりしていれば、揺れ動く心としっかり向き合い、没頭している時間、頑張っている時間が自分でも大好きになっています。

そんな日々をたくさん過ごすために私達は生まれて来たのです。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

老後のことを考えていると、エキサイティングではない退屈なテーマですので顔が暗くなってしまう。老後の蓄えを気にする人は、やっぱり退屈な人。

知り合いの「地主」は退屈な人が多い。土地の境界線の位置が気になるのは、人間的にやっぱり退屈な人。

山林王と言われる大地主と飲んだが、本当に面白くなかった。たらふくお金を持っている人〓エキサイティングではなく、実は退屈な人が多いのです。生きていく中で、心が守りに入っているのです。

お金があっても、お金がなくても、老後など考えずに、もっと楽しく仕事して、もっと楽しく遊んだらいいんだよ。

2022年11月30日 築50年だが自社ビルを所有することになりました。

通称、GMビル。

自社ビルが欲しいわけでもない。土地が欲しいわけでもない。

ただ、自分達の大きな目的のために、仕事を楽しみながら拡大するために、どうしても必要なものなのです。会社はたんに仕事をするだけの場所ではない。そこで働くスタッフにとつては精神的なシンボルでもあるのです。誰かの目を気にせず、自分達の会社にも今日も本当に行きたい。と思っっている会社員は世の中にどれだけいるのでしょうか？

いつでも行けるように会社の近くに引っ越してきたくなる会社が必要なのです。

そうして、家族や友だちに会社のことを話したくなる会社。単に豪華というわけではない、でもスタッフが好き勝手にやりたい仕事をやっている。

国内だろうが、海外だろうが、自分が活躍できるところへ、好き勝手に出て行く。

この「好き勝手」というのが大前提です。「もっと強力に好き勝手」にやるには、仲間と助け合いながら、仲良くやらないと好き勝手はできないのです。自分のためだけの利己的に好き勝手は、お子ちゃまの仕事になりますので結果がだせません。大人の好き勝手をバンバンやります。

その結果、その仕事で売上がアップしていくと、その分、世の中のために自然になっている。スタッフもその仕事をやればやるほど、自分の仕事力も人生もインプルーブしてくる。

「人生ってこうなっているんだ」と改めて考えさせられることになり、また新たなチャレンジに挑む。これこそがGMが求めるナカマ達の姿です。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

楽しい会社は実は世の中にはないのです。

ないのですが、誰と過ごすかでその会社は楽しくもなり、厳しくもなります。

要するにやっぱり人です。誰と一緒に仕事をするかです。

もちろん家庭もそうです。社外のパートナーと取り組むときも何をするかではなく、誰と取り組むかで仕事は楽しくもなり、面白くなったりします。

だから、社内では「あいつはダメだ」と言ってしまった時点で、そう言った人は仕事を楽しんでいません。

ある人を見下げてしまってそのような姿勢をした場合もその人にとっては一瞬で退屈な会社になります。

その場所やモノが楽しいではありません。

楽しいナカマといるから楽しいのです。

当たり前前的ことですが、とっても大切なことですね。

人生のなかで厳しい指導が必要なときもあります。それは本人と指導者が同じ目標に向かって決死の思いで突っ走っているときです。

私は結局空手道を5年間続けました。一番激しく練習したのは、全日本選手権で優勝するのを目標にして鍛えていたときです。全日本選手権で成績を出して、海外へ空手指導員になることを目指していました。ですの  
で、高校のときにもそうでしたが、勉強そっちのけで朝から晩まで空手空手空手です。あの学力でよく大学卒業できたものです。人間の力というのは、鍛えたら本当に強くなります。スクワットは毎日1000回、腕立て伏せ500回。それが本人の常識になってしまいます。フルコンタクトで当てる組手（スパarring）が楽しくて楽しくてたまらないのです。それもガチのスパです。当時、思い出しても恐いし、会いたくない先生から竹刀でバシバシ叩かれていたのですが、そのうち竹刀がバラバラになってしまいます。本当に恐い先生でしたが、目標に向かっているとどんなに殴られても蹴られても、竹刀でバシバシ叩かれても、それが愛情だと思えないくらいの状態になるのです。以前、オリンピックに出る女子柔道からパワハラだセクハラだという話がありました。「奴ら練習してないな」と直感で思いました。はっきり言ってクズ選手達です。

一緒に目標に向かっているとき、厳しい指導は愛そのものなのです。

※ ※ ※ ※ ※

人間関係というものは、どれだけ長い時間をその人とともに過ごしたかで決まるのです。長い時間がかかります。一度会っただけで「意気投合した」という人もいますが、そんなものは馬が合うという程度であり、上っ面の関係にしかすぎません。

何度も会って話す。時には激しく口論する。家庭のことなどプライベートな話題もしっかり聞いて知っているのは当然。そうこうしているなかで、「この人となら一緒にやっていけるな」という気持ちに次第になっていくのです。

そのためには、ある程度の時間が必要です。人と人とのつながり、より良い人間関係を作るための妙案はありません。自分の思いをしっかりと伝え、相手の思いもしっかりと聞く。そのことにどれだけ時間を費やしたかで決まるのです。何でも腹を割って話すことができる相手が長い時間軸のなかであって初めて深い人間関係ができるのです。

私が目指す働きたい会社は、働きやすい会社とは少し違います。楽ができる会社ではなく、大変だけどやりがいのある会社です。楽ではないので、仕事が嫌いな人から見るとまさにブラック企業なのです。

会社の成長と自分の成長が重なる、経営側と一体感を感じられる会社。必要とされていることを実感できる会社。こうなってくると休日だろうがなんだろうが、家にいてもやらねばならないことはやるようになります。

そうなると人間は、何か好き勝手に仕事をしたくなります。何か企み（たくらみ）たくなります。企む・・・今のビジネスには一番大切なことかもしれません。つまり計画するということです。

計画するには、世の中をじっと見なくてはならないのです。悪そうボウズが電柱の陰で何か悪いイタズラを企んでいるのほとんど同じです。

勿論、大人は悪いことではなく、良い企みをします。

その企みは世の中に対しての貢献に繋がり、何より自分達の会社は明るくて楽しくなっていくのです。



チームGMに入りたい人というのは「独立を企んでいる人」です。そんな人を優先に雇います。一身独立、一国一城の長になりたいと企んでいる人を優遇します。

今後、GMは横展開をし、たくさん会社を起業させたり、企業買収したり、M&Aしていきます。つまり、社長がたくさん増えていくということです。

最初はガードナーに入り、3年などと期間を決めた修業をしていたら独立前提で仕事をして欲しいのです。ですので、その人にとっては修行期間は一般社会から見ると「超ブラック」でしょう。でも、修業として仕事をしないを決めるのは、自分自身です。

今後収入もいろんなパターンができるでしょう。

- ① 報酬はいきなり高いが休みなしの個人事業主
- ② 報酬は徐々に伸びていく個人事業主
- ③ 安定を望み徐々に伸びる会社社員
- ④ 年齢、経験に関係なく実力で報酬をあげていく個人事業主と社員

チームGMはどれも良しと考えております。もちろん③の人たちも絶対に必要なのです。但し未来進行形で実力も収入も伸ばしてもらいます。

もしかしたら、独立を企んでいるその人は、将来GMの外に飛び出していくかもしれません。それでもいいのです。いや、どちらでもいいのです。もちろん喧嘩別れはしません。何よりエキサイティングですし、間違いなくGMの糧となるのは間違いないのです。会社として大きな進化と成長を促してくれるのは間違いないです。

独立を企んでいる人には資本金を出します。実際に既に資本金3000万円を出しました。チームGMから、社長がたくさん出てきてほしい。切に願っております。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

時代は OFFLINE から ONLINE に変わったのが常識的になってきました。

では、具体的にどう変わったのでしょうか？

仕入先―自社―客先とのベクトル関係が逆になったということです。

昭和は「お客様は神様です」と言っていました。お客様が全てで、お客様が最高峰だったのです。

従来はやっぱり、大手企業がお客様となり口座が持てることは、会社の価値や数字がアップするために必要な要素だったのですが、常に大手企業のお客様の声は、神様と同じになり、自分達の会社は大手企業に振り回される状態になってしまいました。

大手企業は、信用もあり厳しい基準で世の中と対峙していかなばならないので、ルールも厳しいのです。

コーポレートガバナンス、コンプライアンス、CSR、SDGs・・・などなどです。

私はバカバカしいと思っています。日本人はいつから変な横文字に支配されるようになったのでしょうか。まごころがあればそんなものは要りません。

さて、ONLINE にビジネスが移行して少し状況が変わってきました。

つまり、「依存しないビジネス」が理想の形となってきたからです。

大手企業がお客様にならなくてもよくなったのです。いや、ONLINE は大手企業ではなく、個人相手がメインになってきます。

メーカーの立場ですと、理想はDtoC（ダイレクト・トゥ・コンシューマー）です。海外からのONLINE流入は殆どがこの形です。

実際に事業を進めていると、大きな取引がなくなったので手形のコゲツキや未回収が全く無くなりました。会社の与信調査など、私達には死語となってしまいました。

あらためてお客様は個人になったのです。そこで当たり前のことですが、お客様と同じくらいに大事なのは、仕入先なのです。

「お客様に依存しないビジネス」が一番理想です。

まだまだ、仕入先をいじめている企業がありますが、そのような会社はもう先がありません。

仕入先は同志なのです。ナカマなのです。ホームチームを組むべき相手なのです。

GM ホールディングス株式会社を立ち上げましたが、これはナカマを増やすためのプラットフォームなのです。今後、ヒエラルキーな組織ではなく、横展開し、思いっきり広げていきたいと考えています。

今日も聞きました・・・コンプライアンス・・・私が好きではない言葉です。というより要りませんこんな言葉。　　そういえば、世の中の会社には、ルール、規則、マニュアル、ペナルティー、罰則、査定が好きな経営者が多いですね。一言で言うとうと退屈な経営者です。人間的に未熟です。　　人間は人間であり、奴隷やロボットではないんです。

会社の規律として厳しいのが当たり前ですという経営者は、「私は人間力がありません。だからルールは必要なのです。」と言っているのと同じです。この「厳しい会社」こそが価値があるという昭和の流れを持つ経営者は、経営者自身が頂点に立っていて単に威張っているだけというフヌケ状態であることが多いのです。「俺は恐い経営者なんだぞ！」と言わんばかりです。若い部下からは「ダサイ奴。」としか思われていません。

「厳しくできないで何が経営だ。」という矛先を間違えているとしか言い様がない。厳しいのは自分自身に対してだけで十分なのです。自分がハードワーキングすればいいのです。それも知的ハードワーキングです。このように、ルールを厳しく管理すると、どうしても「減点主義」になってしまいます。　　スタート時はある程度の点数があるが、失敗したらそこから減点されるという方式です。減点されて嬉しい人間はいません。この当たり前のことが分かっていないのです。このシステムだと、積極的に仕事に取り組んで失敗するより、何もしない方が点数が高くなってしまふ。ペーパードライバーが運転せずに、ゴールド免許持っていてそれが評価されるのと同じことを会社の中でやっているようなものです。

絶対に「加点主義」が良いのです。スタート時点では0点です。そこから様々な課題に意欲的に挑戦することで点数がプラスされていく。何もしなかったり、指示されたことだけやっていたら、いつまでも0点です。

ガードナーでは、失敗したら「大失敗の賞」の1万円がもらえます。バカ者！と叱ってもいいのですが、本人は、たいがい失敗した理由が分かっているのでその必要はありません。

イエローカードを手渡すだけです。分かっている場合、重傷瀕死になっても分かるまで怒鳴り声で説教します。（相手がタフな場合のみ）

そこでよく言われるのが「ガードナーは甘い会社だ」という評価です。その人が言う甘いとは、管理が甘く、ペナルティーが甘いということらしいですが、そのように、管理が厳しくない仕事ができないという人は三流ビジネスマンであるのは間違いないのです。

そもそも「管理」・・・面白くない作業です。それ以前に「管理」はやろうと思っても実際にはできません。できない管理をやろうとしている会社が多すぎます。

そんな会社は間違いなく世の中のためになりません。

YouTube で最近感動して泣いた場面ですが、私は元々テレビドラマでも悲しい場面になるとすぐに泣いてしまふのであまり珍しいことはありません。ですが、このときは少し中身が違いました。吉本新喜劇の三枚目役の女優がマネージャーと結ばれ結婚式があったのですが、披露宴では花嫁の晴れの日ということもあり、いつもは「ブス」、「えげつない顔してるなあ」とボロクソに言っている新喜劇の仲間も「おめでとうございませす」「幸せになってください」といったようになりきたりのコメントを送っていました。そこで、花嫁の父親の挨拶の番です。普通なら、涙で声を詰まらせながら当たり前のあいさつをする場面ですが、このお父さんは真面目な顔をして「わが娘ながら、見れば見るほどブスですなあ」会場は爆笑に包まれ、私も思わず吹き出してしまったのですが、私はこう思いました。「父親と娘の心が通じ合っているから、こんなことを多くの人前で堂々と言えるのだ。このお父さんは理想の親子関係を築いている実に素晴らしい人物だ」と感心させられました。組織の中の人間関係、上司と部下の関係もこうでなければならぬと素直に思いました。何万人もいる大企業ならいざ知らず中小企業では、家庭的な雰囲気やアットホームで人間的な暖かみがベースにあるというのとはとても重要なことだと。たとえば、口をついて出てくる言葉に多少のトゲはあっても、腹のなかは真っ白でウソ偽りが無い。だからこそお互いに言いたいことが言え、嬉しいことがあればともに喜び、悲しいことがあれば一緒に泣けるのである。会社や組織というのはこのようなチームでなければならぬのです。

※ ※ ※ ※

人には誰しも得手と不得手あります。

今までお会いしてきた経営者は、社員には不得手なことを克服させると一回りも二回りも器が大きくなる  
と・・・。だから社員には、不得手なことにチャレンジさせるといふことを言われます。

たしかに一理あるが、ほとんどの人間はそれほど、不得手を克服できるほど器用ではないのです。

スタッフに不得手を経験させて、苦痛を与えて弱点を克服させるのはとても壁が高く現実的ではないといふ  
ことです。

足の遅い人に、短距離走をさせてもダメなんです。苦勞する人・・・ダメなんです。向いていないんです。  
最低限必要なことは勿論やっていただくが、不得手を磨いて頑張ってもらっても三流にしかたないのです。  
何年やっても前蹴りがうまくできないのに、そればかりの練習をたくさんさせても強くなれません。それより  
得意な回し蹴りを妖刀村正と言われるくらいに研ぎ澄ましますのです。

それよりも、得意なことをドンドンやらせて長所をさらに大きく伸ばす。得意技の切っ先を研ぎ澄まし、斬鉄  
剣を持たせるのです。そのスタッフの弱点は、それを得意とする他のスタッフにフォローさせる。これは組織  
経営のなかでとつても大事なことだと考えています。

ただし、経営者は仕事の好き嫌いを言ってはならない。会社には社長しかできない仕事というものがある。

社長の仕事は

①経営ポリシーをわかりやすく伝える（ガードナーの言葉）



- ② 社員の意識を高める
  - ③ 中長期の経営計画をたてる
  - ④ 経営判断、最終決断を下す
  - ⑤ 適材適所を考える
  - ⑥ マスコミに応じて、会社イメージを上げ、知名度をあげる
- これ以外の仕事は適任者に権限委譲してしまいます。
- スタッフは各々得意な仕事に専念し、社長は社長にしかできない仕事に専念することが、強い組織をつくる一番の基本なのです。

※ ※ ※ ※ ※

ガードナー株式会社は、少しずつ人が集まる会社になってきました。今も昔も商売で一番重要なことは、人です。その人がたくさん集まれば商売はうまくいく楽市楽座になるのです。逆に人が集まらないとビジネスは成り立ちません。

福岡市に志賀島という半島で漁師の島がありますが、20年前に網元の名物ばあちゃんがいました。そのおばあちゃんは読み書きができないので、伝票無しで魚の仲買人に漁師が釣ってきた魚の卸をやっていました。

ばあちゃんの頭の中だけに伝票があり、一週間以内に代金は仲買人からしっかり振り込みされます。振り込みしないと二度とここには来れません。伝票が書けなくても、威勢の良いばあちゃんには税務署もタジタジです。

そんな、ばあちゃんは毎朝7升(約12kg)の米を炊き、色んな料理を作ります。ですので家族全員が毎朝ドタバタしています。そうして、いろいろな人達に無料で料理を振る舞うのです。漁師、郵便屋さん、近所のおじちゃん、保険屋さん、クロネコヤマト、佐川急便、ヤクルトおばあちゃん、通りすがりの人、いろんな人が一日中賑わっています。私もご馳走になりながら、その元氣なばあちゃんにストレートに聞きました。

「なんでこのように無料で料理を振る舞っているんですか？」と、そしたらばあちゃんの答えは明快です。

「人が来んごとになったら商売人は終わりや」とシワシワの中から出てくる得意気な笑顔が私はずっと忘れません。そうだ。起業したら人が集まる会社にしよう。あれから私は何年も考えています。

※ ※ ※ ※ ※

人が集まる会社・・・インターネットがでてきて20余年ですが、この部分が最近希薄になってきたと肌で感じています。人が集まるためには、じっとしては何も始まりません。あらゆる準備をしなくてはならないのです。

人を集めるために、最初にやることはモノです。単に豪華というわけではなく個性と目的を持ったモノを集めます。会社のアイデンティティを明確にした上で、ガードナーは社長である私そのものを御旗として高くあげます。私の場合は、黒いアメ車とハーレーダビッドソンとエアガンとゼロ戦です。まるで子供です。ただし、バカ正直な気持ちで本当の自分をさらけ出すというのがこの御旗の条件です。

そうしたうえで、また会いたいな。またあそこに行きたいなと思う会社にしたいのです。

また会いたいな。という会社は楽しい会社です。なぜか。それは許し合える人間がいるからなんです。

その上で、真剣に商売なのですが、私の考える商売の基本は、「人を喜ばせて、自分がまたその人とともに喜ぶことが一番尊い。」という中村天風の教えに従っています。

真剣にふざける会社は、ふざけながらも、そのことだけを考えて進んでいます。人が集まると素晴らしい一次情報が集まります。

一次情報・・・自分自身が見た、触った、体験した、聞いた、味わったという真実の情報。

二次情報・・・人から聞いた、本（雑誌以外）を読んで得る情報。

三次情報・・・SNSが元気ですが、インターネット全般の情報。

四次情報・・・新聞、テレビ、ラジオ、チラシなど。

最近は、情報と言いながら三次情報や四次情報があまりにも多いのです。

重要な情報というのは、インフォメーションではなく、インテリジェンスと言われる一次情報と二次情報です。人が集まったらその一次情報と二次情報だらけなのです。

そうなる、新製品開発にも、販売方法にも新しい真理の情報が入り、スタッフ全員はエキサイティングに楽しく仕事ができます。

もっと人が集まる会社にするには、どうしたら良いかとスタッフ全員で知恵を絞るのが理想の会社です。

※ ※ ※ ※ ※

この世の中には、チャンスというものが満ちあふれています。あれもこれも、あそこにもここにもチャンスチャンスチャンスです。ただし、世の中のたくさんの人達は、チャンスをチャンスと認識してないことがあまりにも多いのです。ひどい人は、チャンスを探さずに不平不満ばかりを探していたりします。世の中が悪い、会社が悪い、人が悪いとフォーカスする方向がズレていたりします。とってもしもったいない話です。

私にはチャンスに見えていても、となりの人にはチャンスに見えていない。それでもチャンスを見つけ出そうという行為は、間違いなく楽しい行動なのです。だから日頃の生活がずっと楽しいはずです。楽しいことは、誰もが先延ばしをしません。早く来い来いお正月。という状態です。そのように生き方が楽しくなると、仕事も楽しくなります。つまり、生き方と仕事のズレがなくなったということです。

遊ぶように仕事をするのです。自分で自分にそれでいいんだよと許可してしまうのです。そうになると、生き方も仕事も遊びも全てが自分だけの楽しいオリジナルとなります。

人には持って生まれたその人なりの生き方というものがあって、他人の価値観とは全く違うものです。ですので、どういう生き方が素晴らしいというのではないのです。人それぞれ。チャンスはいろんなところに色々な種類であるのです。

※ ※ ※ ※ ※

私はコルベツトというスーパーカーが大好きです。

何十億円というお金があっても、やっぱりコルベツトを買います。フェラーリやランボルギーニ、マクラーレン、ポルシェ・・・全く興味ありません。4000万円するランボルギーニに乗ってみました。走りはコルベツトと殆ど変わりません。むしろ排気量によるエキゾーストなサウンドがコルベツトが上です。

さて、お金があつて、たくさんのスーパーカーを持つている人は、本当に好きなメインの一台がはっきりしていないことが多いのです。一般的には、凄いなあ！と言われることに意味があり、人からどう見られるかという外見だけにこだわっているのです。そんな男は、連れて歩く女性も美人でないといけない。だからその男はその目の前の美人をも見ていない。廻りの目だけを見ているのです。だから、その金持ちの目の前の女性自身は、絶対に面白くないと思うのです。

乗り心地が悪くても、少し古い車でも、あまり人気のない車でも、自分が愛する車が一番いいと思う。他の高級スーパーカーなんて全く興味なしの人。私はこういう人を信用します。

私の父親は昭和3年生まれ82歳で亡くなったバリバリの昭和男でした。何事にも几帳面で手先が器用で、曲がったことは絶対に許さない真っ直ぐな人で私とは大違いです。ただ、いつもウィットに富んでて、親戚が集まっても一人目立って明るいオヤジです。

その父親は、脱サラをした後は、金銭的に厳しい時代もありましたが、いつもいつも仕事が楽しそうでした。昭和の男ですので、長時間労働が当たり前です。

夜、仕事で疲れているはずの父親が「ただいま〜」って帰ってくると「お帰りお父さん。仕事どうやったん？」って言う。「仕事？面白かったあ〜。面白かったんで今からもう一回行こうかなあ。」って感じなのです。身体は疲れているかもしれませんが、心が疲れていない感じで満面の笑顔です。

私は子供ながら、「オヤジ。カッコイイ。」って思いました。極小の会社社長ですが、私も社長になろうと思っただ瞬間です。

高校生になった反抗期の私は、空手ばかりしていましたが、それに加えてアウトドアに興味を持ち週刊誌にあったテントが欲しくて欲しくてたまりません。高校生の私はお金がないので、ついに万引きしてしまいました。大きなテントを脇に抱えて誰がみても万引きと分かるんですが、やっぱり自分を止められない。

大きなテントを持った私は簡単に捕まり福岡東警察署に連行されました。

顔写真や調書を取られているときに、警察官の「マル暴」でチンピラのような方から、頭を思いっきり叩かれ、逆ギレした私はそのマル暴の警察官を殴って倒し、馬乗りになって顔を何発も殴ってしまいました。そのマル暴の警察官の前歯は全部折れてしまい血だらけです。すぐさま私は他の警察官に取り押さえられました。警察署の中は警察署長まで出てきて大騒ぎです。

当然、私の父親が呼ばれたのですが、反抗期が絶頂の私は「なんで来たん？」という態度で、父親に対して知らん顔です。

父親はたくさんの警察官にペコペコ頭を下げて廻っていました。あんなに頭を下げている父親を見たのは初めてです。二時間近くいたのですが、父親はずっと頭を下げて謝罪してばかり。あそこまで頭下げなくていいのにと。

最初に手を出したのはマル暴の警察官で、私は少年だということもあって、起訴しないということになりました。



父親の車の助手席に乗って帰ったのですが、なんか悪いことをしたなと思い、私はたった一言だけ、「ごめん」と言いました。

そうしたら父親の返事は「いいやないか。終わったことや。」と一言だけ。

私はその言葉に泣き崩れてしまい、涙がずっと止まりません。その瞬間から反抗期を終えました。あれから48年たちましたが、そんな私を許してくれた父親に今でも感謝しています。

人を許せる男って凄いなと思いました、インドのガンジーも同じようなことを言っています。

「弱い者ほど相手を許すことができない」 マハトマ・ガンジー 1869～1948 (編集済み)

※ ※ ※ ※ ※

ガードナーベルトには、たくさん偽物がでています。調査したらナント180種類のモノがあるということが分かりました。

もう、私達ガードナーがこの文化を創ってしまったのは間違いないようです。商品だけではなく、ガードナーベルトという商品名もパクられました。ガードナーベルトの写真もパクられました。そして驚いたのは私達の動画もパクられたことです。

このことについて、他業種の方々に聞いてみると、「そんなの当たり前です。」という回答でした。最近そう言ったのではなく、時計のROLEX、バッグのLouis Vuittonのパクリの歴史は50年以上も前からです。さて、ここでとても嬉しい情報です。

先駆者である本物は、パクりにどんなに安売りされても、絶対に負けないという事実です。真理です。パクりは自然消滅していくというのは、大自然の摂理であるということです。「すべては神の配慮によって起こっている」とする思想そのものなのです。

ですので、本物を作ったらそのまま突っ走れば、間違いなく成功するということです。



盲目的に空手に熱中していた若いときに「何か役にたつの?」「どうなりたいの?」と上目線で言ってくる人がいました。

自転車、車、バイク、登山、エアガン、トレーニング……も同じです。

馬鹿らしくて、そんな質問にはあまり答えたくないですが、「楽しいから」と素直にいいます。人生は楽しんで、幸せだなぁと思うたもんが勝ちです。

これ以上の答えはありません。

私が大好きな言葉

「何より大事なことは、人生を楽しむこと。幸せを感じることにそれだけです。」

オードリー・ヘップバーン 1929-1993

※ ※ ※ ※ ※

この世には、人知を越える高度な知的生命体が存在する。

物理的存在ではなく、意思だけの存在でありエネルギー体である。

神韻縹渺たる気が存在する。

大きな力を持つ全知全能の優れた気である。

宇宙の創造作用と人間の思考作用は一つのもの。

中村天風

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

楽しいことをすればするほど、  
ブラック企業になる。

∞ ∞ ∞ ∞ ∞

お正月は、一年で一番ひとりになりやすい時期です。

ひとりの時間はとっても大切です。

自分自身を認めて、許してやり、ねぎらってやってください。

そして、たくらんでニヤリと笑ってください。

ひとりの時間をコントロールできると、人生が良くなっていくのは当然です。

「心の思考が人生を創る」

※ ※ ※ ※ ※

日本人に生まれてきて良かったです。日本は殆どの人が教えない神道の中で生活しています。教えではなく生活の中に普通に神道があります。「お天道様が見ているよ」「ご飯粒は最後まできちんと食べなさい」などなどです。

日本には八百万（やおろず）の神が、いました。 8000000です。凄い数の神様たち。だから、あとからキリスト教が入ってきても、8000001になるだけだから、どうってことはないのです。だから日本人は異教徒を簡単に受け入れてしまいます。 クリスマスの後に正月の神社参りは普通なのです。

ただ、日本の神様が考える仕事は喜びです。キリスト教は罪の償いです。カトリックでは、聖書の中で、働くことは人間が生まれながらにして持っている罪を償うための罰なのです。

日本社会では、知らず知らずに神道のなかで仕事に楽しさや喜び、やりがいを見出したい、あるいは働くことを通じて価値観や自分らしさを追求したいと思っている人が多いのです。私は仕事は喜びとする神道の日本に生まれてきて本当に良かったです。

知人が勤める会社では、飲みに行くのは一番早くて19時。実際に近くのお店で乾杯できるのは19時半から20時。17時なんてとんでもない、と言います。

えええ〜？！ 私達GMは乾杯が17時というルールなので、驚いてしまうが世の中を見ていると私達が異常らしい。時間が遅いのは、会社の生産効率が悪いからです。

生産効率＝仕事の効率化＋サービスや製品開発 であることは間違いありません。

生産効率が悪く長時間労働しなくてはならないということは、仕事の効率化も製品開発も何もやっていない証拠なのです。つまり、世の中のためになっていないのです。今や長時間労働している会社は、世の中にとって価値がない会社なのです。理由は会社での時間ではなく、自分自身の時間があるかどうかです。

昭和の時代には長時間労働は価値があり美しいものでした。 どうかやら世の中の方がその会社よりも進化と向上をし、インプルーブしてしまつたようです。

ただ、ハードワーキングは今も昔も必要です。時間ではなく知的ハードワーキングです。そのためには仕事時間以外の個人の時間を何に使うかが大事になります。つまり、自分の時間を自分でコントロールできる人と出来ない人の差が、人生の差になるのは当然と言えるでしょう。

※ ※ ※ ※ ※

学生時代の成績が良かった人、学歴が良い人は、今も昔も根性無しが多いような気がします。

大東亜戦争時の海軍幹部の本を読んでいると、明治期の武士（江戸時代生まれ）のような海軍幹部とは全く別人です。

全く現場に出ず必要なときに大和や武蔵を使えなかった弱い山本五十六に対し、高陞号事件で英国は驚き、日清戦争、ハワイ事件、旅順艦隊、バルチック艦隊、自ら現場に立って全てを完膚なきまで打ち破っているネルソン精神をもった名将東郷平八郎。

その差は何かと言うと、諦めやすい人間であるかどうかということ。

私の廻りにも学歴が良い人は諦めやすいひとが多いのです。そして一度諦めたらそれが習慣となっていることに気づきます。

ビジネスでは諦めたら全てがアウトです。諦めなかったら起死回生できます。

※ ※ ※ ※ ※



必死に頑張ってみてもうまくいかなことがある。でもそれは当たり前です。

本人は、もうどうしたら良いかも分からない。

ここで燃え尽きる人がいます。実は全て学歴のうえで頭がいい人です。いわゆる「燃え尽き症候群」です。

おバカな私には、経験したことがあります。しかし、ハッキリ言わせてもらえば「燃え尽きる」？ バカヤロウ！甘えてるんじゃないよ！と。頑張ってもうまくいかなことがあるのは当たり前なんです。

自分でもそれが分からないときがあります。でも「うまくいなくてもそれは当たり前なんだよ」と教えてくれる人がいる。

これこそが教育であり、この教育こそがとても重要なのではないでしょうか。

※ ※ ※ ※ ※

ビジネスがどんなに成功しても歳を取ってしまいます。

歳を取った人は、若さが買えるなら3億円だって払うでしょうね。

だから、若いということは3億円もっているのと同じです。

40歳でも、私から見ると20歳以上若い。私も40歳に戻るなら3億円払います。

ただね、その歳は使わないと無くなってしまいます。だから、歳を今、使いましょー！

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

女性は年齢の話になるとかなりシビアになります。男も女も年齢の話で簡単に凹む人がいます。しかし、年齢なんて市役所の登録にある数字にすぎません。いわば紙切れなのです。

他人が見た年齢こそが、その人の年齢です。そして姿勢でも年齢は変わりますし、話している内容もその人の歳です。見た目の年齢、頭の中の年齢、体力年齢、下半身（笑）、そして実際にやっていることの年齢です。もちろん少しずつ人は歳をとります。そして過去と比べて「年取ったなあ」と言いますね。老いたことを嘆いても年齢は若くはなりません。

でも、これからの人生の中では今日が一番若いのです。過去のことを「若い頃は」と言いますが、いつか今の現在のことも「若い頃は」と同じように言っているのです。

今が一番若いとわかったら、今やりました。今！

昭和の時代は、真面目に生きることが高く評価された時代でした。だから私は、なんて面白くない時代なんだと世の中に反発してました。

そんな時代だからこそ、奥さんが5人いるという先輩がカッコイイなどと尊敬していました。5軒の5人の奥さんは全て美人で、彼女らは旦那の仕事が何をしているのか皆知りませんでした。しかし、財力ではなくいろいろなパワーがもの凄い。

浮気をしたとかしないとかで、真面目かどうかを決めてはいけません。

世の中の普通の真面目な人は、仕方なく会社へ行き、仕事をして、同じ時間に帰ってきて、テレビを見て寝る。

これを真面目というのでしょうか？ よく女性は真面目な人がいいと言いますが、実際にはどんな人なのでしょう。ほどよく真面目ということでしょうか。

私は真面目とは、夢を持って、それに向かって走っている人のことを言うのではないかと思えます。つまり真面目な人とは私のような人を言います。(大笑)

若い頃は、一年が長かったのに、歳をとるとあっという間に一年が過ぎていきます。これは、経験、体験がそれだけ増えたということです。今までの経験、体験の中だけで生きていくとすれば、知っていることやったことばかりなので、何度もルーティンとして繰り返しているだけになり気持ちの中で時間だけが過ぎていくという事なのです。

若いときは、あらゆる経験や体験が新鮮で、強烈なイベントと感ずることが盛りだくさんなのです。

だから、歳をとったらもつと新しいことをしなければなりません。バンバン新しいことをやったり、行ったことのないところへ行きましょう。一年が早いと感ずたときは、自己反省です。

さて、今年が時がゆっくり流れるような一年にするぞ！



悲しい人生の徳川家康。人質生活10年以上。桶狭間の戦いが終わったあと家に戻ると父が殺されています。信長からは、家康の息子に謀反の疑いがあると信長から、嫁さんと長男を殺されました。

ある会合で豊臣秀吉が「自分は刀をはじめ天下の宝をたくさん持っている」と自慢を始め「皆はどうか？」と諸大名に聞きました。諸大名は負けじと様々な名宝の名を挙げていきます。

「家康そなたはどうじゃ？」 「自分は田舎育ちで珍しい品などありません。しかし、私には命も惜しまずに働いてくれる者が500騎おります。これこそが家宝であります。」と

『人こそ宝である』

家康は物心ついたときから、家族のぬくもりを味わったことがありません。そんな家康の名前の変遷。

竹千代↓元信↓元康↓家康 最後にとどりついた漢字が「家」

人こそ宝。その基本である家族や家に対する自らの名前を「家康」に込めたのではないのでしょうか。

のちのちの将軍の名前も家が多くついています。家光、家綱、家宣、家重、家定、家茂・・・

徳川家は15代にわたり260年以上も政権を維持できました。

家のありがたさを感じ、家がいずれ力になるときが来る。

家はチームです。家康に習ってこう考えましょう。チームガードナーは人こそ一番の宝だと。

※ ※ ※ ※ ※

イジメで自殺する子供がいます。本人は本当に辛かったでしょう。悔しかったでしょう。悲しくて悲しくて  
ニュースを見るのも辛いです。殆どの親は学校に対して苦情をだします。でもイジメは学校で解決できません。  
絶対にできないのです。親が学校に行っても解決できないどころか、あいつチクリやがったと益々イジメはひ  
どくなります。無視されることもあります。

だから、親は本気で子供を守るために必死で立ち向かわねばなりません。

そのことをしっかり子供と向き合います。この親なら自分を守ってくれる」という信頼を親は必死で勝  
ち取るのです。子供に「頑張つて学校に行け」なんてことは言っはいけないのです。廻りに頼りにできる大  
人がいない子供は本当にかわいそうです。

「俺はお前の味方だ」 「今は休んでも大丈夫、人生は今から長い」 「いつでも引越しても何でもする」  
決して甘やかせるのではなく、しっかりしたコミュニケーションが必要です。ですので、学校に頼るのではな  
くて、親が全てです。まず子供が心の底から信頼する親になることです。心の底から信頼し、子供がそれをし  
っかり感じる事ができれば、自殺なんて絶対にしません。

イジメで自殺する子供の親は、やることをしっかりやっていない無責任な親です。親が悪いのです。

※ ※ ※ ※ ※

自分の好きなものを食べると神経作用が消化機能を促進し、十分吸収してくれます。好きなものを口にすると唾液や胃液が多量に分泌されるのです。ですから、第一に考えるべきことはその人がその食べ物を好きかどうかということ。特に、病弱の人に対して、含まれている栄養価だけを基準にし、本人の好き嫌いなどを考えずに無理に食べさせようとすることは間違いです。

ただ栄養価のみにとらわれると身体に無理をさせ、活力の減退を引き起こします。

私の場合の極論を言いますと、80代にプロテインは美味しくないから飲まない。ビールの方が美味しいからそれを飲む。と言っていました。パワーリフティングでは全日本選手権に出場してました。

本人が美味しくもないものを無理矢理食べているということは、生き方も同じようになります。

やりたくもない仕事を無理矢理している状態で、やってはいけないガマンをしていることと同じです。神経系統はそれに慣れてしまい、面白くない人生を歩んでしまいます。

みなさん。食べたいものを食べてください。節度さえ分かっているならば、自分を許し自分にご褒美を与えることはとっても重要です。



空手を始めて3年くらいたったときが、一番殴り合いのケンカしていたと思います。若いし生意気だし、何よりも自分自身があまり強くなかったからです。やがて、廻りには凄い人間がいるもんだと分かってくると謙虚になってきます。

だから、本当に謙虚になるまえに強くならなくてはなりません。生意気な時期は、それだけが大きなエネルギーになり、本当に強くなっていくのです。

生意気はエネルギーなのです。生意気は若者の特権です。生意気な若者はとってもカワイイのです。生意気な若者と呑みたいなあ。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

小学校、中学校、高校・・・先生からいつも褒められている生徒がいましたが、そのような生徒は絶対に出世しません。

だって、先生の常識の枠の中にいる証拠です。

私はいつも見下げられていました。つまり枠外にいる生徒・・・期待大です。

こんな生徒は叱ってはいけません。大人の目線で期待してください。

なんと、この期待感の子供に伝わります。ビンビンと愛となって伝わるのです。枠外にいる子供はとっても

楽しみです。期待してください。

※ ※ ※ ※ ※

子供ときは、大人になったらこうなりたいという夢がありました。子供ですから、誰しもテキストです。しかし、大人になって「いつかやろう」というのは嘘です。

いつかやろうと思ってはいるのですが、どこか無責任で具体的日付もありません。また、スタートがきれない理由を探していたりします。

思い立ったときが、一番熱くエネルギーが充実しているときです。

その思い立ったときにスタート出来ない人は、ずっと一生スタートできません。

冷静になればなるほど、熱も冷めてしまいます。

夜中に書いたラブレターは朝になるととてもじゃないけど恥ずかしくて出せません。

でも、その恥ずかしいラブレターをもしも、エイヤツ！で出していたらその結果を覚悟を決めて待つことができます。

私達の会社の社訓にあります。「見る前に跳べ」



アフリカのタンザニアでの幸せとは、「一日に二食のごはんが食べられる」「ただいまと言ったら、おかえりと言ってくれる人がいる」ということだそうです。そこに住む人達の幸せがずっと続いている村です。寝る前には子供に必ずこう聞くそうです。「今日はどれだけ小さな幸せを見つけたか？」とつても素敵な村です。その村の村長さんがそのような教育をしているらしいですが、その村長さんはかつて自分のおじいちゃんから教わったことを伝えていそうです。ではそのおじいちゃんは誰からそんな素敵なことを教わったかという、なんとその感性は日本人から学んだというのです。かつての日本人は呼吸ひとつにさえ、喜びと感謝を感じていたのだと。

実は、江戸時代や明治初期の頃の日本人は幸せに生きる天才だったのです。当時の日本人は海外の人達から「日本人は幸せで満足している」「日本人はいつも上機嫌」「顔が生き生きしている」と評されているのです。

黒船来航のペリー提督しかり、イギリスのオズボーン艦長も「不機嫌そうな顔には一人も出会わなかった」と言っています。フランスの作家も「日本人ほど愉快になりやすい人種はない」といい19世紀のタイムズ誌には「誰の顔にも陽気で幸福感、満足感そして機嫌の良さがありありと現れている」と記されています。

そのころ、日本人の生活は貧しかったにも拘わらず、日常の小さな幸せに大きな喜びを見いだして、それを味わう感性があったからです。いま、ここを丁寧生きて、なおかつ、くつろげる心の状態を保っていたんでしょうね。

江戸時代と明治初期は、日本はそんなゴキゲンな国だったのです。ところが現代ではその感性が失われつつあります。過度な情報に流されて自分を見失い、日々を上機嫌に生きているとは言いがたい状況。でも、私達の先祖から受け継がれているDNAは上機嫌な生き方が刻まれているはずですよ。（編集済み）

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

上機嫌に生きる生き方の一つが呼吸です。呼吸を意識することは心を意識することに繋がります。

人間は一日に何万回もネガティブな考え事をしているらしいです。これを簡単に抜け出す方法はズバリ「呼吸」です。呼吸法などと難しいことは全く考えなくていいです。

「吸う」と「吐く」。自然な呼吸にただ意識を向けるだけです。それを繰り返すだけで不思議と呼吸が深まり、心が静まっていくのです。雑念がわく自分を責める必要ありません。ただ呼吸を見守るだけです。じっくりと心分間意識を向けてください。「息」とは自らの心と書きます。息とは自分自身の心なのです。その呼吸で宇宙と自分の身体が繋がっているのを感じます。

深く腹で息をすることは、日本人の文化に根づいたものです。能、歌舞伎、狂言、詩吟・・・いずれも息の芸です。

呼吸するときの心のイメージはこうです。「息を吸って私は静か。息を吐いて私は微笑む。」これを三回やるだけで穏やかで優しい気持ちになります。

※ ※ ※ ※

私は自己反省は面白くないのでしません。

ただし、世の中が悪い、会社が悪い、環境が悪い、親が悪い、アイツが悪いと言っている人は、猛烈に自己反省してほしいです。

反省したら、ただただ動くことです。前に進むことです。面白いことが待っています。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

本当に辛いときに、本当の身方は、やっぱり自分だけなんですわね。

その自分が今まで何をしてきたか、それこそが自分自身です。

過去を振り返らずに生きていくために自分を応援してくれるのは、やっぱり過去に何をどれだけ、きばったか。なんです。

だから今が大事なんです。

今、辛いと思うなら間違いなく成長しています。

だからニヤリと笑いながら辛さを楽しんでください。だって時がたてば大したことないっていうふうには消えるじゃないですか。

いままでも辛さはキレイに消えてきました。

※ ※ ※ ※ ※



バルセロナとアトランタの二回のオリンピックでメダルを獲得した女性マラソンランナーは「有森裕子」ただ一人。

最初は高校生よりも遅く、小出義雄監督も最初はずっと無視していたようです。

ただ、彼女は「他が1時間練習するなら、私は2時間やります」という、情熱だけは人一倍です。人は出会いで生まれ変わります。 どうすれば最高の人と出会えるのでしょうか？

その方法はたった一つしかないんです。 共鳴することです!!!

最高の人と才能や技術や知識で共鳴はできません。だって相手は最高レベルでこちらは素人なのですから。最高の人には、その思いで共鳴するしかないのです。その共鳴することを志とといいます。

彼女がメダルを獲得できたのは、その努力にあります。自分の努力だけではたどり着けない高い次元に行くには最高の師匠との出会いが必要だったのです。その小出義雄監督自身も自分の家族よりも陸上世界一を選んだ。そんな小出義雄監督には、有森裕子、鈴木博美、高橋尚子がやってきました。

共鳴で人は集まるのです。

浪人の坂本龍馬、浪人とは今で言えばフリーターです。そんなフリーターがなぜ雲の上の存在である幕府軍艦奉行の勝海舟に会えたのでしょうか？

それどころか、弟子入りしてしまいました。

それはやっぱり、共鳴したからです。塾に行っても断られるほどきの悪かった坂本龍馬は、志を強く震わせ  
て勝海舟と出会ったからです。

つまり、共鳴は自分の人生を変えてくれる「どこでもドア」なのです。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

初めて会う人との会話は、自分の話か相手の話になるが、やっぱり相手の話をしっかり聞きましよう。意外に為になる話が多いものです。

お坊さんにあったら、宗教のこと。建築関係であればその業界のこと。□関係であれば、分かる範囲で教えてもらう。料理人であれば料理の話聞く。それこそが出会いなのです。自分が明日へ進む何かに繋がります。決して知ったかぶりをしないで素直な気持ちで聞いてみる。

自分の自慢話しているより、世界は広がるし楽しい。例え自分がそのことを知っていても、一応ちゃんと聞くのが重要です。相手の自慢話は面白くなくても、その心の内側をサグリながら聞くのです。楽しいですよ。そして何よりも、旅先では相手の話こそが一番重要な一次情報なのです。

吉田松陰は、いつも「僕のものとはみんなに分け与える」という生き方を貫き通しました。もらった肉まんを  
〇〇人分に切って分け与えたという話もありますが、一番は彼は日本国のことになると夢中で皆に語って聞かせたということです。わずかに〇〇歳の子供にも夢中で語り、逮捕されても獄中で夢中で語りました。そう、夢中で語れるものってありますか？

夢中で1時間語れるものをもったとき人は変われるのです。人は語りたいたいものにあふれたときに目がキラキラ光り出します。あふれたときに人は人に分け与えたくなるのです。あふれているから仕方ありません。そのとき、人は本当の自分になれます。

分け与える・・・これは「人が集まる会社」を作り上げるためにとっても重要な要素です。社長は全スタッフに分け与えます。お金も時間も、そして志も。

そして、そのスタッフは全員、目がキラキラしているので、なんか面白いこの人達ってなり、そのスタッフにも人が集まり始めます。

異性から見てもムチャクチャ魅力あります。

さあ、夢中で1時間語れることを探してください。

※ ※ ※ ※ ※

老後に大事なものはお金だけだという人は多いです。もちろんそれは否定しません。でもお金さえあれば良いかという、それは違いますね。

まず、一緒に酒を飲んで面白い友だちです。これがないと人生は8割がた価値がありません。何を食べるにしても「うめ〜。これうめ〜。」と共有できる幸せです。バカ騒ぎできる友だちです。

同様に同じ趣味の友だちです。できれば人に言うのが恥ずかしいという趣味がいいです。つまり、他人からは理解できない趣味です。

私は嫁さんからは「重たいものを上げたり降ろしたりして何が楽しいん？」と上目線で言われます。やっている私も「暗いスポーツに見えるんやろうなあ」と思いますが、これがやめられないんです。私の人生の9割を占めていますから。

友だちの次に大事なものは、健康な筋肉です。私が好きなのはパワーリフティングなどではなく、しっかり遊ぶことができる筋肉です。特に足です。

動ける筋肉はお金と同じくらい大事なものです。

お金、友だち、遊べる身体があればいいですね。

※ ※ ※ ※ ※

個人納税額は日本一だという齋藤一人さんは、「ツイてる」と毎日言うと言います。嬉しい 楽しい 感謝してます 幸せ と言いなさいと。バカみたいな話ですが、私もそう思います。

その通りに言っただけダメだったという人もいますが、その人は理屈っぽくて、これじゃダメだと私自身が言いたくなる方でした。

「幸せだなあ」と口にすると言います。「嬉しいな」と言うと言います。間違いなのは、人間は心が判断するということです。自分でマインドコントロールをすると、お金では買えない素晴らしさを心で感じます。

心がそう感じると、宇宙の法則で一番強い法則、引き寄せの法則で実際にそうなるのです。かわいそうに、このとんでもない力をもった法則を信じない人が世の中にはたくさんいます。

大きな声では言えませんが、間違いなくその人の人生はうまくいっていません。およそ8割の人達です。

目標が高いと、それなりの準備をするのが常です。

私がやったスポーツは、空手とパワーリフティングですが、両方とも全日本選手権に出ようと思った瞬間、身体が全日本レベルになってしまっていました。

練習量はもちろん違いますが、当の本人は目標を大きくしただけで「なんでそうなったのか絶対におかしい」と感じてしまっています。

幕末の志士を見ているとそれがハッキリ色分けできるのです。あの当時の志士は新しい日本を作るために江戸幕府を倒そうとしていました。

ところが、その志士を横目にとつてもない大きな目標を抱いていたのが坂本龍馬です。大政奉還を行った幕府に代わった新政府に対して、従来の大名を主とする人事を決められる立場にいた坂本龍馬は、その役職に自分自身を入れませんでした。

龍馬は「世界の海援隊でもやりますか」と言って黒船に乗って貿易をすること。つまり世界で遊ぶことばかりを考えていたのです。

「あの黒船、めっちゃ欲しい」と彼は言い続けていました。幕府を倒したその先の自由な世界で遊びたかった。世界で遊ぶために身分制度を壊し、世界で遊ぶために江戸幕府を倒す。

つまり、つまり、夢、想い、志、希望、目標 . . . . . なんか重々しいのです。もっと力を抜いて、

誰よりもポップで軽く、誰よりも遠くを見て、誰よりも遊びながら余裕で通過する。

龍馬は最初に土佐を脱藩するときに、周りに次のように言っておかけた土佐では伝わっています。

「桜を見に行く」 そのまま土佐を抜けて見つければ死罪となり、坂本家もお取り潰しになってしまうという脱藩をしました。

なんとカツコイイ漢なのでしょね。

※  
※  
※  
※  
※



私には、モノづくりでたくさんアイデアがあります。次から次からアイデアが出てきます。周りの人達は、凄いなあと言いますが自分はそう思っていないません。

なぜなら私はアイデアを徹底的にパクっているからです。丸パクりするのではなく、アイデアを盗んでから何か他のモノと結びつけているのです。

自分で少しばかりのエッセンスを足せば、凄いアイデアになってしまいうのです。廻りは天才だと言ってくれます。

凄いと思ったアイデアは、コッソリと、じっくりと盗んでから自分で温めるのです。

そのためには、いつも家から出て、会社の外に出て歩きいろんなところを見て廻るのです。何かパクるものはないかな〜と。

スペインと南フランスを旅して廻ったピカソが言いました。

「優れた芸術家はマネをし、偉大な芸術家は盗む。」と

私達の会社案内はひとり旅に役に立ちます。皆さん是非ひとり旅には会社案内を持参してください。

ひとり旅をしているなかで私達のぶっ飛んだ会社案内はなかなかのモノです。出合いのなかで凄いパワーがあります。

コロナショックで元気がない暗いこの世の中には、この会社案内を見てもらうだけでも元気を与えてしまっているようです。

益々、私達は「真剣にぶぎける会社」を具現化しなくてはなりません。

それこそが、目の前の会社の使命なのだとは私は確信しています。

想像してみてください。ぶっ飛んだコーポレートサイト、何もかもが凄いスペースの会社、強烈な会社案内。そうしてそこには、皆が明るく笑っています。ホントに楽しいです。

以前、福岡の中洲にある高級クラブにお客様から連れて行っていただきました。たった4人で2時間で80万円のお支払いをされていました。ドンペリP2と言われるシャンパンが一本20万円という、中洲ではとびきり有名なロイ○○ボックスという高級クラブです。

結果、、、全く面白くありませんでした。いえ、飲みながら腹ただしくなっている自分がいます。

お金を持っているからとはいえ、この人達は単なる成金で、人格的に話題が客層が悪すぎますし、低俗です。いえいえ貧乏人のヒガミではありません。なに？この不快感は？と酔えずに自問自答していましたが、やっと分かりました。お金の使い方です。たくさんお金があるからといって、不愉快なお金の使い方をされている方が多かったです。

とっても良い勉強になりました。と同時に何だかその成金のお客様達が可愛そうになりました。いえいえ、他人を卑下する立場ではありません。

実は、多かれ少なかれ、会社や社会のなかでそのようなことがないことを自分で省みる必要あります。

経費とは言いながら、不愉快なお金の使い方って100円でもしてはいけません。逆にたった100円を快適に使うことって、とても重要だと思います。

改めて自分自身を省みます。

※ ※ ※ ※ ※

バリバリに稼ぐ年収1000万円のサラリーマン。そして年収の低い100万円のサラリーマン。実は、能力差は、ほとんどないのです。

その差は、その人がいる環境なのです。年収1000万円の人は1000万円稼げる「環境」にいるから稼げているのです。

ここに目を背けてはなりません。能力よりも環境が重要なのです。素直な気持ちでないとここは見えてきません。

逆に能力がとて高くて年収1000万円の環境にいたら、それ以上に稼ぐことは出来ないのです。

私も以前は、サラリーマンの中にいて、ここに気づくまでかなりの時間がかかりました。その環境になったらしっかかります。

ですので、サラリーマンで一番良い方法は自分だけではなく、自分も廻りも同じ環境にしてゆき、廻りの皆と共に進化と成長を繰り返していくことが大事なのです。

世の中の大きな流れとしては、事業家もサラリーマンも同じです。



私は生まれてこの〇〇歳になるまで、苦勞して頑張ってうまくいったことがありません。というより、無理して頑張ったことがほとんどないのです。学生ときも無理して勉強したことがありません。社会人になってからも、やりたくない仕事をやらされても、まともに取り組んだことがありません。いつもいつも上司に怒られて、「オマエは、なんで覚えろうとしないのだ？」という質問には、「だって、おもしろくないんです。」という返答をしていた〇〇歳台でした。熱を入れて取り組んだ空手やパワーリフティングも頑張ったことがありません。痛くて苦しかったけど、大好きで没頭しただけです。強く愛しただけです。

そして、〇〇歳を超えた今でもやりたくない仕事は、絶対にやらないと心に決めてます。もちろん、廻りの人に助けられているからそれができるのです。ただ、ワガママを言うだけではなく助けてくれる人を作るのは必要です。

ガードナーは、皆が没頭できる仕事をして欲しいです。そして、自分が不得意な仕事はお互いが助け合える環境にしたいのです。これは会社が管理してできることではないと確信しています。

頑張るって言葉はあまり好きではないですが、頑張ったら自分自身が確かに「成長」しているんですね。だから、頑張っても成功しなくても、「成長」は約束されているのです。

ビジネスでは、いつも「成功」か「失敗」かにこだわりますが、私がいつも言う、「行動すれば次の現実」というのは、間違いなく自分自身は前進していることが分かることなのです。

だから、動くのです。行動した方がいいのです。100%間違いなく自分は「成長」しているのです。迷ったら「動く」という基本原則は、人生の中でとっても重要です。

※ ※ ※ ※ ※

私は、「アイツは計画性がない」とよく言われました。廻りより絶対的な行動力があるからです。

私は、「飽きやすく、一つのことをやり遂げる力がない」と言われてました。いえいえ、実は柔軟性があったからです。

私は、一緒に皆と同じゴルフをしないので「協調性がない」と言われてました。つまり立派な独自性があったからです。

私は、「おっちょこちょいで慎重ではない」と言われてました。つまり、即断即決し行動したということです。廻りの批評はもう聞き飽きました。こうなると人の評価なんて、どうだっていいと思います。自分らしいのが一番いいじゃないですか。

みなさんには、いつも経営的感覚を持っていたきたいと思います。

ラーメンを一日で100杯が繁盛している店です。ラーメン店は、おおよそ60〜70杯が損益分岐点です。儲かっている一日100杯の店で試算してみます。

一杯700円とすると月売上は 700円×100杯×30日＝210万円（月売上）

平均的なラーメンの原価率は35%ですので、食材原価は73万円。

人件費例えば2人でやって社会保険も入れると安くて8万円、家賃安くて20万円、光熱費10万円、雑費5万円などを差し引くと利益は月に22万円になります。

そんな繁盛店も2人でやれば、大赤字なのです。だから、人は絶対に雇ってはいけません。

この感覚でいろんな業種を見てみてください。他の業種も大雑把ですが試算できます。難しいことはありません。この基本的な経営感覚をみなさんに持ってほしいのです。



中村天風会の会員になって既に4年たちました。今となっては、瞑想の基本ともなるインド、ヨーガの「クンバカハ」。

腹が立つこと、心配なこと、恐ろしいこと、ヤバイと思ったら、すぐ肛門を締めます。そして、おなかに力を込めると同時に、肩の力を抜きます。この三か所がそうした状態になったとき、心には感じて人間は平常心を保つことができるという、素晴らしいインドヨーガの哲学による技なのです。大勢の人前でいきなり話さなければならぬとき、普段あがってしまう人はこれをやれば全くあがりなくなります。

こんな簡単なことが、学校でも教えてくれませんでした。人生を生きていくうえでは、私は必須だと思っています。



事業がうまく廻っても、人生はいろいろ問題が起きてくるし、お金だけでは幸せにはなかなかない。

そんなときは、後は、「どお〜んと、いこ〜やあ〜」という気持ちがあっても重要です。「調子に乗ろう!」という脳天気になれることです。

これがなかなかない。凶に乗ってはいけない。慎重にならずにちやちやという小市民的な考えを持ってしま  
う人が多いのです。いや、慎重に小事を進めていくのはとても重要です。実際は、何も起こっていないのに想  
像して悩んでいる人は、取り越し苦労です。悩み事は起こってから考えればいい。起こってから解決すればい  
い。

なぜならば、人生を青天井に生きるチャンスが目の前に存在しているから。



高校生のときからの大親友がいて、ずっと遊び友だちで酒飲み友だちだったのですが、最近は全く会わなくなりました。酒呑んでいるときも、だんだん価値観が違うなと感じるようになってきて、面白くなってきたからです。でも、これはとても重要なことだと感じているし、皆さんにも伝えたいことです。

生きているうえで、仲の良かったお互いが離れていくと逆に良くなっていくということです。仲良かった人と話が合わなくなったり、距離を感じるようになったり、人間関係の行き違いって必ずあります。でも無理に修正したり執着しないことって重要です。去るものは追わない方がいいんです。

自分に合わない人は、他の合う人の所に去ってくれたと、感謝すべきなのです。

ですので、今、価値観が合う人と付き合うのが一番いいんです。そして、成長している自分自身を認めてあげてください。

何かを始めることは、恐いことではありません。一番恐いのは何も始めようとしなないことです。

その何かを始めるためには「思い込み」がとっても重要です。人生は思い込みが9割なのです。あなた自身がどう思い込んだかで人生は決まってしまうです。今の自分より、ちょっと背伸びしたら結果的にもっと良くなります。そのコツは「考えすぎないこと」です。よっしゃ、俺はこれで突き進むんだという、自己肯定感を思いつきりあげてやることです。それが、少し恥ずかしいことであれば、もっといいです。

秋葉原の、フィギアオタクやアニメオタクを馬鹿にしている人がいるけど、この人達の情熱をオタクを呼ぶとしたら、このオタクになれるのは本当に凄いことだと思います。私は、長いことパワーリフティングをしていましたが、これは立派なオタクです。

他人からの表面的な差別は「へっちゃら」なのです。



人生はかけ算です。

オタクと言われてもいい。どんな知識でもいい。マニアックなことでもいい。

ただ、それが「0」ならどんなチャンスがあっても、かけ算では意味がないのです。

人は何か一つくらい誇れるものを持っている。何でもいい。それを早く見つけましょう。

今の日本の学校は、その一つの誇れるものを見いだそうとする教育をしていないのが残念です。

なんでもいいのです。そうした上でやっばり才能がなければ、どうにもならないのですが、その上で努力しなければ、本当に才能があるかどうか分かりません。学校の先生はそこを生徒に教えて欲しいです。

何に対して努力するのか、どの部分にどれだけ努力をそそげばいいのかを見極める才能ってのが、まず最初に必要なのです。先生はそこを教えてくれると、一番良いです。単なるきっかけでもいいです。その才能を見いだして「お前は凄い」と子供に言ってやるのです。

ステイビー・ワンダーは盲目ながらも小学校の先生からたった一言音楽的センスを褒められたことが世界的スターにのし上がりました。ただヤミクモに汗水たらして努力したって、しょせんは自己満足。必ずしも報われるって保障はどこにもないってことも先生は子供の経験の中から教えていくのです。

それが先生というものです。

※ ※ ※ ※ ※

チャレンジは、多ければ多いほど成功するのは当たり前です。

「一回目で成功する可能性は100%だと思っけていても、実際は50%ですよ。ここでなんで失敗したかを学習しているわけです。ですからその次のチャレンジは同じ失敗はしないことになります。実際にどんな有名な起業家でも、伝記を読むと「そんなバカなことをやってたんですか？」という話が多いのです。

ですので、失敗する確率は1回目が50%なら、2回目はその半分の25%になりますね。3回目は12.5%の確率で失敗します。4回目は6.25%の確率で失敗ですね。つまり、4回チャレンジするだけで成功率は93.75%になるのです。

チャレンジ . . . . . もう、やるっきゃないでしょう！

※ ※ ※ ※ ※

頭がいい人の共通点は「難しいことをわかりやすく他人に説明できる人」です。

頭の良さというのは結局「説明力」なんですよ。だから本は読まないとその「説明力」はつきません。決して、論理的思考能力があるというだけでは、頭が良いとは言えません。ましては、学力や学歴や大企業に勤めていることではありません。こんな簡単な法則は、そのことが分かっている年齢に関係なくいつまでも向上していきません。本を読んで、その内容をわかりやすく説明できることが一番重要なのです。

※ ※ ※ ※ ※

ガードナー株式会社は、2016年(平成28年)12月1日に創業しています。なんと既に7年の月日が経っているのです。絶対にうまくいくという意気込みで始めたルームシャンプー事業は、思いもよらず私達に厳しい試練をいただきました。Googleカレンダーを遡って見てみると、いろんなことにチャレンジしています。これでもか?これでもか?これでもか?と。そんななか、ある建設リース会社が、総代理店になり、一億円分前金を払ってくれたのです。前金で一億円です。奇跡です。有頂天になって喜びましたが、それでも資金ショートは焼け石に水です。ですので一番精神的なダメージをいただいたのが資金繰りです。会社では一億5千万円の借金、個人では3500万円の借金です。そのうえで、売上が僅かしかないのに返済と固定費が毎月400万円いるのです。元々算数が苦手な私ですが、足し算引き算はできます。できますが、頭が廻りません。何よりも辛かったのは、銀行やリース会社に対する財務計画作成でした。頭ではバカバカしいとは思いつながら、毎日その資料作成しなくてはなりません。

下半身がマヒ状態になります。ですので心療内科に行きました。霊媒師に頼りました。その霊媒師の言う修業をしました。朝4時からゴミ拾いしました。とうとう何をしても良いのか分からなくなっていました。そんなときに中村天風の本と出会いました。むさぼるように約40冊の本を読みました。天風会会員になり世の中の真理と事実を信じ高潔なる理想を心に抱くことだけに努めようと。コロナウィルスが発生する2019年暮れまでは、地獄のような経営状況でした。そんなときに、私達の代理店様の一人が、私達の会社のあり方に賛同し



てくれて「5000万円あげます」と言ってくれたのです。あげますって……?????……はれっ?……??……はあっ?……ありがとうございます! って感じですよ。またまた奇跡です。今その恩人はチームガードナーで陰で活躍しています。

事実は小説よりも奇なりとはまさしくその通りです。この奇跡をチャンスにして2019年に大きく経営方針を変え、ルームシャンプーを手放し、新たな開発に向かうことができたのです。釣具時代に培ってきた製品開発こそが私の得意技です。空手を長年やってきたから特に思いますが、得意技ってとても重要です。

でも、本当に思います。この苦しい10年間は会社にとっても、私にとっても、とてもとても重要な時間だったと、その10年間があるから今のガードナー株式会社が存在しているのです。

それを考えたら、ありがたいありがたいありがたいとしみじみ思います。とても大事な時間だったと。

..

※ ※ ※ ※ ※

Facebookを見て、退屈だなあ、つまらないなあ〜と感じる話は、「俺はこう思う」という話です。感想とか解釈とかの話はつまらないのです。意外に、10が高い頭の良い人がこの話をしたがります。「俺は、この国に対してこう思う」立派なことを言っているようですが、所詮、感想を述べている評論家です。「俺はラーメンが好き」と言っているのと何も変わらないのです。とつても退屈です。よほど、知る人ぞ知る美味しいラーメンの写真がアップされ、食レポされた方が、とてもいいです。

人に話をするのは感想ではなくて「体験」「事実」「読んだ本のエッセンス」なのです。普通の人知らない、やったことがない、行ったことがない、読んだことがない驚きの話をいかにたくさん語れるかなのです。だから、勉強（読書と旅）が必要なのです。

神韻縹渺(しんいんひょうびょう)たる

この大宇宙の精気の中には、

われら人間の生命エネルギーを力づける活力なるものが、  
隈なく遍満存在している。

中村天風

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

一人で行くのが旅、二人以上で行くのが旅行と言いました。あと一つ旅の分け方があります。それは計画をたてて行く旅と計画を立てないで行く旅です。英語でいうと、前者を「TRIP」、後者を「JOURNEY」と言います。つまり目的が違うんですね。TRIPは連休やお正月にどこかに行こうというときは、時間や日数も限られているのでTRIPです。名所旧跡をめぐる旅であったり、食べたいものを食べて廻る、記念撮影をしたり、しっかりと計画を立てるTRIPです。一方、JOURNEYは、長く帰る予定がないような旅です。映画のような旅ですね。場所や時間ではなく、そこで起きることへの期待です。その期待を前提に時を過ごしていくものだと思います。計画していかない旅では、「突然」というトンデモハッポンという事件があります。雨風が強くて思わぬ足止めをくらったり、遅れたり、辛いこともあります、感動的な光景、面白い人と出会ったり、ビビツたりすることもあり、大笑いしたり、思ってもいかなかった出会いがあったりします。その旅が終わり振り返ったときに、いろんなことが自らの「糧」になっていることに誰もが気づきます。これがJOURNEYです。

ですのでJOURNEYは人生そのものです。ですから無理してJOURNEYしなくても皆が既にJOURNEYをしているのです。これまでの「糧」をヒントにこれから続く未来へのJOURNEYをより良いものにしていけば良いのです。人生はJOURNEYと違って、これから自分、どちらの方向に行きたいのか、何を経験したいのか、それをあぶり出す行為をビジョンと言います。より具体的になれば自分の人生(JOURNEY)はとっても楽しくなってきます。

※ ※ ※ ※ ※

さて、この JOURNEY ですが、最終的には人生の終わりに、つまり「死」に向かって進んでいます。誰もが有限の命なのです。もっとわかりやすく言うと命とは「自分が使える時間」のことです。その自分が使える時間は限りがありますよ。ということですよ。若いときには前途洋々で考えたこともなかったと思いますが、年齢を重ねていくにつれて、それは顕著になってきます。人によっては若いときから生きる時間を意識せざるを得ない人もいますでしょう。

その「自分が使える時間」について「俯瞰」してみましよう。少し遠くから見ると時間はいかようにもなるから俯瞰と言います。自分の人生が平均年齢くらいとして90歳としまししょうか？その時間を俯瞰して眺めてみて、今自分はどこにいるのかを感じましよう。

なぜ社長になりたいか？ なぜ独立したいか？ スタートアップしたい理由。最初の段階では、お金と時間です。これが自由になれば良いという単純な欲望です。でも、それでいいと私は思います。最初はそれですが、実際にお金や時間が自由になってくるころには、バリバリ仕事してますし、その仕事もより楽しくなっています。また新たな環境の中に自分はいます。そうして楽しい仕事にもっと没頭します。一般の人から見たらブラック企業にいます。そのうえで、税金をしっかりと払って、世の中のためにといいことを真剣に考えるようになります。社長はフラッグシップです。会社社長 なのです。下手なことはできません。いろんな人を守らねばなりません。以前の自分とは何かがしっかりと変わっています。

さて、私達GMホールディングス株式会社は、最初にお金と時間がかかり、大きなトルクが必須でリスクがいっぱいだというスタートアップを応援したいと考えています。

All you need あなたの欲しいモノ全てを全スタッフに与えてやるのが私の仕事だと考えてます。そうすれば、無理して独立しなくて済みますし、会社を辞めなくて済みます。お金に苦しむこともなくなりません。

何よりも、廻りには一緒にインプルーブしている仲間がいて、それを祝ってくれる仲間がいます。

ですから決して起業するのが目的になってはいけません。起業して事業をうまく回してどのような人生を歩むのが目的です。

GMホールディングスのチームは結束を固めた状態で大きくなれます。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

発明、発見は筋書きのないドラマです。 けっして教科書の中にはありません。 いろんなことが起きます。 ま  
ず、たくさん失敗します。 すると普通の人は落ち込みます。

でも、発明、発見の多い人は、ホラを吹いて自分自身を鼓舞します。 ホラは目標の高さなのです。 これほど  
ドラマチックな人生はありません。 だって毎日そうするんですから。

※ ※ ※ ※ ※



このアメリカインディアンの言葉は真実です。

「父が無知なら貧乏になり、母が無知なら病気になる」大人になると学ばない人が増える。

いつか生まれくる自分の子供を幸せにするためにも、自分のためでもいい。大人こそ、大いに学び続けるべき。

父親と母親こそが、できるところから始めましょう。しっかりした収入があれば、お父さんの役割が変わってきます。汚染された食から、家族を守ることができるのは、お母さんの知識にかかっています。

父に知識と智恵があれば豊かになり、母に知識と智恵があれば健康になる。

15世紀にイベリア勢力からとんでもない侵略を受けたアメリカインディアンの思考はとっても深いのです。

どんなことを最良の生活目標にすべきかという「自分自身の本心良心の満足」です。

言い換えれば「創造の生活」です。単にモノづくりのことではありません。わかりやすく言えば、常に「人の世のためになることをする」ということを目標とする生活です。主婦だったら家事もそれにあたります。会社員だったらまず仕事でしょう。

そのなかで、それを現実化するには、自分自身の本心良心にいつも接していることです。どんなことがあっても自分の本心良心に従うことです。どんなことがあっても。

そうすれば、満たされない欲望や落胆や焦燥、煩悶というものが絶対になくなります。

※ ※ ※ ※ ※

佐賀県の自動車修理工場、馬場ボディの馬場社長、映画「永遠の0」に出てくるゼロ戦を作った人です。そのゼロ戦は鋌（リベット）一つからコクピット内部まで日本一精巧に作られています。彼はムチャクチャなハードワーキングで会社設立50周年を今年迎えます。今年26歳。私より一回り上の尊敬する大先輩です。毎朝7時〜夜8時までが自動車修理工場の仕事で8時から自分の好きな仕事です。佐賀県の田んぼの真ん中に高いエッフェル塔を作った人で、溶接作業で7年半かかりましたが、毎年溶接をしながら7年間毎年、除夜の鐘を聞いたと言います。

スプレーデザイン画ではマリリンモンローを描いてニューヨークで最優秀賞を受賞、毎朝500回の腹筋運動、100回の腕立て伏せ、そして、現役の棒高跳び選手。今でも、佐賀県大会に高校生や大学生に混じって出場、選手なのに「監督は整列の外に出て」と注意を受ける始末。そんなパワフルじいさんに私は大きなリスペクトをしています。

また、直方の働き者の72歳のパン屋を経営するおじいさん。毎朝3時起きで数十年。この人も超ハードワーキング。三年前、パン屋を畳むというので「隠居ですか？」という問いに、「まだまだ私のパンは未熟なので、来月からパリに修業に数年間行ってきます。」と言って本当に旅立ちました。やっぱりこれも大きなリスペクトです。感動です。世代なんて関係ないのです。

世界のHONDAの創業者本田宗一郎が、まだ小さな町工場だったときの奥さんとの会話「かあちゃん。うちの従業員は皆辞めたんかいな。」と本田宗一郎。すると奥さんは「お父さん、今日はお正月で皆お休みよ。」「そ

う」という素晴らしい会話。どれも世代を超えた共感です。時代や世代は関係ありません。ハードワーキングする人に共感とリスペクトが集まります。そして人が寄ってきます。つまりできる実業家は100%ハードワーカーなのです。

土日休む人は、実業家として成り立たないのはいつの時代も同じです。でも、上司や社長に言われて土日に出る人はもっとダメだと思います。土日に休む人は普通のサラリーマンです。それが退屈だという理由は、自由ではないからです。自由人は土日祭日でも自由に働いて、自由に休みますし、飛び回ります。私自身もそれを実行していますし、皆さんにも自由であってほしいなと心から願っています。前記のエキサイティングじいさんに刺激を受けていたきたいです。自由の中にこそ幸せがあることに気づいた人は、素晴らしい人生を送るに決まっています。

自分は、まだまだ実力が無いと言いながら、それを言い訳にして動かない人が多いです。ところが、実際にいろんな人に会ってみると、完璧な人って、あまりいないことに気づきます。あの人は凄い！と言ってみたところで、確かに部分的に凄いところもあるけど、やっぱり抜けているところもあり普通の人だなあと思ったりすることも多いのです。

それを一度感じると、いろんな人に会うことが気楽になります。つまり気楽に動いてみる事ができるので

動いてみると良くも悪くも、それだけ摩擦が大きくなってしまいます。摩擦は熱を発生してしまいます。この熱を「行動力」と廻りからは見えてしまうのです。はたから見れば、その熱は輝いて見えます。うらやましいと思います。しかし、本人は熱くて気持ちよくてたまらないのです。

若いときは、恥ずかしいくらいにバカなことばかりしてました。旅行、映画、読書、音楽、下手な人間関係、そしてペーペーのときの辛いだけの仕事。どれもうまくいかなかった記憶があります。失敗ばかりしてました。恥ばかりかいてました。でも、今になってみると、そのことがとっても重要であることに気づきました。若いときにやった体験や経験そして知識が、〇歳を超えて助けられることがとっても多くなってくるのです。ですので、若いときは貯金などしてはいけません。自分の経験のためにドンドン使って経験値を高めていくのです。

その若いときに使ったお金は、現在10倍以上になって返ってきています。ですから私はそのことを若い人達に伝えたいのです。

歳をとればとるほど人生は面白くなっていくことを、自分の体験談のなかで伝えたいのです。ほとんどが失敗談ですが。(笑)

最近、人生がうまくいっている人を見ると、毎日の目の前の生き方のとらえ方が違うなあと感じています。簡単に言うと、素直な人、謙虚な人、前向きな人、明るい人がうまくいっているのです。頭のいい人、スキルの高い人よりも自分を上手にコントロールできて、何が起きてもプラスの方向に転換できる人が良い人生を送っています。

いつもやる気に満ちあふれている人、その人はいつも「機嫌がいい」のです。その人は機嫌がいいときと悪いときがないのです。

Simple is Best！ シンプルな人生は、とても強いのです。

& & & & &

スピード スピード スピード

これこそ私達が一番大事にしている戦術メソッドであり、ガードナーの得意技であり、その強さは世界一でありたいと願っています。

モノづくりでのアイデアは、誰でもが考案できます。しかし、具現化はなかなか出来ない会社が多いのです。なぜできないかというと、行動するスピードがないのです。

アイデアは、言葉にする、絵にする、手作りで作る、作り直す、皆に意見を聞く、また作り直す、現場でテストする、持ち帰って作り直す、既製品部品を仕入れる、作り直す、現場でテストする、素人動画を撮る、図面を描く、生産できる工場を国内外で探す、その会社に行き打ち合わせ、試作お願いする、見積り……というふうに進めていきます。具現化するには、最低これだけの行動力が必要です。そこで必要なのがスピードです。それがないと具現化が簡単に頓挫してしまいます。

大事なことは、いつも期限を自分で決めること、「心の納期」を持つことです。また、同時に「段取り」を常に調整して決めていくことです。とてもじゃないけど、一人ひとり、TODO LISTがないとできません。たった一つのモノを作り上げていくには、もの凄いエネルギーが必要です。スピードが加わるともっと大きなエネルギーが必要になります。仕事エキサイティングになり熱くなり楽しくなります。スピードがあるとアイデアがドンドン湧いてきます。そしてスピードを出して動く次の課題が見えてきます。



実は、他社がなかなか出来ないのは、そのスピードがないからなのです。あらためて、当たり前のことを言います。私達の最強の武器はスピードです。

動画撮影、編集、広告、仕事は全て同じです。他の業界も同じです。「いやあ。私達の業界は違う」と無能なビジネスマンが言うのを何度も聞きました。スピードだけでは、ダメだと昭和の人は良く言っていました。そんな生ぬるい無能な人と仕事をするのはやめましょう。

拙速は巧遅に勝る。

スピードこそが、ホンモノの「働き方改革」です。そして自分の時間を持ちましょう。

余談ですが、私が本気でスピードのある仕事をしているときは、「ゴミ」の産出量が多いときです。仕事をしていないときは「ゴミ」の量が少ないです。（編集済み）

こいつ嫌いだなあ。っていうときがタマにあります。でも、嫌いだ嫌いだと思っていると無駄に自分のメンタルが疲れてしまいますので、そう思わないようにしています。だから、嫌いなところをジッと見つめて、その嫌いなところを面白がるという姿勢に自分がなってみると、本当にだんだん面白くなってきます。とても軽い気持ちで。また、仕事で失敗してもうた。嫌いなあ。ってことが起きると、そのピンチを「オモロなってきたぞ」と言って笑ってみるのもいいです。私が25歳でハワイでビジネスの大失敗をしたとき、どん底に落ちってしまった感触は今でも忘れません。いくらなんでもこれ以上落ちることはないやろ。って気持ちになつたとき心の底から大笑いできたのです。

さてさて、最近、どんな状況でも機嫌が良いと人が集まってくることを実感します。機嫌が悪いと人は離れていきます。人が集まる会社のスタッフは、楽しいことをしていつも機嫌が良いのです。人が来なくなった会社のスタッフは機嫌が悪いという簡単な構図です。

嫌な人、嫌な事、そんな逆境に対して笑ってみる、できればその逆境をジョークに変えてみる事ができれば最高だし、自分の人生がアップグレードされる瞬間ですね。そのアップグレードはエキサイティングだし楽しいことだと思います。

※ ※ ※ ※ ※

Before I die, I will . . . . .!

死ぬ前に、私は . . . . .する!

今まで、どう生きてきたか。

今、どう生きているか。

これから、どう生きるか。

あなたは . . . . .の部分に何と書きますか? もちろん何を書くのかは自由ですが、使える時間が無くなる前に必ずやっておくことを一つ宣誓するなら、何と書き込みますか?

自分自身の人生でこれより重要なテーマはないはずですよ。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

今日、82歳の現役うなぎ職人に会いました。息子は50歳ですが、店内で大声で怒鳴られています。元氣のいいお爺さんで道理が通っているし最初いいなあ〜って思っていました。

二人で話が進むうちに、そのお爺さんは、最近の若者はダメだ、情けない、大嫌いだと愚痴をこぼすようになりました。聞いていてとても退屈さを感じて、大したことないこの爺さんと思ってしまう私がいいます。最近の若者がダメな原因は、若者自身ではなく、爺さんの自分自身にあるということが全く分かっていない愚かなジジイだったのです。ましては、50年も続く老舗うなぎ職人です。この人は82歳になっても「最近の若者はつまらん」というばかりの自己責任の感覚が持てない、情けないジジイです。こんなジジイにはなりたくないなあと思いました。なぜならば、人生は年齢をいくら重ねても理不尽なことばかりで、そのうえで社会的責任をおわされるのは当たり前なのです。今の若者に影響を与えられないジジイは、やっぱりダメジジイです。歳取るだけで社会的貢献が全くないのです。 厳しいばかりで、あれやれ、これやれ、というばかりのジジイは私からみても面白くないし退屈です。ジジイは、自分のキャリアやテクニクではなく、ハードワーキングをしている背中を見せてカッコイイと思わせるのがとても重要です。そのなかで、人間的な強さと弱さを見せるのが偉大なジジイだと思います。

私は10年したら74歳、優しく偉大な爺さんになりたいです。

※ ※ ※ ※ ※

昨日、私のところに現実味のある儲け話が来たので一刀両断でバサッと「興味ない」と一言で気持ちよく斬りました。「仕事は人生の大道楽」と言っていますが、その仕事が好きでもなかったり、誰かを守るためでもない仕事は、ただお金のために働くというだけで、本当につまらない人生だと思えます。ですから、単なる金儲けは、やっぱりつまらんです。冗談抜きに仕事は最高の道楽なのです。たぶん、私が億万長者になってもバリバリ仕事していて、バリバリ遊んでいると思います。休みは土日・・・これは昭和の休み方であり何より自由ではありません。土日であろうがなかりがバリバリ仕事して、休みたかったら平日でも休めばよいのです。それが自由な休み方です。それこそ働き方改革です。もちろんONとOFFはありませんし、本気で Everyday is holiday なのです。私は3億円の宝くじに当たっても仕事が楽しいから仕事してますし、スタッフも3億円の宝くじに当たっても別の仕事でも一緒に仕事でもいいから仕事をして人生を楽しんでくれると最高です。いろんな人生があっても、共通する最大の喜びは、人を喜ばせて自分がまたその人とともに喜ぶことなのです。仕事は人を喜ばせることなので土日は関係ないのです。

本当にありがたいことだと感じています。心の底から生きていることに感謝しています。感謝していると益々運氣が上がっている自分の存在を感じています。この大自然がつくる美しき流れに一步步近づいたような気分です。

※ ※ ※ ※ ※

私は毎月、満月の日に神社にお参りしています。近くの香椎宮、宮崎宮、そして名島神社です。

日本電産の創業者永守重信氏は、1973年に4人で立ち上げた会社を従業員二万人を超える「世界一の総合メーカー」に育てあげた名経営者です。

永守氏は、京都市の九頭竜大社に50年以上、毎月参拝している熱心な方です。

日本電産にも実は倒産の危機がありました。創業初期に取引先の手形が不渡りとなり1億8千万円ほど焦げ付いたようです。当時の月の売上は一億円ほどで、永守氏は「もうあかん、会社つぶそう」と頭を抱え込みます。ところが、九頭竜大社に相談すると「あなたの会社の運命は来年の節分変わる。なんとか持ちこたえなさい。」と告げられます。すると翌年2月の節分にアメリカのIBMから年間の売上に相当する大量注文がありました。以降、日本電産は急成長。

若い頃はあまり神仏を信じていなかった永守氏ですが、倒産危機を救われたことで、九頭竜大社への信心は不動のものになったと言います。

ですが、永守氏は「九頭竜大社で、日本電産の業績を良くしてほしいといったお願いごとは一切しない。神前に立ち、心を静め、ただその時々の方々の決意を述べることにしている。」とのこと。

祈りとは、意を宣(の)ること。つまり意志を宣言することです。神様の前で、誓い、約束をすることです。私はそのことを知ってからは、永守氏のやり方をそのまま真似しています。

さて、神社にはどんな人が参拝に行くのかを調べたら、一番多いのは「会社経営者、会社役員」らしいです。率的にいうと80%です。会社員68%、公務員66%、パート、アルバイト60%、無職53%とうデータがあります。経営者が特に神頼みに積極的なのはデータから明らかです。人より強く運氣の上昇を願うのは経営者は極々当たり前なのです。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

なんのために生きるのか？ なんのために学ぶのか？ なぜそれをするのか？ あなたが生きること誰が笑顔になるのか？ それを問い続けて、30年の生涯を全うした吉田松陰。人生のゴールがここまで明確にした人間は他にいないでしょう。

「知るだけではダメだ。知ったことを実行する事が大事だ。」という生き方を私は吉田松陰から学びました。今から、170年前江戸湾の浦賀にペリー提督率いるアメリカ海軍艦隊の黒船が乗務員1000人も乗せて現れました。日本の大型船の20倍の大きさです。大砲は最新鋭カノン砲。日本人には大きな城が海の上を走っているように見えました。

吉田松陰は日本が侵略されるのは時間の問題だと思い、「僕は乗り込む」と反射的に浦賀に走り始めていました。走りながら考える吉田松陰は当時25歳。ジョン万次郎と同じ漂流作戦は大失敗しますが、獄に繋がれても「僕はなぜ生きるのか？僕に生きる意味はあるのか？」と自答したあげく、「僕らが生きる真の目的は内側にある魂の変容をもたらすことだ」と牢獄の仲間を全部先生にして、牢獄が熱くなり、長州中の噂となり、主君毛利敬親が「松陰を牢から出せ」と言われるまでになります。この安政2年(1855年)が後に日本の夜明けの幕開けとなる松下村塾スタートです。たった2年間の松下村塾ですが、「なんのために学ぶのか？」を入門を希望する人たちに聞きます。

生きる理由は何だ？何を目指すのか？なぜ目指すのか？ 誰が先生でもないお互いが門下生、人はみな平等な



のです。

私のことを「僕」、あなたのことを「君」と言ったのは吉田松陰が最初です。漢文では僕は「しもべ」、君は「主君」なのです。つまり自分を下にして付き合うために開発した呼び名です。

「至誠にして動かざるは、未だこれあらざるなり」まごころで説けば動かない人はいないという吉田松陰の信念です。

そして徳川幕府260年の歴史のなかで、真正面から幕府批判をしたのは吉田松陰ただひとりです。その結果松陰は30歳の若さで処刑されます。

その処刑を知った高杉晋作は声にならない声で叫びました。「徳川幕府！見てろ！必ず僕がぶっ倒す！」

結果、伝説の松下村塾で、高杉晋作、久坂玄瑞、桂小五郎、伊藤博文、山県有朋、井上馨・・・が輩出されて日本の夜明けと向かっていったのです。

自分はなんのために生きるのか？　ここで自分に問うてみませんか？　なんのために。

※ ※ ※ ※ ※

運が良いというのは、「出会い」そのものです。

よく「運も実力のうち」と言いますが、これは間違っています。「運こそが本当の実力」です。

ここはとても重要なことです。運の良い人に運の良い人は集まってくるのです。この大宇宙で一番強い引き寄せの法則です。

行きつけの焼鳥屋で焼酎片手に、世の中の批判や会社の悪口、奥さんの悪口を言って愚痴をこぼしている人は、運の良い人は決して近づいてきません。

運の良い人の熱意や情熱や執念、そして感謝の心、感動したりそのようなことへの出会いは、同じ熱意や情熱や執念がある人に近づいてきます。

これこそが重要で、どんなに素晴らしい才能があっても決して開花しません。逆に素晴らしい才能が良い運の邪魔することだってあります。

そのきっかけとして出張や旅は立派な出会いの機会を作ってくれます。

とにかく動くことです。

私自身は、空手に出会ったこと、海外に行ったこと、ビジネスで師匠に出会ったこと、それらの出会いこそが最初に自分を成長させてくれました。その3つの運がなかったら自分で考えるだけでも恐ろしいです。

たんぼぼの種が風によって飛ばされています。一つの種はコンクリートの上に落ちました。あと一つの種は栄

養のある土壌に落ちました。

発芽するのは運と出会えた種だけです。「出会いが運です。運こそが実力です。」だから動いた方がいいに決まっています。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

運が良い人とは、「人からどう見られるのか」ということがどれだけ大事かを自分で経験しているので分かっています。

理由は、運が良い人はプラス思考の人間としか付き合わないという原則があるからです。つまり、アイツは優秀だと認めてもらわなければ人は寄ってきません。

運が良くなるには、実際に優秀であるよりもアイツは優秀だと思われるのがとても重要なのです。あの人の情熱や信念は凄いと、事実よりそう思われることが重要です。仕事で失敗して、心では落ち込んでいても表面では元気いっぱいアピールすることがとても重要なのです。私はド心底に落ち込んだことがあるので体験のなかで分かりました。大切なのは、本当の自分の実力よりも、自分をラッピングすることです。そうすると廻りの評価は「あの人になら任せられる」「あの人と仕事がしたい」と思うようになります。

「でも、実際の中身がないのはダメだよ。」という人は、いつまでたっても運気は上がりません。なぜならば、実際には実力があるのに、廻りの人からはそう見られないという人に、人は絶対に集まらないからです。

しかし、そのために辛い努力をして実際のイメージ通りになろうと無理することは一切ありません。なぜなら、人間というものは、何の努力もせず自然に他人の評価の通りに自分が変わっていくからです。

自分を変えたいということは良く聞きますが、廻りからどう見られたいかを考えるだけで良いのです。自分を変えるにはこれしかありません。

また、個人の仕事能力がどれだけ高くても、人間力のある人にはかきません。つまり、自分一人の能力に頼るより、人望があり徳のある人に人が集まり、人々から信頼と尊敬を集め、損得勘定抜きに付き合いたいと思われ、謙虚で威張らず人を見下さない人に人が集まるのは極々当たり前のことです。この当たり前のことを分かっていない経営者が意外に多いのです。

最近、ガードナー株式会社は運気が益々上がってきました。もちろんそのことを私は意図的にやっています。みんなにアメ車に乗ってもらい、みんなにハーレーに乗ってもらい、みんなに旅してもらい、みんなに仕事を楽しくもらい、みんなが会社に行きたくなる事務所をデザインし、みんなが社会貢献し、みんなが読書し、みんなが健康になり、みんなが楽しみ、みんなが人間的レベルアップを求め。そうすると人が集まり、出合いが増えます。

そうすると最初に書いた「人からどう見られるのか」という部分で簡単にクリアできて、より人が集まってくるからです。この会社の運気が上がらないわけにはいかないのです。

ズバリ！ガードナー株式会社はブラック企業です。超ブラック企業なのです。そもそも、ガードナーは、一般的に言われる会社員を必要としていません。ガードナーが必要としているのは、近い将来「経営者」になりたいたいということをたくらんでいる人です。ずっと正社員で安泰でありたいという人は、ガードナーでは絶対に居心地が悪いし、収入も増えにくいです。

つまり、ガンガン稼ぐ社長になってほしいのです。親会社GMホールディングスは、スタートアップしたい、社長になりたいという人に資金、組織、人員、調達、不動産など最大限の協力をします。

それをするために、ガードナーは、修業の場所になります。タイガーマスクの虎の穴です。人によってはとても辛いところです。ガードナーに入ると、まず「奴隷」と言われる身分になります。「奴隷」と言われて凹んでいる人は即さようならとなります。社長を目指している奴隷はいつもニッコリして社内を飛び回っているのが当たり前です。

ですのでガードナーはブラック企業だというわけです。あまり大きな声では言えませんが、労働基準局は絶対に許さないくらいの長時間労働になります。労基が会社に来たら、本人はガードナーと一緒に労基に嘘をついて「長時間労働はしてません」と言わねばならないのです。共犯者にならねばならない恐ろしい会社です。

(笑汗)

でも、私が好きな言葉「仕事は人生の大道楽」という感覚になってしまうと、全く辛くはありません。いつも

ラクチンです。社長になりたい人というのは、社長になる前から社長の仕事をするのは当たり前なのです。オリンピックに出場する選手は、世界一の練習をするのは当たり前です。世界一の練習をする人間しか金メダルは獲れません。普通のサラリーマン感覚で仕事をしていて、社長になれるわけがないのです。普通のサラリーマンが良いと思う人は、絶対にガードナーに来てはなりません。政府が指導している「働き方改革」が好きな、ゆるい会社は他にたくさんありますのでそちらをお奨めします。

ガードナーにはルールがありません。普通、社長にはルールがないので、社長になる前からそうしているのです。つまり、何をしようが自由でもあるのです。ですので、どこに居ようが土日仕事するのは自由ですし、逆に平日に自由に休むことも自由なのです。

世の中の一般的は会社は、あまりにもルールが多すぎます。一般的な社員は皆そのルールに辟易しているのですが、実はルールに守られているのも事実であり、楽なのです。狩りにルールは必要ないはずですが、

「男はいつの日か狩人」



久々に、山口県、長州の吉田松陰が営んだ「松下村塾」へ行って参りました。たった∞畳の部屋から、それもたった∞年間で、幕末から明治期の日本の夜明けの立役者を育て上げた素晴らしい塾です。皆、学費も払えない貧乏人の集まりのなかで、裕福な例外的な男がただ一人いました。高杉晋作です。彼がいたからこそ、山口県の彦島はヨーロッパ列強から租借されなかったという本当に素晴らしい快挙をしでかした男です。列強と戦い、ズタズタになった長州は高杉晋作に交渉の全てを預けます。この交渉ごとがきっかけで幕府は怒って長州征伐という行動をおこします。

幕府軍∞万人、高杉晋作率いる奇兵隊はたった∞人。伊藤博文（当時俊輔）は「われわれに歴史はない。我々の歴史は、いまここから始まる」という言葉で奮励奮起しています。このときパシリだった伊藤博文は既にカッケェ！あまりにも無謀です。それでもやるのか？それでもやるのか？やるの？それでもやる！！ できる出来ないではない、やる価値があるかどうかだ。雪の功山寺で命を預けた志士が∞人。くうくう！！ 漢！かっこええ！！・・・とこの本を読んで私の心は乱れに乱れました。

吉田松陰が処刑されてからの∞年、今ここで流れを変えねば！徳川幕府を倒すんじゃない！ 高杉晋作はたった∞人で三田尻に乗り込み幕府の軍艦を奪ってくるといいます。

ええええええ？ 無理でしょう！！ そんなバカな！ 奪った軍艦を菊ヶ浜の沖合で、空砲を ドカーン！ドカーン！ ドッカーン！ と撃ち始めます。



長州の農民は「いままでとは、違う明日を見たい！」という希望をもって高杉晋作率いる奇兵隊を応援するようになります。当初の84人はいきなり2000人になり、小さな94トンの蒸気船で、幕府の1000トンの蒸気船に夜襲をかけて、2隻の軍艦を争奪してしまいます。それを聞いた幕府軍はその奇襲に恐れをなして戦う戦力を失いました。

そんなとき海援隊を率いる坂本竜馬が援軍で駆けつけます。圧倒的不利な長州軍に手を差し伸べて高杉晋作と酒を酌み交わしています。

「かくすれば かくなるものと 知りながら やむにやまれぬ 大和魂」 (こんなことをすれば、命がいくつあっても足りないことはわかっている。でもやむにやまれぬ大和魂を突き通さずにはいられない)

長州藩と幕府の攻防は、2ヶ月続きましたが、そのあいだに、1代將軍徳川家茂が病死し、幕府は総崩れとなります。高杉晋作にとっては幕府軍15万人との戦いは吉田松陰先生の仇討ちなのです。誰でも入れるこの奇兵隊から、事実上、封建制度の差別社会は崩れ始めました。しかし、その翌年、結核で高杉晋作は死んでしまいます。

その最後の日の辞世の句は有名です。「おもしろき こともなき世を おもしろく (すみなすものは 心なりけり)」

(イエーイー！ 俺は面白く生きたぜ！ 君はどうだい？ 楽しかったかい?) という感じでしょう。

私の辞世の句は、「こんな楽しい会社もアリなんだという証明ができた。そのなかで皆でやったことは、ムツチャおもしろかったよ。」ということになります。

人生最後のセリフ、大事だと思います。

私は歴史の勉強はあまり好きではありませんが、偉人伝の本は本当に面白いですね。時代を超えた共感をヒシヒシと感じられます。高杉晋作。 あっばれ！

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

私が22歳の大学卒業のとき「ハワイで空手指導員？オマエ大丈夫か？そんなことで将来メシが食えるの？」  
「もう少ししっかりした人生設計を持てよ」 「人生は遊びじゃないんだよ」とサンザンに色々な友だちから  
けなされました。

ただ英語圏で空手指導員がやりたいというだけの夢や希望があっただけのことで、論理的思考能力に欠ける私は「ただ、それがしたい」とだけ考えていました。将来の落ち着く先のことなど全く考えていません。

そのとき、友だちと居酒屋へ行って、将来のことを話してたのですが、あまりにもその友だちの将来が平凡でつまらない人生だなあ〜と感じてしまった自分がいます。大学が建築科だったので、建築関係の仕事に殆どが進んでいきますが、家族やマイホームのこと、そしてあろうことか老後のこと。

はあ〜？ そんな人生でオマエ面白いの？ と私は友だちに噛みついていました。そんな先が見えてしまった人生ってホントにツマラン。と。実は、24歳の今でもその考え方は変わっていません。

夢 想い 志 そのために今生きてるんだぜ。

空手とパワーリフティングを長年やって、一応両方とも全日本選手権には出場しましたが、私にはその才能はあまりなかったと自覚しています。身体の大きさが一番ですが、それよりもその競技そのものの才能がなかったのです。ただ単に「好き」というレベルだけが人と比べて強かっただけです。

その才能ですが、才能って、そんなに重要な事ではないなあと最近感じています。学生るときから才能がある奴、そしてこの歳になっても才能がある奴。私にとっては取るに足らないと感じています。私自身は才能がなかったから仕事に対して真正面から向き合えたと思えるのです。

才能がないからこそ、自分自身が少し強くなったものを感じます。もし、私に才能があったら、仕事に対して人生に対して中途半端なものになったのではないかと思います。才能ではなく、後天的な能力こそがとても重要で、その能力を作ったのは自分自身であり、味方は自分のみということになります。

もっと言うと、自分だけは自分自身を味方にする、自分を大切にすることが、とても重要なのです。

世界中の有色人種の国はマスターズ・カントリーというものがあります。ご主人様の国、つまり「宗主国」です。

有色人種の国は、ほとんどが欧米列強の国に侵略され植民地にされていたのです。ところがご存じのように日本だけは過去に一度も侵略されていません。

特に日本では幕末のころに、白人帝国主義による欧米列強が、侵略によって海外領土を広げていっていました。アジアの国々は次々と植民地にされていたのです。隣の清国（中国）もイギリスに打ちのめされ、香港を奪われ、清の国民は白人に奴隷のように扱われていました。東南アジアもオランダ、フランス、ドイツに侵略され、本当にひどい目にあっていました。そんななか、日本にもアメリカからマシュー・ペリー率いる黒船がやってきたのです。

このままでは日本は間違いなく植民地にされてしまう。そんなときに、巨大地震が続けて、回も日本列島を襲います。異常気象による凶作、猛烈なインフレ、伝染病のコレラ、江戸だけでも死者は数万人。まさに非常事態です。

そんな大混乱の中、なぜ日本だけが植民地にならなかったのでしょうか。

それは日本には「サムライ」がいたからです。

サムライとは、一番大切なことに、命をかけた者のことです。日本には自分より大切にしたいものを守るサム

ライがいたのです。

私達が誇りにしたいサムライです。いつの時代にも日本人にはサムライの血が流れているのです。サムライは清々しく生きます。清々しく生きることを「大和魂」と言います。今こそ自分が大切にしたいものに、清々しく大和魂をかけて生きるときです。

「世の人は 我を何とも 言わば言え 我が成すことは 我のみぞ知る」 坂本竜馬 (編集済み)

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

私はビジネス研修会にかなり通っていた時期がありました。ビジネス書や自己啓発の本をむさぼるように読んでいました。成功者の真似をすれば、うまくいくはずとばかりに、先生たちの言葉を鵜呑みにしていました。その分、少し偉くなった気もしました。・・・が、今振り返ってみるとほとんどが何のためにもなりません。自分の仕事を、研修で言われた通りにやったり、本の通りに真似してみたり、そのうち研修や本には、読めば読むほど、次の研修や次の本に期待している私がいるのです。結果、少しもうまくいきませんでした。理由は簡単です。その先生たちがいう常識を全く疑っていませんでした。誰かの表面上の真似ばかりして、自分では何も考えていなかったからです。つまり完全なる思考停止です。自分で考える。この簡単なことを実行していない自分に腹が立ってきたら、研修やビジネス書は全く読まなくなりました。本当の自分とは何？自分らしい生き方をするために偉人伝の本を読んだり、映画を見るようになり、そして旅にでました。自分で考えるということは、自分が主役になるということです。自分が主役になると何か自分のなかで歯車が動き出しました。

※ ※ ※ ※ ※

バイクで韓国に來ています。今まで私が新聞テレビで見てきた韓国とは全く異なる国だったので驚いています。と同時に日本人は韓国人に負けているところがたくさんあり悔しい思いもしています。

出会う人は、皆日本人に対して優しいのです。旅に出るときに右手首を痛めて食事するにも苦労していましたが、皆さんとっても優しく、私が片手で食べるのを見てフォローしてくれるのです。少し恥ずかしいと感じるくらいに手助けしてくれます。ある人は下手な日本語でいろいろ教えてくれます。嬉しくて可笑しくて涙がでてしまいました。韓国の茶道の大家の豪邸にも招き入れてくれましたが、素晴らしい茶道を見せていただき、お茶とお菓子は普通では味わえないものを感じました。知らない私にお土産を沢山いただき、丁寧に見送っていただき私はペコペコ頭を下げて立ち去りました。また街を走っていると高級車が多いのに驚きました。平均的な車のグレードは完璧に日本は韓国に負けています。ヒュンダイの高級車ジェネシスは、外装も内装もイギリス車の優雅さをしのぎます。アメ車好きな私が欲しくなりました。

日本人は韓国をどこか見下げているところがありますが、そのようになっただのは全てマスコミの影響です。日本のマスコミって本当に何をやっているのでしょうかね。益々テレビ離れになるのは当然な流れだと思います。長い間ユダヤ民族が支配してきたマスコミという大きな力が今なくなろうとしています。



今まで、たくさんの特許を出願し、たくさん製品の開発をやってきましたが、もの凄い数の製品が真似されました。一時期は、そのアイデアの権利化がとても重要だと考えて、特許についての勉強ばかりしていたときもあります。そのときにエジソンの書籍を読んで、彼自身が知的所有権に関しての法的争いばかりに人生の半分の時間を割いていたということを知りとても残念に感じました。「エジソン？つまらん人間だ」と。

実際に直流電流のエジソン、交流電流のニコラテスラ・・・世の中のために大きく貢献したのはもちろん後者です。エジソンは電力権利者の犬になって金儲けに励んでいたのです。アメリカ政府の金で操られた犬になって、世の中の一食を一日二食を一日三食にしたのはエジソンです。

パクられるくらいに発明をすればいいのです。そもそもパクられるというのは、そのアイデアを賞賛している証拠です。「俺のアイデアをパクりやがって！」と言うのは「俺のアイデアの一番凄いところをパクりやがって！」と言っているのと同じなのです。つまり、「俺にはこれ以上のアイデアは無い」ということになります。偽物がでてきたら、こちらがホンモノであるという証拠です。

そのホンモノである製品開発をバンバンやり続けるのが私達ガードナーなのです。



今回の韓国バイク旅で儒教の里と言われる安東(アンドン)の西に位置する河回村(ハフェマウル)という素晴らしい所に行ってきました。ここは古くから多くの儒学者を育んだ街

今なおその末裔たちが、伝統を守り暮らしています。日本で言う「忠」「孝」をととても大事にしている考え方はです。

一方、日本には神道と言われる、神社を中心としたものがありますが、神道と宗教の違いは何かというところには教えがない」ということです。神社の本殿の奥にある丸い鏡があり、自分自身を見つめなさいというだけですが。また、「教えがない」以外にも、神道には「善悪がない」ということも宗教と大きな違いです。ここは日本人はよく覚えておいて欲しいところですが。「神道には善悪がない」これは他の宗教の方々と話すときに必要なポイントとなることでしょう。普通、宗教が違うだけで「オマエは間違っている」とケンカになり戦争に発展します。日本人はキリスト教のクリスマス、大晦日の仏教、お正月には神社の神道と相容れる力があります。日本人は七福神も大好きですが、これもヒンドゥー教、仏教、道教などいろんな国の神様です。これは日本人が正しい正しくないだけの善悪で考えないからこそできるんです。では日本は、善悪がない代わりに何かあるのでしょうか？

それは「美しいか美しくないか」という判断です。江戸時代は「粋か野暮か」という表現になったわけです。ですので 260 年も続いた徳川幕府時代の江戸文化には美しさの追求が至るところにあります。戦う武道でさ

えも、単なる勝ち負けではなく 剣道、柔道、合気道、空手道、それ以外に茶道、華道、弓道、書道。となんでも道にしてきました。

道とは勝ち負けではなく、損か得かでもなく、美の追求です。

5年間で好きで好きで仕方なかった空手道は、極めることもできず引退しましたが空手道をやってて良かったなと思います。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

嫉妬・ねたみ・ひがみ・陰口・・・最近私の廻りで少しあって「ニヤリ」としている変な私があります。

コロナ渦の中、業績を伸ばしているある経営者と飲んでいたら、彼は廻りの変な嫉妬やねたみに悩んでいました。だが、「ドンマイ、ドンマイ」と言ってお祝いしてあげました。

嫉妬やねたみ。成功には付きものだと考えています。ある経営者は、嫉妬やねたみはアクセサリーのようなものと言いつつ切った人もいます。

友だちにも「良かったね」と言ってくれる友だちと、ねたみを言ってくれる友だちにキレイに分かれます。

昔、親友だろうがなんだろうが、最近知り合った人だろうが、これは残念ながら心づに分かれてくるものです。歳取っても「良かったね」と言ってくれる友だちと思いつきり楽しく遊ぼうと思います。

それが一番楽しいのだ。

歴史的造詣や世界情勢を知るのはビジネスマンである限り必須です。これは「真剣にふぎける会社」の「真剣」の部分です。

今やビジネスマンは、歴史や世界情勢を知るのは基本中の基本なのです。

昭和や平成の時代は、そんなことは会社組織のトップが知ればそれで良いというものでした。「お前らは、そんなことよりも真面目に目の前の仕事だけやりゃいいんだ。」と言わんばかりに、偉そうにうそぶいている経営者を何人も見てきました。

でも、時代は変わりました。一人ひとりが、しっかりした世の中を見ることが必要となってしまうのです。一人ひとりが、違った価値観で大海原の中で羅針盤を見ることがとっても重要なのです。そうしないと中小零細企業は大手企業には勝てません。つまり一人ひとりが本気で経営者的感覚にならねばならないのです。それは大きな人間的成長でもあります。強い組織作りには一人ひとりの人間的成長がないと組織は強くなりません。

「ウクライナとロシアの戦争は、私達の仕事にどう関係してくるか？」 「台湾と中国で有事となると私達の仕事はどうなるか？」 「今後円安は続きますが、そうになったら私達の会社はどうなりますか？」 「え？韓国は無くなってしまおう？」 「アメリカと中国が衝突したらアメリカが勝つ。」

こういった世界情勢の中で私達は、どういうスタンスでどう舵取りをすれば良いでしょうか？

その世界情勢を知るためには歴史的造詣は、必須なのです。歴史というと単に年号を覚えたり、事件の内容を覚えたりという学校教育でしたが、そんな面白くないものは必要ありません。ナンセンスです。なぜ、世界は今こうなっているか、なぜ、日本人はこんなになったか。を知る必要があります。単に歴史が好きとか嫌いという、低いレベルの話をするのであれば、私達GMの仲間では置いてきぼりになると断言します。

一人ひとり、全員が強い戦士になる時代です。だからといって、難しい歴史の本を読めとか、難しい世界情勢を調べるとか言いません。今回、皆さんでハワイに行きますが、真珠湾へ訪れる前に真珠湾攻撃の真実のことを書いている本を読んでもらっていること。このようなことこそが歴史的造詣を知ることなのです。難解な歴史をいかに楽しく、ラクチンに学ぶかは、とても重要です。その歴史観は、幕末〜明治〜大東亜戦争を知るのが一番だと考えております。幕末の歴史を知ったら、皆で京都へ参りましょう。造詣が深いと京都がむっちゃ楽しくなります。何も知らない「神社仏閣は飽きた〜」と、退屈でつまらない旅になります。皆で楽しく愉快に歴史を学びましょう！

会社経営で私自身がやらねばならないことは、スタッフ全員との理念の共有です。

理念と書くと上っ面だけの言葉になりますが、具体的に言うと①日頃のコミュニケーション ②社内ミーティング ③2日に1回は出すこのガードナーの言葉 ということところで、価値観の共有をすることだけなのです。

そうするとONとOFFがなくなり、「仕事が楽しい」という環境を作りやすくなります。モノづくりの会社ですが、テーマはいつもモノではなく「人」です。

経営資源は「人」「モノ」「金」だと経営関連の本には書いています、私は経営資源は「人」「人」「人」だと断言しています。

会社とスタッフの価値観がしっかり合っていて、健康的に、そして明るく、適材適所をしっかりと見極め、いかに働いて楽しい状況を作るか、これこそが社長の仕事なのです。

※ ※ ※ ※ ※

ガードナーは、世の中にないものを開発して創り出す。。。とは言っていますが、なんでも良いわけではありません。

一言で言えば、「自分自身が欲しいもの」です。何を作るかというとても重要な経営テーマでありながらも、アンケートを取ったり、主婦に聞いてみたり、市場調査したり、講演やビジネス書を真に受けたり、マーケティングという言葉に振り回されたり、する経営者って意外に多いのではないのでしょうか？

ある自称マーケットという方と、この点で激しく討論したことがあります。私は自分が本気で欲しいものを作るのが一番自然であるし、私と同じような人は必ず買いたくなるはずだと自然体で考えています。もっと酷いマーケットになると、売れているものを作るのが一番売れるなんて、なんとも不幸せな考え方を持っている先生もいました。

プロダクトアウトやマーケットインなどは、どうでもいいではないかと感じています。

しかし、「自分自身が欲しいもの」が一番という考え方は、時折、市場が小さい商品を作ろうとしているおバカな私もいるのは事実です。例えば、マグロ突き用の特殊なモリです。購入する人はホント少ないでしょうね。(笑)

ただ、私自身はもちろん楽しんでます。楽しんでるので仕事はラクチンです。そして妥協はしません。自然と楽しそうに仕事をしてしまいます。すると人が集まります。余計に仕事が楽しくなります。



我が社に訪問される方は、この会社を見ていただければ「あゝ。なるほどね」と感じていただけると思います。世の中には、生きるためには必要はないけど、あると豊かになるモノってたくさんあります。常に世の中のマーケットの中にどっぷり身をおいて、モノづくりをしていくことが商品戦略では最重要であるというスタンスなのです。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

時代は今、大きな流れを変えようとしているのを感じます。それは数十年や数百年という単位ではなく、人類始まって最初の変化であるということなのです。

大きさや多さや強さの規模の社会が終わろうとしているのです。

男社会、都市化、大企業化、大量生産、大量販売、経済成長、資本主義、格差社会、・・・これらが音を立てて崩れていきます。

アメリカのZ世代（1997～2010年生まれ）が高齢化するときに現象はしつかり現れるでしょう。つまり資本主義と格差社会が終わっていく現象です。規模の大きさではなく、個人個人の「生きがい」が世界に伝播されていく時代に代わっていくのです。生きがいというのは、「好きなこと」「得意なこと」「稼げること」「世の中が必要だとしていること」が重ね合わさったものが人生の目的です。

みんなと一緒に好きな普通の日本人はどうしたらいいでしょうか？コロナウイルスの影響が終わってもまだ9割の人はマスクをしています。学生時代は制服を着て、就職活動も皆リクルートスーツを着る、今でも同じ時間に通勤ラッシュに揉まれて、盆、正月、ゴールデンウィークに皆一緒に休む。暗い言葉で「同調圧力」という言葉が流行っています。別の言葉で「同調バイアス」。しかし、良くも悪くもこれは日本人の自然な心理状態なのでしょう。ビジネスマンは、だからダメだと言うより、そのことをいつも社会現象として敏感に感じる必要があります。

みんなで通学し、みんなで就職し、みんなで帰省し、みんなで定年退職。こんなつまらないことを日本人はずっとやってきたのです。それが皆少しづつ目覚めてきました。大量生産、大量販売の社会は終わり、価値のない学歴社会も終わりに近づいてきました。大手企業を作るモノは絶対に安心ではなく、自分の目が届くから安心という、あの人が作ったモノは安心だし、それが信用なのだという時代です。

自分の幸せは、自分で見つけ、自分で選ぶのです。廻りと同じに同調するのではなく、自分の個性をトコトン発揮しながら、世の中と調和していくのです。国家レベルでいうなら、他国からの輸入に頼らず自国で生産することが増えてくるでしょう。日本は食糧自給率を増やしていく流れになるのです。一人ひとりがどう生きていくかが最大のテーマになります。福沢諭吉の「一身独立」。安岡正篤の「一燈照隅」が今になって世代を超えた共感になります。つまり、組織の中で生きるのではなく、「自分の生き方を生きること」がとっても重要な時代になっていきます。

私達 GM も、一人ひとりが自分自身の物語の主人公になり個性を発揮していくと、もっと面白い会社になります。もっと人が集まります。そうなると間違いなくもっと楽しい人生になります。



最高の経営とは、完全自動運転。

人というものは、管理したくないし、管理されたくない生き物です。

世の中のほとんどの会社経営者がそれを感じていません。（編集済み）

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

大リーガーの大谷翔平の睡眠時間は10時間です。よく寝ると試合でのパフォーマンスがアップすると言っています。彼に「一日にあと1時間あるとすれば何をしますか？」という質問に対して「寝ます」という返答です。

誰もが実感できているように、睡眠と身体には深い関わりがあります。十分な睡眠が取れない状況になると疲労が蓄積し、眠気が続き、身体の動きも鈍くなります。

睡眠をとると身体が軽くなり、頭もスッキリしますよね。それは、睡眠時に身体と脳を両方休めているからです。また、寝る子は育つという言葉は、睡眠中に成長ホルモンが分泌されることからきています。睡眠には脳を創る役割があるので、小さい子には特に重要です。睡眠をとることによって、免疫力の向上や維持が見込めます。十分な睡眠が取れていないと、ホルモンバランスが崩れ、免疫機能の働きが悪くなってしまうのは多くの方が知っています。寝ないと病気にかかりやすくなるのはこのためです。

幼児や成長期の子どもの平均睡眠時間が成人と比較して長いのも、成長ホルモンの分泌のために一定の睡眠時間が必要だからです。

成長ホルモンは成人となった後も分泌され、代謝調節や免疫機能などに作用します。なお、長く寝ても後半は眠りが浅いことも多いため、適度な長さが大切です。

睡眠時間が短くなると、ウイルスに感染しやすくなることも、実験で証明されています。薬を飲んでも、しっ

かりとした睡眠がとれていなければ効果が薄くなることもあるようです。風邪をひいたら寝るといのは、こういった背景があると考えれば納得です。休日にまとめてたくさん寝るといふことをしている人もいますが、週末の寝だめだけでは、長期間に渡って蓄積された睡眠負債の根本的な解消とはなりません。普段から自分にとって必要な睡眠時間を確保し、質の高い睡眠を心がけるようにしましょう。

おバカな私は若いときに寝るといふことを、軽く考えていました。「3日寝なくても大丈夫だ」とうそぶいていました。

だから、私は空手とパワーリフティングは日本一を目指してかなりの練習をやったのに、夜は酒ばかり飲んでいて、睡眠時間が少なくなり結果は二流の成績しか残せませんでした。

プロフェッショナルとは、自己管理ができる人間なのです。



国連は益々怪しい組織です。なぜ、奴らは昆虫食を勧めるのでしょうか？コオロギ、トノサマバッタ、コガネムシ、シロアリ、クロバエ・・・これは国連が推進している昆虫食のリストの一部です。私はどんなことがあっても食べません。寝言は寝て言えと言いたくなります。これは2013年に食料農業機関というところが言い出したのが発端です。

なんで急に国連はそんなことを言い出したのでしょうか？国連は食料不安の最悪のシナリオを煽っています。南アメリカ、アフリカ中央と南部、インド、インドシナ・・・このまま気候変動が進む場合、食料危機は避けられないとされています。

国連によると牛や豚のゲップにメタンガスが含まれていて、牛1頭に車の1台分の温室効果ガスが出ているというデータがあるとしています。つまり牛や豚を食べることは環境破壊に繋がっているということです。環境を守るために肉を食べることはやめた方が良くと言っているのです。また、水田さえもメタンガスを発生するので良くないとしています。そこで、その問題を解決するために昆虫食が良いと言っているのです。「昆虫食は環境に良い」と推進しているのです。

日本も例外ではなく、農林水産省は「ムーンショット目標5」という計画の中で「昆虫の食品化」に税金を使っています。無印良品はコオロギせんべい、コオロギチョコを出しているとんでもない会社です。国連や政府は「昆虫食は、気候変動による大雨や干ばつを防ぐために必要だ」と訴えています。

しかし、これは大嘘です！台風発生数はここ70年間増えていません。干ばつで進む砂漠化も嘘です。40年前から地球全体は緑化しているのです。南アメリカ、南アフリカ、中央アフリカ、インド、オセアニア、北アメリカ・・・緑化しているのです。国連の情報は嘘なのです。国連は「気候変動で大変だ」と不安ばかりを煽って昆虫食を推進しているのです。

なぜ、国連はそこまでして昆虫食を推進したいのでしょうか？ 彼等の目的は環境を守ることではなく、世界にSDGsや環境政策の重要性を認めさせ、自分達に都合の良いように人類をコントロールすること、グローバルな統制社会に作り替えてしまうことなのです。つまり、世界は金持ちだけが得をする共産化に向かっているのです。一般市民は、食料は配給制にするべきだという、信じられないような内容が国連では大真面目に議論されているのです。 Fuckー国連ー！ ばす。

仮に昆虫食ブームが去ったとしても、他の計画が世界で動いています。昆虫食はその始まりに過ぎないのです。「地球温暖化だから」という名目で食べるものの選択肢まで奪われドンドン自由がなくなってしまうのです。コロナショックも全く同じです。こんな風に騙されて振り回されてしまっっては、日本全体が、いやいや個人がボロボロになってしまいます。

世界の謀略はもうあらゆることで始まっています。それは、世界がリベラルになるべきだと、言葉ではエコだ。温暖化対策だ。と正しそうなことを言いながら、実際は共産化しているのです。共産化とは一党独裁、言論の自由無し、個人財産が持てない、金持ちだけが益々裕福、厳しいところでは中国のジェノサイドで大勢の人間が殺されている事実です。20世紀には戦争で死んだ人間の数より、共産主義が殺した一億人以上の数のの方が



大きく勝っているという事実です。

コロナウイルス、気候変動、食糧危機、環境破壊、・・・ 共通する何かに気づきましたか？

すべてテーマが「暗い」のです。その暗さを煽っているのが一見正しそうにリベラルを装う共産主義なのです。

アメリカで言えば、石化燃料を反対する大統領バイデン率いる民主党です。

ですから、楽しく明るい会社、楽しく明るい人がたくさん出てくるとその国は明るく楽しい国になります。

まず、自分自身が明るく楽しい人生を送りましょう。そうすれば日本の未来は安泰です。この真理に気づき、無限の感謝をもってこの真理の中に安住することがとっても重要なのです。

※ ※ ※ ※ ※

京都の観光タクシーに乗りました。運転手さんは日本人客は久しぶりと言うくらい外国人が多いらしいのです。祇園や先斗町を夕食のために歩きましたが8割が外国人で、白人がほとんどです。

コロナ前より圧倒的に外人客が多く英語が出来ないと良いサービスもできないのです。ホテルは無茶苦茶に高騰していて名のあるホテルは普通に一泊90万円です。どんな人が泊まるのでしょうか。

さて、今回の旅のテーマは、幕末史実に則って廻っていたのですが、こちらから場所を「カ所を指定して乗車しました。

岩倉具視幽棲、薩摩藩邸、池田屋騒動、新撰組壬生屯所、角屋、近江屋、寺田屋旅館・・・などなど知らない人は面白くないマニアックな所ばかりです。司馬遼太郎の「竜馬がゆく」を読むだけでかなりわかります。しかし、観光タクシー歴12年という運転手さんが、そのリストを見てビックリしていました。こんなリストを出して来られるお客様は12年間一度もなかったと言うのです。半分くらい分からないので調べますという情けない返答です。

私は「えっ?!ウソ!京都に来る人はほとんどが歴史を勉強していない人なのだ!」と驚きと喜びです。

京都は、何も知らないで行くと神社仏閣がメインで面白くもなんともない所です。清水寺は床が高いだけで面白くありません。金閣寺の池は汚いじゃん。銀閣寺はグレーじゃん!と言いたくなります。建物以外は仏像ばかりで、三十三間堂などで何千体という仏像を見ると吐き気さえできます。また行きたいとは絶対に思わな

いはずです。

海外からの裕福層が、の時間で8万円くらい払って、BMWの高級車で観光タクシーを利用することが多いらしいのですが、何も分らないので有名どころを廻ってくれという指示だけらしいのです。金があるからって、観光内容は超貧乏なのです。知らないというのは面白くないだけではなく、時間の無駄です。

旅の醍醐味は、やっぱり歴史的造詣をしっかりと知って心だけでもリッチに行くことです。今回ハワイの真珠湾に皆で行きますが、結構面白く感じることは間違いないです。

旅をより良く楽しむために、簡単な本でも良いので歴史的造詣を少しでも深めましょう。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

ハワイに来ています。現在、ハワイのスタッフが不動産経営で人を集めていて、今、打ち合わせしましたが、日本でいう人を雇うという感覚ではなく、ひとり一人が個人事業主という感覚で、独立心が旺盛な人と一緒に仕事をするというスタンスは、とても素晴らしいと感じました。

また、ロサンゼルスの子テク業界に勤める友人から聞いた話ですが、アメリカの労使関係がとても面白いのです。日本に比べて良い悪いという比較論はつまらないのでしませんが、日本人が学ぶところがたくさんあります。

アメリカでは、朝通勤すると、いきなり面談されて今日でクビです、と言われる事もあるそうです。零細企業の新入り平社員なんかだけではなく、大企業の経験豊かな課長・部長の職責の社員でさえよくあることで、あんまり有り過ぎて珍しくないのです、誰も問題にしないといいます。ですからこの会社で頑張ろうだなんて、誰も思っていないくて、ただただ自分自身が生きていくために狩りをする姿勢が凄いなと思います。いつ突然、面談すら無く、告知Eメールだけでクビになるかも知れない事は常識なので、自分自身のプロ根性に従って、自分に与えられた職務を自分が満足できる品質・速度で遂行しているだけなのです。突然の解雇は、カリフォルニア州では昔から合法です。すべての州が突然の解雇を許可している訳ではありませんが、かなりの州が「自由意志雇用契約 (At-Will Employment Agreement)」を合法としており、カリフォルニア州はその一つです。

雇用契約書の中に「この契約は、雇用者、被雇用者のどちら側からも、いついかなる場合も、予告なしに突然

破棄できる。また、どちら側にも、破棄理由を説明する法的義務はない」と明記されています。

従って、カリフォルニア州のハイテク業界では「いきなりクビになる」のは、日常茶飯事ですが、逆に管理職者や社員がある日突然何の連絡もなしに出勤しなくなるのも、また、決して珍しいことではないといえます。総計20人の解雇がどのくらい突然だったかと言うと、「今日の正午までに、私物だけ持って、この会社の敷地を出ろ」でした。突然解雇を通告されたあと、大型の自動拳銃を携帯した大男の警備員同行で裏口から出されたのが正午前。解雇された者が集まってお別れ昼食会を開き、カリフォルニア産の赤ワインでお互いの再就職を助け合うことを乾杯をしたといえます。アメリカ全体、特にカリフォルニア州のハイテク業界で、突然解雇する企業側も突然解雇される社員側も、日本国内の日本人には不人情で冷酷に見えるほどアツケラカーンとしていますが、私が素晴らしいと思うのは、アメリカ人には、突然クビになった時、怒ったり落ち込んだりせず、むしろ、神が次の飛躍への機会を下さったのだと、就活に意気込み励む人がとても多いことです。「解雇されたら『新しい飛躍へのチャンスだ！』と、飛び上がって喜べ！」という気概のある人が多いのです。当然、日本人には合わないとは思いますが、アメリカのこのシステムはダメだという批判をすることよりも、私はアメリカ人独特の Positive-Thinking という哲学がとてもたくましいと感じます。

& & & &

ハワイは物価高騰が凄まじい。ハワイに住んでいる友人は悲鳴をあげています。昨夜はワイキキで二人で食事をして18万円。。。観光地で、ましては私達は旅行で少し贅沢しているというのもあります。私はこれが標準的な本当の世界経済の姿なのだという捉え方をしています。日本は世界からみて物価が安すぎます。残念ながら、その分個人の収入も安いのですが。ハワイではラーメン一杯が2500円、ニューヨークでは4000円とというのが実態です。日本も間違いなく物価があがります。さて、今私は会社スタッフとハワイで遊んでいます。が、しっかり楽しみなが、この実態経済を身体で感じてほしいのです。現在コンビニ弁当は静かに値上げしています。が、来年は平均1000円以上になるでしょう。少し美味しいなと思ったら1500円を払うのは普通になります。

間違いなくその価格がデフォルトスタンダードになります。日本だけが安い状態が続くなんてことはありません。日本国内は、コロナショックで家飲みが増えましたが、一度去ったお客様はなかなか戻ってきません。残念ながら外食産業には大打撃という実態は隠せないのです。

ズバリ！今後、家飲みはもっと増えます。会社の飲み会も、料理持ち合わせて社内で飲むことも増える会社ができます。だから、社内に食事ができるスペースが必要になります。そこで美味しいワインを開けるのです。ですから、アウトドア業界はもっともっと忙しくなります。釣りも、マリンレジャーも、バイクも、山登りも、料理も、習い事も、趣味も、・・・共通するテーマは「遊び」です。

さて、・・・ここで大きな市場が出来てきましたね。ビジネス書などを読んでいては、この感覚は絶対に分かりません。

GM ホールディングスは、この市場を実体験のなかから「モノづくり」をしていきます。単にモノづくりではなく、「楽しいモノづくり」です。楽しさの競演をいかに繰り広げていくかというモノづくりです。さて、貯金などせずに、自分自身ももっとと本気で遊びましょう!!! ただ呑んで遊ぶのではなく、市場をしっかり見据えて遊ぶ。これこそが世の中が求める開発に繋がるでしょう。

⌘ ⌘ ⌘ ⌘ ⌘

中村天風の言葉に「私はあえて断言する。人がなんと言おうと、この世の人々のすべてが、旧来のとらわれた、しかつめらしい道徳観や倫理観から離れて、人間の生物的本能である感覚的享樂を、他の人の幸福を妨げない範囲で喜び、楽しめるように心がけるならば、そこに期せずして、人々の生きがいある、楽しい、のどかな、理想的な、本当の人間の生活ができると、こう確信したのです。」この天風の言葉は、常に齒に衣着せない生き方の表現があり、この感性に私は大きな賛同をしています。つまり、少しくらい偉くなったからといって、難しいことを言ったり、変に固い倫理観を人に押しつけたり、享樂を全て否定したりする生き方が素晴らしいという見方をしたりするのは間違いであるということです。文章にあるように、人に迷惑をかけないのであれば、どのように生きてもいいという自由さがとても重要なのです。

逆に、古めかしいことにとらわれて、人の上目線で言ったりする人には、何の自由さも無いし、何のアイデアも出てきません。つまりこの世に生を受けて、与えられた役割を果たしていない人になってしまっています。天地創造の神の前で、私達はいかに素直にその流れの中で順応し、創り出し、生きていけるかが最も尊いことなのです。

私が嫌いな言葉は「普通はこうでしょう。」です。価値のない考え方です。会社での働き方も「これが常識だ」というスタンスは何も生まないことになります。常に変化を楽しみ、革命を模索する。生き方を変えるくらいの革命は、世の中を変えることができます。人を批判するより、自分が行動する。そうしたら次の現実が待っ



ています。坂本竜馬の「世に生を得るは事を成すにあり」は、革命を望む私としてはこれ以上の言葉はありません。

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

今私は会社スタッフと一緒にホノルルにいます。

小学校4年生（10歳）のときに、国語の授業に使われた教科書に川端康成の「朝の光の中で」という文章にうっとりしてしまった事をすっかり覚えています。国語は大嫌いだったのに、その文章を何度も読んで「行きたいなあ」。ホノルルってどんなどころだろうなあ。」って感じでした。

それから15年後の22歳に、本当にホノルルに行ってハワイ大学で働き、またその小学校の国語の授業から54年後の今もそこにいます。人生って不思議なものです。小学校4年生のときの憧れがそのまま今も続いているのです。

朝の光の中で 川端康成

「わたくし、カハラ・ヒルトン・ホテルに滞在して、二月近くなりますが、朝、濱に張り出した放ち出しのテラスの食道で、片隅の長い板の臺（だい）におきならべた、ガラスのコップの群れが朝の日光にかがやくのを、美しいと、幾度見たことでせう。ガラスのコップがこんなにきらきら光るのを、わたくしはどこでも見たことがありません。やはり日の光が明るく、海の色があざやかであるといふ、南フランス海岸のニスやカンヌでも、南イタリアのソレント半島の海べでも、見たことはありません。カハラ・ヒルトン・ホテルのテラス食堂の、朝のガラスのコップの光りは、常夏の樂園といはれるハワイ、あるひはホノルルの日のかがやき、空の光り、海の色、木々のみどりの、新鮮な印象の一つとして、生涯、わたくしの心にあるだらうと思ひます。

しかしまた、ガラスのコップが朝日にきらめく美しさの発見と感得とを、この時ここで、自分の言葉にとどめておきたいといふ思ひも、わたくしの心行きだったのでせう。どこかよその土地、いつかほかの時間にも、ガラスのコップの、これと似た美しさは、もちろんありますでせう。けれどももしかすると、これとまったく同じ美しさは、よその土地、ほかの時間には、ないかもしれないではありませんか。少なくとも、わたくしはこれまでに見たことはありませんので、「一期一会」と言へるかもしれない。 (編集済み)

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

中島みゆきの「時代」という唄。実は▲年前、天風会研修の比叡山で泣きながら歌った。涙が止まらない。歌えない。声にならない。仲間が手伝ってくれて歌った。そして、そんな時代もあったよねと今は笑って言える。歌って本当にいいです。人生に必要です。

♪

今はこんなに悲しくて 涙もかれ果てて

もう二度と笑顔にはなれそうもないけど

そんな時代もあったねと いつか話せる日がくるわ

あんな時代もあったねと きつと笑って話せるわ

だから 今日はいくよくよししないで

今日の風に吹かれましょう

まわるまわるよ 時代はまわる

喜び悲しみくり返し

今日は別れた恋人たちも

生まれ変わってめぐりあうよ

旅を続ける人々は いつか故郷に会おう日を

たとえ今夜は倒れてもきつと信じてドアを出る

たとえ今日は果てしもなく

冷たい雨が降っていても

めぐるめぐるよ 時代はめぐる

別れと出会いをくり返し

今日は倒れた旅人たちも

生まれ変わって歩き出すよ

まわるまわるよ 時代はまわる

別れと出会いをくり返し

今日は倒れた旅人たちも

生まれ変わって歩き出すよ

今日は倒れた旅人たちも

生まれ変わって歩き出すよ

※ ※ ※ ※ ※

Hawaiiの朝は早いです。早く仕事をして早く家に帰って、仕事以外の人生をたくさん楽しんでるようです。

GMも、それに見習い、朝8時入社、午後3時に帰宅できる就業規則に変更します。

早起きは三文の得と言いますが、実は早起きは1億円の得だと私は思っています。もちろんお金に換えられない価値も大きくあります。

さて、午後3時に会社を終えて何をしますか？ 「やったあ。楽できる。」と考えた方は人生を一番損している人です。たぶんGMには永く居られない人になるでしょう。

3時に上がれば、「やりたい仕事ができる」「やりたい趣味ができる」「やりたい習い事ができる」「行きたいところに行ける」「もっと稼げる」「勉強ができる」と、ガツガツと前向きな人生に時間を使っていたきたいです。当然ですが、何をするかは自分で決めて、自分で動きます。人生の主人公は自分自身であり、生き方に主体性があるのは当たり前なのです。ですので仕事にも遊びにも当然、自分が主人公なのです。

また、私達は弱小企業です。大手企業に打ち勝つには一人ひとりの価値を高めるしか勝負する戦術はありません。そのことが分かったら意外に簡単に勝てます。

GMは社長養成所です。皆さんが社長になって欲しいのです。普通の会社勤めをして会社帰りに呑んで、土日は休んで。。。100%社長にはなれません。なぜならば退屈な人生だからです。だからだと普通の人がやる遊びに大切な時間を使うのだけはやめましょう。エキサイティングな遊びだとOKです。

例えば、キャンプをしたとします。普通のキャンプをしたら退屈なので絶対にＺです。自分が何か成長するエキサイティングなキャンプができたら最高です。

私は高校生のときから八百屋でもいいから社長になりたいと考えていました。ですので30歳代は一日12時間の睡眠時間で、土日も企みごとが一杯で仕事していましたが、全く頑張っていません。そして、パワーリフトイングにも没頭してました。それが当然だという価値観なのです。ですので、GMは廻りの普通の人から見たら間違いなくブラック企業です。

しかし、単に昭和のように仕事時間をたくさんやるというのではありません。自分自身が成長するための時間をたくさん増やして欲しいのです。エキサイティングな人生を歩めば、仕事も人生も必ず勝てます。それも小さな勝ちではなく、間違いなく大きな勝利です。世の中を変えてしまうくらいに革命を起こす勝利に繋がります。

今日は一人でラスベガスにいます。飛行機が夜中の〇時に着いたのですが、空港ロビーに普通にカジノがあり、流石に不夜城とだけ言われるくらい熱狂と快楽の街です。夜中というのに道ばたでは腹に響くほどの爆音のDJとミュージック。お酒も入っていたので、つつい知らない白人のお姉さんと踊ってしまいましたが、目がヤバかったのでそそくさと退散しました。ダウンタウンの大型アーケードでは人が空を飛んでいます（人間ロープウェイ?）。私の泊まっているホテルの一階にはスロットルマシンが約2000台で夜中もたくさんの人。ホテルの部屋には微量に酸素が出されてついついやる気モードになるといいます。ホテルにマリファナ専用ラウンジがありとっても格式高く健全な雰囲気です。カードゲームでは何やらディーラーの視線がどこを見ているか分からないので不気味です。昔からルーレットは根強い人気のスペース。カードゲームのバカラやポーカーは普通の人はなかなか入るのに勇気がいります。露骨なフッカー（売春婦）は未だ未だ健在。道ばたにバーが何件も建ち並び、飲む打つ買うは、普通になっていて、ポリスやシェリフ、その他セキュリティ職員は夜も昼も大忙しです。博打で身を崩してしまった人が路上にたくさん。昼も大道芸人がこれでもかというくらいひしめき合っただの大音量です。芸人のエロさも半端ではありません。それでいて治安はとってもいいのです。マフィアと警察が良い意味で手を組んでいるからなのです。悪いことをしたら翌朝にはネバダ砂漠に埋められます。います。（恐）

さて、日本には絶対にならない光景ですが、日本にじっとしては絶対に見ることも感じることができません。



ラスベガスが好きな人はたくさんいます。私はハワイの方がいいかな〜っと思っていますが、こんな光景を見るだけで本当に頭が柔らかくなります。こんなことでも生きてゆけるんだ。この法律ホント？このセンスは普通にはない。などなど・・・いろいろ勉強になるし、とにかく頭が自由になれます。これってGMの仕事に直結して繋がっています。(汗)

とにかく、旅って本当にいいもんですね〜！

⌘  
⌘  
⌘  
⌘  
⌘

先月、石油メジャー最大手のエクソンモービル、同じくらいに大きいシェルが、脱炭素エネルギーから撤退すると宣言しました。凄いビッグニュースです!!!!!! 今まで地球温暖化にならないようにCO2削減を当たり前のようにどの企業も言ってきました。その常識が大きく崩れ始めています。

地球温暖化、カーボンニュートラル、脱炭素、バイオ燃料、SDGs、EV車、エコ商品、ゴミ袋有料化、……。これらは実は誰かのウソによって作られました。海面上昇や砂漠化、酸性雨、ゲリラ豪雨、このままでは地球に生物が住めなくなると言って国連は1988年に地球温暖化を熱心に宣伝してきましたが、その裏には「都合な真実」が存在しています。

地球温暖化・・・「人間が出したCO2で地球の温度が上昇している」・・・これも大嘘です。ホラーストーリーです。カルトです。今そのウソがバレはじめて国連は世界で信用失墜し始めましたが、まだまだ世界中で温暖化のウソはまかり通っています。日本は、紙ストロー、レジ袋廃止、・・・日本は毎年国家予算の5兆円を無駄に使っています。国防予算と同じです。2030年までに100兆円を使うことになっているのです。この日本を滅亡に追いやろうと強大な利権が存在しているのです。

政策に拘わる環境データを出していた東京大学工学博士「渡辺正」は告発しています。数百人の環境研究者グループのデータを取りまとめる仕事をしている人が地球温暖化のウソを告発しています。CO2が増えたから温暖化したのではなく、温暖化したからCO2が増えたのです。気温が上がるのが先でCO2が後に上がるの

は研究データで証明されています。CO<sub>2</sub>を吸収するのは森林ではなく海です。液体というのは温度が高くなるとガスの吸収するのが減ります。ですからCO<sub>2</sub>が増えるのです。逆に海の温度が下がるとガスの吸収するが増え、CO<sub>2</sub>が減ります。温度が上がって海水面が上がるというウソは、もってのほかです。コップの中の焼酎ロックは氷が溶けても水位はほとんど上がりません。NHKの氷河が崩れ落ちる映像もウソの印象操作です。氷河は氷の河です。海に近いところは押し出されて氷が崩れます。数十億年前からそうであり、いかにも氷が溶けて大変だという印象操作です。南極の昭和基地の温度もここ50年で1°C下がっています。

ところで人間の吐く息はCO<sub>2</sub>が4%くらいなのですが、大気中のCO<sub>2</sub>が増えたといっても0.03%が0.04%になっただけです。ppmに直すと300ppmが400ppmに増えたと表現できます。これは大変だ!というわけです。農業のハウスは、野菜が大きく育つためにわざと石油を燃やしてCO<sub>2</sub>を増やしています。CO<sub>2</sub>は毒ガスではないのです。悪者ではないのです。CO<sub>2</sub>は地球にとっても必要なガスなのです。人間は3%が炭素でできています。人間にもCO<sub>2</sub>が必要なのです。カーボンフリーでは人間は生きてゆけないのです。

2億5千万年前のジュラ紀、白亜紀はCO<sub>2</sub>が現在の4倍だったと言います。植物やシダ類が最大に増えたときで恐竜がいたときです。

地球温暖化で砂漠化が進むと騒いでいる人たちがいますが、これも大嘘です。サハラ砂漠は緑化が進んでいます。アマゾン川流域も緑化が戻っていて、ここ40年の間に世界の15%緑化が進んでいます。地球温暖化と言いついたのは1990年からで30年間では0.3°Cです。人工衛星で地面から4000mの温度を40年間測ったデータでは全く気温は全く上がっていません。東京が暑くなったのはCO<sub>2</sub>が原因ではありません。CO<sub>2</sub>が原因ならば

田舎も都会もまんべんなく気温は上がるはずですが、都会だけ $2^{\circ}\text{C}$ 上がっています。そりゃそうです、エアコン増加、車の増加、植物の減少によって $\text{CO}_2$ に関係なく一部の気温は上がってしまっています。

500年前のグリーンランドは本当にグリーンランドだったのです。今は氷で覆われています。異常気象、異常気象とテレビで言っていますが、台風の発生数も増えていないし、豪雨も増えていないので現代は異常気象ではありません。

結局、温暖化のウソの中で国連の権威になびく政治家と官僚、ホラー話を盛り上げながら国の資金に群がる研究者、エコ製品（エコ家電、エコカーなど）で儲けたいと考える企業、その企業の意向に逆らえない新聞テレビ、報道を鵜呑みにしてしまう国民。地球に優しいという言葉に簡単にごまかされてしまうのは本当に悲しい現実です。地球温暖化は真っ赤な大ウソです。

このような考えは共産主義、左翼、社会主義、日教組、原発推進主義、バイデン政権の民主党が、自分だけの権益を取るために国家を弱体化させているだけなのです。

ただ、世界中で格差社会が増えています。このようなときは世界中が共産主義に犯されやすい時代でもあります。私達ビジネスマンは、そのことをしっかりわきまえて「地球に優しい」などという言葉にごまかされないようにいたしましょう。だまされる国民が悪いのです。

フロリダ最南端のキーウエストに行ってきました。キーウエストといえば誰もが知っている「アーネスト・ヘミングウェイ」。100年以上も前に、ヘミングウェイが行きつけだったという「スラッパージュズバー」で呑んだのですが、壁の写真を見ながら、横に座っているアメリカ人に聞きました。「彼知ってますか？ヘミングウェイ。」「この店の古いオーナーか？」なんと知らないのです。いやいや、英語で説明するのに一苦労で、あとの後悔です。(笑)

私は何も知らないでここに来ている人が多いのではないかと思います。つまり旅を楽しんでない。「老人と海」、「海流の中の島々」、「武器よさらば」などを読むだけでこのバーがとても感慨深いものになります。バーにあるカクテルだって、ヘミングウェイといえば100年以上も前に、モヒート、ピナコラダ、ジントニックが小説の中に何度もでてきます。もちろんヘミングウェイに会ったことありませんが、思いつき想像力がかき立てられるのです。バーの中で小説でのセリフがイメージションが大きく膨らんでしまうのです。本を読んで旅する人と読まないで旅する人と旅の中身は全く違ったものになります。もし、横に座っているアメリカ人がヘミングウェイを語り出したらと思うとゾクゾクします。観光地などどうでもいいということになります。やっぱり旅はとっても楽しい。

イメージネーションは、とっても重要です。想像することって重要って言われても、いつもワンパターンしか想像しない人に言っても何も響きません。

その力をつけるためには、読書が重要になります。理由は、人と会話したとき何を話しているのか正確に理解するために知識が必要です。だから誰と話しても相手の話している内容を出来るだけ理解するために読書が必要なのです。そして、知識もさることながら、そのことを同時に組み立てる想像力(イメージネーション)をどれだけ膨らませるかが勝負となります。このことは全てのことにおいて言えることなのです。その為に読書をし、旅に出たり人の経験談を聞いたり武道や肉体の修練や修行を行うのです。

世の中は美しいです。その人がそれを見る知識を持っていればですが、知識がなければ世の中は美しくありません。瞬時にイメージネーションをいくつも膨らませる能力はスマホでいちいち検索して得られるようなものはありません。今のAI技術ChatGPTなどを使いこなすには、先にこのイメージ力があってこそ活かせるのだと思います。

& & & &

いつも闘っているのがビジネスマン。そして、いつも勝たねばならないと思っています。「〇戦したら全勝した  
いと思う。「敗したら全てが無駄になってしまうと思ってしまう。だけど、人生は違います。「〇戦一勝でもい  
いのです。「勝でもできただけでも、その人は幸せです。その幸せを自分自身でしっかり噛みしめなければな  
らないのです。その「勝を叶えるのは、実はわずかの人です。でも、叶ったとたんにその人の夢は、はかなく  
消えてしまいます。そして、次の夢へ走り出します。やっぱり夢に向かって走っている今が、人生は一番幸せ  
なのです。

※ ※ ※ ※ ※

会社では、基本的な個人の行動指針に「仕事も遊びも見る前に跳べ」と言ってます。

ところが、慎重なかどうか分かりませんが、世の中には、なかなか動こうとしない人がやたら多いのです。例えば、海外旅行に行こうと言ったとき「来年あたりに行こうか」と言ってくる人がいますが、そんな人は今まで行ったためしがありません。つまり、その人は一生海外旅行をしないで人生を終わってしまうのです。

何かのチャンスに出会ったとき、直感的に良いなと思ったとき、思い立ったときにスタートが切れない人は、一生スタートできない人なのです。

この人生の差はとっても大きいと思います。実はちょっとした習慣なんですけどね。 「見る前に跳ぶ」





預金残高より信頼残高が大事です。これはビジネスマンにとっては、いや、人生の中で一番重要な財産かもしれません。自分が信頼するというのは、相手に気を許すことです。相手に信頼されるというのは、仲間が一人増えたということです。仕事以前に人生が楽しくなってきます。年齢に差があればあるほど仲間としての色合いが深くなります。会社組織の中でも、先輩に好かれて後輩に嫌われてる人間は信用できませんが、後輩に好かれて先輩に嫌われてる人間が、本当に信用できる人です。

人生の中で、仲間と楽しみたかったら、まずは困った時は助けてやり、相談に乗り、心配してやる、そして相手に何も期待しない事です。また、もっと楽しみたかったら、『捨てる』ことから始めると人生は好転するようです。「過去への執着」「歪んだプライド」「承認欲求」「変なこだわり」捨てるから大切なものに気づけるし、手に入るものもある。まずは得ることより捨てること。自分の細胞だっていつも新陳代謝してる。一息ついて自分の中の余白を大切にしましょう。信頼し、気を許し、相手をリスペクトすると大人として一歩成長します。そうしたら何だか自分の気分がとっても楽になってきます。仕事もうまくいきます。本気で楽しめます。ホント不思議だなあ。

※ ※ ※ ※ ※

7月28日